ち 五十音図にて第十七・卯ち多行・但列の假名。伊呂波歌にて第八の假名。

〔字音〕〔萬葉假名〕知・智・致・遲・恥・馳・治・痴・稚・雉・値・茅・陳・珍・椎・追・竹・筑・畜・逐・築・丑・乳・等・父・血・市。〔平假名〕ち。〔片假名〕チ。〔通音〕ち。〔連音〕ぢ。〔字音仮名遣〕ち。

〔字訓〕〔萬葉假名〕知・智・致・遲・恥・馳・治・痴・稚・雉・値・茅・陳・珍・椎・追・竹・筑・畜・逐・築・丑・乳・等・父・血・市。〔平假名〕ち。〔片假名〕チ。〔通音〕ち。〔連音〕ぢ。〔字音仮名遣〕ち。

〔ちち〕（千と千・ち・ち・ち

しくいう。「頭を～ 垂れる」「～ 下げる」 ㊁ 物事の中心となるもの。「～ 骨」「～ 木」「～ 組織」 ㊂ 主なもの。「～ 産業」「～ 食」 ㊃ 主人。「～ 客転倒」 ㊄ 自分の夫。「～ 人」 ㊅ 中心となる人。「～ 役」「～ 演」 ㊆ 中心となる地位。「～ 権」 ㊇ 中心となる点。「～ 眼」 ㊈ 中心となる方向。「～ 流」 ㊉ 中心となる部分。「～ 題」 ㊊ 中心となる人物。「～ 人公」 ㊋ 中心となる地位。「～ 権」 ㊌ 中心となる点。「～ 眼」 ㊍ 中心となる方向。「～ 流」 ㊎ 中心となる部分。「～ 題」 ㊏ 中心となる人物。「～ 人公」

ちゝ 柱（名） 建築の骨格の下に据み、棟を支える建物の骨格の下に据み、棟を支える建物の骨格の下に据み、棟を支える建物

重ね合わせ、綴じ目を二つ折りにすること。また、その折り目。中折り。

ちうし 【柱子】（名）ちう（柱）に同じ。

ちうじ 【注意】（名）ひろね。

ちうじき 【昼食】（名）昼飯。昼食。午餐。

ちうしゃ 【駐車】（名）車を一時とめておくこと。

ちうしゃく 【注釈】（名）本文の意味や語句などを説明すること。また、その説明。

ちうしゃじょう 【駐車場】（名）多くの人が、ひとところに集まること。また、その場所。

ちうしゅう 【衆人】（名）人数の多いこと。

ちうしゅう 【人集】（名）人が集まること。

ちうしゅう 【人集め】（名）人が集まること。

ちうしゅう 【衆人環視】（名）多くの人の目の前にあること。

ちうしゅう 【地獄】（名）地名の一。

ちうしゅう 【地獄】（名）地名の一。

ちうしゅう 【地獄】（名）地名の一

他の植物を見ず、酒月定潤ともり、高山植物の最も絶頂なるもの。

ちかたんくさ　千枝草　(名)【植】さくさく科の一。

ちかちか　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづき　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづける　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけん　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃく　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

ちかづけんしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃくしゃ　(名)　(Chirp)　(名)【鳥】さくさく科の一。

**ちかづけんしゃく

地方行の事務を擁住するもの。領人の中、右族の上首を以て之に補す。細川家書社抄「地方御用聞」

おかたかた 地方頭（名）前條に同じ。

おかたかたいり 地方頭入（名）前條に同じ。

おかたさんちゃう 地方三帳（名）御勘定所に於ける地方の事務を掌るもの。

おかたとうにん 地方頭人（名）室町幕府の職名。京都近郊の地に領地を有する者の内より選ばれて地方頭人の内より選ばれて地方頭人の内より選ばれて地方頭人

名。めうが(茗荷)の条(項)を見よ。

ちかひめうがひし 違若菱 (名) 紋所の名。

ちかひもみぢ 違楓 (名) 紋所の名。

ちかひや 違矢 (名) 紋所の名。やはず(矢筈)の条(項)を見よ。

ちかひやりし 違矢丸 (名) 紋所の名。

ちかひやはず 違矢筈 (名) 紋所の名。ちかひや(違矢)の条(項)を見よ。

ちかひやまがた 違山形 (名) 紋所の名。

ちかひやまぎく 違山吹 (名) 紋所の名。

ちかひゆきわ 違雪輪 (名) 紋所の名。

ちかひゆみ 違弓 (名) 紋所の名。ゆみ(弓)の条(項)を見よ。

ちかひよこびきつづみどう 違横引筒胴 (名) 紋所の名。

ちかひりゅうのつの 違龍角 (名) 紋所の名。

ちかひりゅうのつめ 違龍爪 (名) 紋所の名。

ちかひりんだう 違鈴鐙 (名) 紋所の名。りんだう(鈴鐙)の条(項)を見よ。

ちかひわくいとまき 違枠絲巻 (名) 紋所の名。

ちかふ 誓 (他動) ①神仏に掛けて或る事柄を堅く約束する。堅く約束する。「誓紙」「誓約」「誓言」「誓詞」「誓文」「誓願」「誓書」「誓状」「誓願」「誓書」「誓状」「誓願」「誓書」「誓状

せはちからおよばずなれども、手あしはよくしてゐるにける。

ちからおび 力帯 (名) 身支度する為めに締る帯。俗称御上地、二間巾の帯。

ちからがね 力金 (名) 力業に用ひる金。俗称御上地、二間巾の帯。

ちからがみ 力紙 (名) 力業に用ひる紙。

ちからくらべ 力競 (名) 力量の優劣をきそふこと。

ちからぐさ 力草 (名) 植物の名。

ちからぐるま 力車 (名) 物を積んで人の力で引く車。荷車。

ちからげ 力毛 (名) 強靭な人の頭に生ずる毛。

ちからこぶ 力瘤 (名) 力をこめた時に筋肉が盛り上がる所。俗に「二の腕のあたり」に「ふくらはぎ」などと、二重の手を握りて腕を張り、互いに座を離れ合はせ、一しめ絞りなる力瘤、肩の腕の筋肉盛上つて…

ちからこぶをいれる 入力瘤 熱心に勉力する。

ちからこぶし 力拳 (名) 力を入れた拳。俗称、「骨拳」。

ちからざけ 力酒 (名) 力を出だすために発する酒。俗称、「命酒」。

ちからしば 力芝 (名) 力を出だすために発する芝。俗称、「えいこら芝」。

ちからしろ 税稲 (名) 税として納む稲。

ちからしば 狼尾草 (名) 植物の名。

ちからぢから 力草 (名) 植物の名。

ちからしろ 税代 (名) 税代金のこと。

ちからしろぬの 税布 (名) 税として納む布。

ちからだおし 力倒 (名) 力業に用ふる倒。

ちからだち 力立 (名) 力業に用ふる立。

ちからだて 力立 (名) 力業に用ふる立。

ちからだのみ 力頼 (名) 力業に用ふる頼。

ちからづく 力尽 (名) 力業に用ふる尽。

ちからづくり 力作 (名) 力業に用ふる作。

ちからづな 力綱 (名) 力業に用ふる綱。

ちからづよい 力強い (形) 力業に用ふる強い。

ちからづよし 力強し (形) 力業に用ふる強し。

ちからでし 力弟子 (名) 力業に用ふる弟子。

ちからとぎ 力研 (名) 力業に用ふる研。

ちからなし 力無し (形) 力業に用ふる無し。

ちからなで 力撫 (名) 力業に用ふる撫。

ちからぬき 力抜 (名) 力業に用ふる抜。

ちからぬけ 力脱 (名) 力業に用ふる脱。

ちからぬの 力布 (名) 力業に用ふる布。

ちからね 力根 (名) 力業に用ふる根。

ちからのかみ 力神 (名) 力業に用ふる神。

ちからのこ 力鋸 (名) 力業に用ふる鋸。

ちからのつかさ 力司 (名) 力業に用ふる司。

ちからのつき 力月 (名) 力業に用ふる月。

ちからのつよさ 力強さ (名) 力業に用ふる強さ。

ちからのまつ 力松 (名) 力業に用ふる松。

ちからのみち 力道 (名) 力業に用ふる道。

ちからのもち 力餅 (名) 力業に用ふる餅。

ちからのり 力糊 (名) 力業に用ふる糊。

ちからのわざ 力業 (名) 力業に用ふる業。

ちからばかり 力計 (名) 力業に用ふる計。

ちからばり 力張 (名) 力業に用ふる張。

ちからびき 力引 (名) 力業に用ふる引。

ちからびと 力人 (名) 力業に用ふる人。

ちからぶね 力船 (名) 力業に用ふる船。

ちからぶろ 力風呂 (名) 力業に用ふる風呂。

ちからべ 力部 (名) 力業に用ふる部。

ちからまかせ 力任 (名) 力業に用ふる任。

ちからまけ 力負 (名) 力業に用ふる負。

ちからまさり 力増 (名) 力業に用ふる増。

ちからみず 力水 (名) 力業に用ふる水。

ちからもち 力餅 (名) 力業に用ふる餅。

ちからもの 力者 (名) 力業に用ふる者。

ちからやま 力山 (名) 力業に用ふる山。

ちからよわ 力弱 (名) 力業に用ふる弱。

ちからわざ 力業 (名) 力業に用ふる業。

ちからわらじ 力草鞋 (名) 力業に用ふる草鞋。

ちぎ 千木 (名) 古代の家作に、棟の左右の端に用ふる長き材にて、棟にて行き合ふ所を交叉し、高く出でたるもの。今、神社の建築に其の制存せるもの。

ちぎ 乳木 (名) 「擂粉木」の同じ。

ちぎ 千木 (名) 「擂粉木」の同じ。

ちぎ 乳木 (名) 「擂粉木」の同じ。

ちぎ 稚気 (名) 幼稚なる気風。小供じみたこと

の領事官。天皇・地方の話に準ずる。天皇の領事官。

ちほうしきょく 地球儀 (名) 経緯線を描き地球の形象を示す模型。

ちほうしょうにん 地方商人 (名) 地方を行商する人。

ちほうしんぶん 地方新聞 (名) 地方の事件を報道する新聞。

ちほうぜい 地方税 (名) 地方の経費に充てるために徴収する租税。

ちほうそしき 地方組織 (名) 地方の組織。

ちほうてき 地方的 (形動) 地方に関するさま。

ちほうでん 地方伝 (名) 地方の伝説。

ちほうびょう 地方病 (名) 地方に特有な病気。

ちほうぶぎょう 地方奉行 (名) 江戸幕府の職名。寺社奉行・勘定奉行・町奉行の三奉行を総称していう。

ちほうぶんけん 地方分権 (名) 地方の政治を中央政府の干渉を受けないで地方自治体の自由に任せること。

ちほうぶんしょ 地方文書 (名) 地方の事務を処理するために作成する文書。

ちほうべん 地方弁 (名) 地方の言葉。

ちほうほう 地方法 (名) 地方の法律。

ちほうまわり 地方回り (名) 地方を巡回すること。

ちほうやくにん 地方役人 (名) 地方の役人。

ちほうゆうりょくしゃ 地方有力者 (名) 地方の有力者。

ちほうりょう 地方料 (名) 地方の風俗。

ちほうりょう 地方領 (名) 地方の領地。

ちほうれい 地方例 (名) 地方の慣例。

ちまき 粽 (名) 餅米の粉を練って、竹の皮に包んで蒸したもの。

ちまた 巷 (名) 人の多く集まる所。

ちまなこ 血眼 (名) 血走った眼。

ちまみれ 血塗れ (名) 血にまみれること。

ちまよう 血迷う (動) 血迷うこと。

ちまよう 血迷う (動) 血迷うこと。

ちまりょう 地丸料 (名) 地丸の代金。

ちまわり 地回り (名) 地回りの人。

ちまわりもの 地回り者 (名) 地回りの人。

ちまんこう 地万香 (名) 地万の香。

ちみ 地味 (名) 地味。

ちみち 地道 (名) 地道。

ちみつ 緻密 (名) 緻密。

ちみどろ 血みどろ (名) 血みどろ。

ちみどろえ 血みどろ絵 (名) 血みどろ絵。

ちみどろげき 血みどろ劇 (名) 血みどろ劇。

ちみどろしばい 血みどろ芝居 (名) 血みどろ芝居

ちぢさすずみ　血玉蠅（名）【動】玉蠅の一種。二疋兄　既に御知になること。

ちぢり　巾（名）（ちぢりからより転じ）【服飾】婦人の腰巻の下に用いる布。

ちぢり　

るの意。竹簡。五代史記「職方掌天下之地図以辨其邦国都鄙四夷八蛮七閩九貉五戎六狄之人民与其財用九穀六畜之数要」

ちくさ【竹刺】（名）竹のしがらみ。竹垣。

ちくさく【竹柵】（名）竹のしがらみ。

ちくさく【竹冊】（名）竹の札を綴じ合せたもの。

ちくさつ【竹札】（名）竹の札。

ちくさつ【竹刷】（名）竹の札。

**ちくさつ

ちくはぐ（名）物の調和せぬこと。くいちがうこと。ちぐはぐ。

ちくはつ　一竹髪（名）剃髪せる人の頭。

ちくはつ　一竹皮（名）虎豹の毛皮。

ちくび　乳首（名）㊀乳房の先につき出たところ。婦人の場合は細孔ありて乳汁を出だす。ちちくび。天納記「乳首放してねねしかり、そこと逃げねわらと泣く」㊁乳くびの形に似たるもの。

ちくび　一瘤鼻（名）小児の疳積の一種。鼻の下唇が腫れて痒きもの。疳名愛解「医鼻疳ともいふ。小児疳病の種類なり。鼻の下に赤き粟の如き物発するとき、螻蛄に云ふ。鼻の下に赤き粟の如き物発するとき、螻蛄て痒あって痒き是れなり。又赤鼻を名づく又疳鼻ともいふ。

ちくふ　一竹布（名）竹の繊維にて織れる布。竹を採り煮て、よき頃に取り用だしわりて用ふるもの。陸奥国信濃国より産す。昭和年間信濃国高遠藩の士族が保護奨励の為に製造したるもの。

ちくぶし　一竹節（名）竹の節。にぬんこと。

ちくぶし　一竹夫人（名）竹の製。四、五尺の大なるもの。夏季涼を取らんがために、ちょうどうずくまりいひれに似て節抄の如き物を造る。夏の夜臥する時、竹筒を手に抱き、又は脚にはさみ用ふ。「竹夫人」の名は蘇東坡の命名なりと。

ちくぶね　一竹船（名）竹にて造りたる船。

ちくぶり　一竹振（名）竹を吹く事。

ちくぼく　一竹木（名）竹と木と。

ちくぼく　一竹木（名）竹と木と。

ちくぼく　一竹木（名）竹と木と

火徒・宋史儒林・地勢自首言・有儒術・歩数者其善験数奏之・明治二十二年三月以前、土地の所有者に、政府の下付したる證書明治二十二年法律第十三號地券を繳し換えいたしやくきゃく（又代人）に預けて物件を銀行その他へ預置することを約し、保元物語・地獄の門の左右より（一六二）獄卒出現し・地獄の門の左右より（一六二）獄卒出現し・地獄の門の左右より（一六二）獄卒出現し

ちこっぱ　一地骨皮　(名)　梅果三の根の皮を陰干した物の名。

ちこっぱな　兒鼻　(名)　【醫】あかな

ちこのまい　兒舞　(名)　【雅】おきな

ちごのまひ　兒花　(名)　【植】同前に同じ。

ちごばな　兒花　(名)　【植】ごぼうの異名。

ちごゆり　(名)　【植】百合科、高さ約三尺、葉は狹形、不平行脈を有し、一尺許りに達す。莖は細く、莖頂に帶白色の一花を開く。我が國の山地に自生す。

ちごわらび　兒蕨　(名)　ちごと兒に同じ。

ちごわらべ　兒童　(名)　ちごと兒に同じ。

ちごわらわ　兒童　(名)　ちごと兒に同じ。

ちごわかしら　兒若衆　(名)　ちごと兒に同じ。

ちごわかしゅ　兒若衆　(名)　ちごと兒に同じ。

ちごをんな　兒女　(名)　【雅】おきな

ちさ　千葦　(名)　【植】ちしゃの異名。

ちさい　(名)　【植】ちしゃの異名。

ちさいはっぷ　治罪法　(名)　【法】治罪法の舊名。

ちさいぼう　持齋　(名)　【佛】ちさいぼう

ちさいぼう　持齋　(名)　【佛】ちさいぼう

ちさう　一地相　(名)　【佛】地藏菩薩の別名。

ちさう　地藏　(名)　【佛】ちさう

ちさうがうし　地藏格子　(名)　竪横共に細き木を縦横に組合せたる格子。

ちさうがうし　地藏頭　(名)　地藏の頭の如く、伊豫守兄弟の時、當時歴仕の好みありて。

ちさうがうし　地藏頭　(名)　地藏の頭の如く、剃刀の跡の青々と殘りたるもの。

ちさうがうしのたんかい　地藏頭高燈籠　(名)　地藏頭高燈籠の異名。

ちさうぎょう　地藏菩薩　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうこう　地藏講　(名)　【佛】地藏講

ちさうこうぞう　地藏菩薩　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうこうぞうのまい　地藏菩薩の舞　(名)　【雅】ひるがえしの異名。

ちさうこうぞうのまひ　地藏菩薩の舞　(名)　【雅】ひるがえしの異名。

ちさうぞう　地藏尊　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうだう　地藏堂　(名)　【佛】地藏堂

ちさうどの　地藏殿　(名)　【佛】地藏堂

ちさうにん　地藏人　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうにん　地藏人　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうばん　地藏盤　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうぼん　地藏盆　(名)　【佛】地藏菩薩

ちさうまつり　地藏祭

全国戸籍人口統計 明治十年 知事 明治二年六月四日 知事 明治十年 知事 明治二年六月四日 知事 明治十年 知事 明治二年六月四日 知事

ちしせん　地子銭（名）地子として取る銭。徳川氏入国後、民家の地子銭は下賜され、無税となった。

ちしそうりょう　地誌測量（名）せんそうりょう（河川測量）をしまい。

ちしたい　地子帳（名）地子田の記載された帳簿。検地帳などがある。

ちしちゅう　地誌誌（名）地誌の編纂に関する事務を掌る所。農商務省官制第十条「地誌課」参照。

ちしつ　地質（名）地殻の構成及び変遷に関する学問。

ちしつがくしゃ　地質学者（名）地質学を研究する人。

ちしつじだい　地質時代（名）地殻成立の初めより今日に至るまでの代。古生代、古生代、中生代、新生代に分かつ。

ちしつえん　地質園（名）地質を研究する為に、種類を蒐集し、各地の岩石鉱物により表せる園。

ちしつちょうさじょ　地質調査所（名）農商務省の鉱山局に置き、地質の調査に関する事務を掌らしむる所。農商務省官制第十条「地質課」参照。

ちしつちょうさしょ　地質調査所（名）地質調査に関する事務を掌らしむる所。農商務省官制第十条「地質課」参照。

ちしつねんれい　地質年代（名）地質時代に同じ。

ちしつりょう　地子料（名）人民に貸して地子を納めしむる田。三代実録元慶三年四月四日の太政官符に「地子料田」とある。

ちしつりょうきんし　地子料金子（名）地子料として納むる金。

ちしつりょうでん　地子料田（名）地子料を納むる田。三代実録元慶三年四月四日の太政官符に「地子料田」とある。

ちしつりょうとう　地子料稲（名）地子料として納むる稲。

ちしつりょうまい　地子料米（名）地子料として納むる米。

ちしつりょうもく　地子料木（名）地子料として納むる木。

ちしつりょうもの　地子料物（名）地子料として納むる物。

ちしつりょうもん　地子料文（名）地子料として納むる文。

ちしつりょうもんせん　地子料文銭（名）地子料として納むる文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文田（名）地子料として納むる文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文稲（名）地子料として納むる文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文米（名）地子料として納むる文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文木（名）地子料として納むる文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文物（名）地子料として納むる文物。

ちしつりょうもんもん　地子料文文（名）地子料として納むる文文。

ちしつりょうもんもんせん　地子料文文銭（名）地子料として納むる文文銭。

ちしつりょうもんもんでん　地子料文文田（名）地子料として納むる文文田。

ちしつりょうもんもんとう　地子料文文稲（名）地子料として納むる文文稲。

ちしつりょうもんもんまい　地子料文文米（名）地子料として納むる文文米。

ちしつりょうもんもんもく　地子料文文木（名）地子料として納むる文文木。

ちしつりょうもんもんもの　地子料文文物（名）地子料として納むる文文物。

ちしつりょうもんもんもん　地子料文文文（名）地子料として納むる文文文。

ちしつりょうもんもんもんせん　地子料文文文銭（名）地子料として納むる文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんでん　地子料文文文田（名）地子料として納むる文文文田。

ちしつりょうもんもんもんとう　地子料文文文稲（名）地子料として納むる文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんまい　地子料文文文米（名）地子料として納むる文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもく　地子料文文文木（名）地子料として納むる文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもの　地子料文文文物（名）地子料として納むる文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもん　地子料文文文文（名）地子料として納むる文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんせん　地子料文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんでん　地子料文文文文田（名）地子料として納むる文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんとう　地子料文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんまい　地子料文文文文米（名）地子料として納むる文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもく　地子料文文文文木（名）地子料として納むる文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもの　地子料文文文文物（名）地子料として納むる文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもん　地子料文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

ちしつりょうもん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文。

ちしつりょうもんせん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文銭。

ちしつりょうもんでん　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文田。

ちしつりょうもんとう　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文稲。

ちしつりょうもんまい　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文米。

ちしつりょうもんもく　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文木。

ちしつりょうもんもの　地子料文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物（名）地子料として納むる文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文文物。

**ち

りける名」

ちしろそめ　地白染（名）　地を白く染むること。又その染もの。天神祭に際し、結びの染帯も、内裏に献ずる中山帯、中色入れて地白染。

ちしろぢ　地白地（名）　ちしろ（地白）

ちしん　地心（名）■地球の中心。

ちしん　地神（名）■地球の中心。

ちしん　地震（名）■地震の震動。

ちしん　地鎮（名）■地震の震動。

ちしん　地鎮（名）■地震の震動。

ちしん　地震（名）■地震の震動。

ちしん　智身（名）■智慧の身。

ちしん　智臣（名）■智慧のすぐれた臣下。

ちしん　知人（名）■知り合い。しりびと。

ちしん　痴人（名）■愚かな人。

ちしん　癡人（名）■愚かな人。

ちしんえ　地神会（名）■【天】

ちしんきょう　地神経（名）■【天】

ちしんきょう　地神経典（名）■【天】

ちしんぐち　地震口（名）■地震の際に早く逃げ出づる口。所所に設けたり。

ちしんけい　地震計（名）■【地】地震の震動の記録装置。

ちしんし　地心祠（名）■【天】

ちしんしゃ　地心車（名）■【天】

ちしんせつ　地震説（名）■【地】地震の原因に関する学説。

ちしんそん　地震損（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんだい　地震台（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんだい　地震台（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんつき　地震月（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんてい　地心体（名）■【天】

ちしんとう　地震灯（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんのあげ　地震祭（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんのまつり　地震祭（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんぶつ　地震物（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんまえ　地震前（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんまつり　地震祭（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんやけ　痴人焼（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

ちしんやけ　癡人焼（名）■【地】地震の際に生ずる損害。

**ちしんよけ　地震除

ホ・火・鳳と共に萬物を構成するという元素。

ちだい【地代銀】（名）地代として収める銀。慶応三年（一八六七）閏四月二十九日（一八六七年六月一日）の布告で、地租改正が実施されるまでの間、「高反別地租」で地租を支払う農民等に対する諸税は「地子諸代銀等相当ヲ以テ地租ト改称ス」とされた。

ちだいしょうめんじ【知太政官事】（名）太政官の政務に参与される職。知太政官事二品親王（一品）・知太政官事二品親王（一品）・知太政官事二品親王（一品）・知太政官事一品親王（一品）・知太政官事一品親王（一品）・知太政官事一

を呈する。鹿児島方言神舞石神籬石等に供せらるる。武蔵国秩父地方に産す。

ちぢいいも (名) 馬鈴薯の異名。

ちぢおり 秩父絹 (名) 武蔵国秩父郡秩父産より産出する絹織物。多く縞色などに染めて、裏地に用ふ。絹布重畳記「秩父絹、手印・鯛裏秩父より織り出だす地の絹の性ゐも薄くして綿合わさくろし。裏地にしてし。裏絹なり中略秩父絹太きは太強し」

ちぢおりあわせ 秩父銘仙 (名) しまのもちぢぶ銘。

ちぢおりぎぬ 秩父絹 (名) 武蔵国秩父より産出する絹織物。

ちぢおりぎょうじゃ 一持地菩薩 (名) 仏教に、衆生済度のために観音せんとて切利天に行きし時、偶の如きの会頭大精の三階を作りたりとぶ菩薩。衆生を導く彼の持地菩薩の構へたりけん、会・頭・大精の三階のはしに幾ら下見えたり」(東海道名所図会・巻四・京都府部・京都名所之図・東山方面・清水寺)

ちぢおりぐるま 縮緬車 (名) 縮緬を織る時、緯糸を巻きつける小車。

ちぢおりこ 縮緬子 (名) 縮緬に同じ。

ちぢおりこまか 縮緬小間 (名) 縮緬に同じ。

**ちぢおりこまかし

つこ 日ひきこもる。退居す。
ちっせき 一塩石 (名) かがみいしに同じ。
ちっそ 一窒素 (名) 【化】気体の構成の約五分の四を占め、無味無臭の気体。燃える炎に直接触れる他物質と化合しない。動物の呼吸作用や、物質の燃焼作用の中にても変化せず。また他物となりても殆ど其の性を失せず。化学記号はN。
ちっそく 一窒息 (名) 息のつまること。呼吸のつまること。息塞。ふさがること。又、息塞。
ちっそくせん 一窒息線 (名) 【動】昆虫類中、有翅類の蛹。夏秋、山地松林の間に棲む。
ちっちゃい 一乳幼 (形ク) 入り組んだるさま。ちまちまとこまかなるさま。煩り張るさま。
ちっちゃこちゃ 一乳幼小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっちゃこちゃかっこちゃ 一乳幼小小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっちゃこちゃもやかっこちゃ 一乳幼小小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっちゃもやかっこちゃ 一乳幼小小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっちゃもやこちゃ 一乳幼小小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっちゃもやこちゃかっこちゃ 一乳幼小小 (名) 多く、土中にでもある小さき物。玉石混交の意。「幕府に一たび動もれば、…」
ちっつぼ 一血壺 (名) 血のつぼ。
ちっつぼ 一地壺 (名) 土地のつぼ。
ちっつぼ 一地壺 (名) 土地のつぼ。
ちっつぼ 一地壺 (名) 土地

ちどりさう 千鳥草 (名) 【植】ひえんさうの異名。

ちどりじま 千鳥島 (名) 鳥類の棲息する島。

ちどりのせき 千鳥の関 (名) 千鳥が群がり集まる関所。

ちどりは 千鳥波 (名) 千鳥の群れが飛ぶように立つ波。

ちどりばさみ 千鳥挟み (名) 【裁縫】三角形、即ち、千鳥形に細かく裁ち重ねた裁縫用具。背にある鋏の刃を挟む為の小さい凹みがあり、また、鋏の脚に設ける遊環の一種。

ちどりのせき 千鳥の関 (名) 【植】ひえんさうの異名。

ちどりばし 千鳥橋 (名) 【建】床の間に装飾として設ける違い棚の一種。

ちどりまくら 千鳥枕 (名) 【装】(なべちどり)

ちどりやき 千鳥焼 (名) 【植】ひえんさうの異名。

ちどりりん 千鳥凜 (名) 【植】ひえんさうの異名。

ちなつ 千夏 (名) 【植】ひえんさうの異名。

ちなつ 千鳥

ちほう―ちほう　ちほう　ちほう　

「みやまおりに千引のつなも弱るらし」（古今・雑体・長歌）

ちびき　血引　（名）【動】鳥獣の血を硯に受けて墨をすり混ぜたもの。誓約書などに用いる。

ちびきいし　千引石　（名）千人して引くほどの大きな岩。記千引石（ちびきいし）。

ちびきまつり　地曳祭　（名）地曳を行う前に行う祭り。

ちびきはじめ　地曳始　（名）地曳をはじめること。

ちびきまつり　地曳祭　（名）地曳の時に行う祭り。

ちびく　地曳　（名）網を陸に引き寄せて魚を捕ること。また、その網。

ちびく　地曳　（名）家屋を建てる時、工匠が地鎮祭の後、良辰を選び、敷地の形に縄を張り、竹を立て、中央に祭壇を設け、四方には盛土を置き、之に幣を建て工匠の長、祝詞を奏する。

ちびくあみ　地引網　（名）ちびみ地曳網に同じ。

ちびくいし　千引岩　（名）千人して引くほどの大きな岩。記千引石（ちびきいし）。

ちびくかたな　小刀　（名）【古】小さい刀。

ちびくこ　小蛸魚　（名）【動】ヒメダコ。

ちびくさ　小草　（名）ちびさ（小さの語幹）。

ちびくさ　血草　（名）【植】ヒメハギ。

ちびくすり　血薬　（名）【医】血止め薬。

ちびくち　小口　（名）【古】小さい口。

ちびくつ　小沓　（名）【古】小さい沓。

ちびくつげ　小苔　（名）石などに出る小さい苔。

ちびくに　小国　（名）【古】小さい国。

ちびくにたま　小蛸魚　（名）【動】ヒメダコ。

ちびくのかみ　小国神　（名）【古】小さい国の神。

ちびくのみこと　小国命　（名）【古】小さい国の神。

ちびくのみや　小国宮　（名）【古】小さい国の宮

三筆の一人。嵯峨天皇・橘逸勢と共に唐様の書風を学び、和様の書風を確立した。空海の請来した王羲之の書法を学び、その風を慕って、嵯峨天皇の信任を得、宮中の額や扁額を多く書いた。また、空海の依頼で、東寺の建立にも尽力した。

ちもく 【除目】（名）（「じもく」とも）官に任ずる儀式。

ちもく 【地目】（名）土地の用途による分類。田・畑・宅地・山林・原野など。

ちもく 【地文】（名）（「地」ともいう）地上の山・川・平野などの地形。

ちもく 【地紋】（名）織物・染物などの模様。

ちもく 【地文学】（名）（「地」ともいう）地球の表面の地形・地質などを研究する学問。

ちもく 【地文航法】（名）（「地文」ともいう）天体を観測して船の位置を知る航海法

わいあえん　人鬼両船の異名。

ちゃうあい　帳合（名）㊀金銀又は商品の勘定を照らし合わせて、其の正否を確かめること。勘定照合。㊁帳簿に記入すること。

ちゃうあいあきない　帳合商（名）㊀売買の際に帳合米相場の立つ米穀を取引すること。㊁帳合米相場の立つ米穀を取引する商人。

ちゃうあいこめ　帳合米（名）帳合米相場の立つ米穀。

ちゃうあいこめさうば　帳合米相場（名）ちゃうあひまい帳合米に同じ。

ちゃうあいまい　帳合米相場（名）帳合米相場の立つ米穀の売買。

ちゃうあいまいげんさうば　帳合米現銀相場（名）江戸時代、大阪堂島米相場の一。米一石若しくは二石あての帳合米に例して、現銀にて売買をなし、帳合米相場の基礎を移して勝負するもの。今の清算取引に同じ。八木の話し場は江戸に一つ、堂島銀相場は帳合米現銀相場といふことあり。是れ昔もなく、堂島帳合相場の設立と共に勝負停止となり、今は八木の話し場のみ存続するものゝ如し。

ちゃうあいまいげんさうば　帳合米現銀相場（名）江戸時代、大阪堂島米相場の一。米一石若しくは二石あての帳合米に例して、現銀にて売買をなし、帳合米相場の基礎を移して勝負するもの。今の清算取引に同じ。八木の話し場は江戸に一つ、堂島銀相場は帳合米現銀相場といふことあり。是れ昔もなく、堂島帳合相場の設立と共に勝負停止となり、今は八木の話し場のみ存続するものゝ如し。

ちゃうあいまいさうば　帳合米相場（名）ちゃうあひまい帳合米に例して、帳合米相場の立つ米穀の売買。

ちゃうあいまいしょうばい　帳合商（名）大阪堂島米相場の一。帳合米相場の立つ米穀の売買。

ちゃうあいまいだい　帳合台（名）取引所にて前日の相場より当日の本場までに生じた売買損益の各個月別の損益総額を算出する為に用ふる台。

ちゃうあいまいだい　帳合台（名）取引所にて前日の相場より当日の本場までに生じた売買損益の各個月別の損益総額を算出する為に用ふる台。

ちゃうあいまいだいばん　帳合台盤

長距離旅行の時に用いる。[参]駕籠は一人で乗るが、これは二人以上で乗ることもある。

ちゃうちん　提灯（名）　ちょうちん

ちゃうつぼ　帳切（名）　ちょうつがい

ちゃうさいわん　一定器視（名）　仮盛の碗。定器は、一定の寸法に作った器。

ちゃうさいわん　丁銀　挺銀（名）　江戸時代の銀貨幣で、南鐐の如き形をなし、常足の手、貫目等、及び大黒の像等の極印あるもの。[参]一枚四十匁内外を通用した。即ち慶長丁銀・元禄丁銀・宝永丁銀・三貨丁銀・四貨丁銀・永字丁銀・元禄丁銀・宝字丁銀。銀の類。[参]新文字丁銀・安政丁銀。

ちゃうさいわん　町組合（名）　数個の町が共同して或る事務を処理するために設置する組合。

ちゃうさいわん　町自治（名）　町の議決機関。町会議員は町で組織し、其の町の自治に関する一切の事件を議決し、其の執行を監督するもの。

ちゃうさいわん　帳外（名）　ぞんざいの。

ちゃうさいわん　帳外（名）　ぞんざいの。

ちゃうさいわん　帳外（名）　ぞんざい

とう、たいさん

ちゃうさ　定者（名）仏語。大法会の行満に、導師を勤めて前行する役。

ちゃうさ　仗座（名）仏語。連歌の席。

ちゃうさ　一定座（名）仏語。連歌などの席で、最初に句を出す人。第一句目。

ちゃうさ　一定坐（名）仏語。坐して定に入ること。本来は結跏趺坐（只利坐）をいうが、普通には安坐の意にも用いる。

ちゃうさい　一定斎（名）毎月定まった日に行う斎会。

ちゃうさい　一町歳（名）地方税の一。

ちゃうさい　一定廟（名）豊臣氏の頃、大阪の豊臣秀頼屋敷などの周囲にあった堀。

ちゃうさい　一定法（名）仏語。一定の方法。

ちゃうさい　一町銭（名）一町歩に賦課する銭。

ちゃうさい　一銭刻（名）一月一日の午後六時頃。

ちゃうさいかう　定斎薬（名）ちょうさいくすり　定斎薬（名）

ちゃうさいくすり　定斎薬（名）

ちゃうさいしゅ　一長斎持戒（名）

ちゃうさいしゅかい　一長斎持戒（名）

ちゃうさいはう　一定坐（名）

ちゃうさいぶね　一艘船（名）

ちゃうさう　一長柄（名）

ちゃうさう　一長柄（名）

ちゃうさう　一行灯（名）

ちゃうさう　一走相（名）

ちゃうさう　一走相（名）

ちゃうさう　一走相

ちゃうじひげりこもお　丁子左巴（名）紋所の名。

ちゃうじぶっ　丁子風爐（名）室内を匂はすために小さき風爐の上に釜をかけ、其の中に丁子を入さき風爐の上に釜をかけ、其の中に丁子を入れて匂はす事。昔時、貴人の家には大抵備へありしといふ。

ちゃうじぶね　茶宇船（名）（昔時、印度国のCeylon の産にて、葡萄牙人の輸入したるより此の名起る。）堅牢にして能く久しく用ふるに適する船舶の初め。重に特地との交通に使用す。

ちゃうじみぎとめ　丁子右巴（名）紋所の名。

ちゃうじむすび　丁子結（名）紐の結び方の名。

ちゃうじゃ　長者（名）（一）富有の人。年高き人。（二）主人。（三）年長者。（四）年下の人より年長者に対する敬称。（五）人の名の下に附けて敬意を表す。（六）人の名の下に附けて軽く呼ぶ。（七）人品なる紳士の称。（八）大家。（九）人の名の下に附けて軽く呼ぶ。（十）人品なる紳士の称。（十一）人品なる紳士の称。（十二）人品なる紳士の称。（十三）人品なる紳士の称。（十四）人品なる紳士の称。（十五）人品なる紳士の称。（十六）人品なる紳士の称。（十七）人品なる紳士の称。（十八）人品なる紳士の称。（十九）人品なる紳士の称。（二十）人品なる紳士の称。（二十一）人品なる紳士の称。（二十二）人品なる紳士の称。（二十三）人品なる紳士の称。（二十四）人品なる紳士の称。（二十五）人品なる紳士の称。（二十六）人品なる紳士の称。（二十七）人品なる紳士の称。（二十八）人品なる紳士の称。（二十九）人品なる紳士の称。（三十）人品なる紳士の称。（三十一）人品なる紳士の称。（三十二）人品なる紳士の称。（三十三）人品なる紳士の称。（三十四）人品なる紳士の称。（三十五）人品なる紳士の称。（三十六）人品なる紳士の称。（三十七）人品なる紳士の称。（三十八）人品なる紳士の称。（三十九）人品なる紳士の称。（四十）人品なる紳士の称。（四十一）人品なる紳士の称。（四十二）人品なる紳士の称。（四十三）人品なる紳士の称。（四十四）人品なる紳士の称。（四十五）人品なる紳士の称。（四十六）人品なる紳士の称。（四十七）人品なる紳士の称。（四十八）人品なる紳士の称。（四十九）人品なる紳士の称。（五十）人品なる紳士の称。（五十一）人品なる紳士の称。（五十二）人品なる紳士の称。（五十三）人品なる紳士の称。（五十四）人品なる紳士の称。（五十五）人品なる紳士の称。（五十六）人品なる紳士の称。（五十七）人品なる紳士の称。（五十八）人品なる紳士の称。（五十九）人品なる紳士の称。（六十）人品なる紳士の称。（六十一）人品なる紳士の称。（六十二）人品なる紳士の称。（六十三）人品なる紳士の称。（六十四）人品なる紳士の称。（六十五）人品なる紳士の称。（六十六）人品なる紳士の称。（六十七）人品なる紳士の称。（六十八）人品なる紳士の称。（六十九）人品なる紳士の称。（七十）人品なる紳士の称。（七十一）人品なる紳士の称。（七十二）人品なる紳士の称。（七十三）人品なる紳士の称。（七十四）人品なる紳士の称。（七十五）人品なる紳士の称。（七十六）人品なる紳士の称。（七十七）人品なる紳士の称。（七十八）人品なる紳士の称。（七十九）人品なる紳士の称。（八十）人品なる紳士の称。（八十一）人品なる紳士の称。（八十二）人品なる紳士の称。（八十三）人品なる紳士の称。（八十四）人品なる紳士の称。（八十五）人品なる紳士の称。（八十六）人品なる紳士の称。（八十七）人品なる紳士の称。（八十八）人品なる紳士の称。（八十九）人品なる紳士の称。（九十）人品なる紳士の称。（九十一）人品なる紳士の称。（九十二）人品なる紳士の称。（九十三）人品なる紳士の称。（九十四）人品なる紳士の称。（九十五）人品なる紳士の称。（九十六）人品なる紳士の称。（九十七）人品なる紳士の称。（九十八）人品なる紳士の称。（九十九）人品なる紳士の称。（百）人品なる紳士の称。（百一）人品なる紳士の称。（百二）人品なる紳士の称。（百三）人品なる紳士の称。（百四）人品なる紳士の称。（百五）人品なる紳士の称。（百六）人品なる紳士の称。（百七）人品なる紳士の称。（百八）人品なる紳士の称。（百九）人品なる紳士の称。（百十）人品なる紳士の称。（百十一）人品なる紳士の称。（百十二）人品なる紳士の称。（百十三）人品なる紳士の称。（百十四）人品なる紳士の称。（百十五）人品なる紳士の称。（百十六）人品なる紳士の称。（百十七）人品なる紳士の称。（百十八）人品なる紳士の称。（百十九）人品なる紳士の称。（百二十）人品なる紳士の称。（百二十一）人品なる紳士の称。（百二十二）人品なる紳士の称。（百二十三）人品なる紳士の称。（百二十四）人品なる紳士の称。（百二十五）人品なる紳士の称。（百二十六）人品なる紳士の称。（百二十七）人品なる紳士の称。（百二十八）人品なる紳士の称。（百二十九）人品なる紳士の称。（百三十）人品なる紳士の称。（百三十一）人品なる紳士の称。（百三十二）人品なる紳士の称。（百三十三）人品なる紳士の称。（百三十四）人品なる紳士の称。（百三十五）人品なる紳士の称。（百三十六）人品なる紳士の称。（百三十七）人品なる紳士の称。（百三十八）人品なる紳士の称。（百三十九）人品なる紳士の称。（百四十）人品なる紳士の称。（百四十一）人品なる紳士の称。（百四十二）人品なる紳士の称。（百四十三）人品なる紳士の称。（百四十四）人品なる紳士の称。（百四十五）人品なる紳士の称。（百四十六）人品なる紳士の称。（百四十七）人品なる紳士の称。（百四十八）人品なる紳士の称。（百四十九）人品なる紳士の称。（百五十）人品なる紳士の称。（百五十一）人品なる紳士の称。（百五十二）人品なる紳士の称。（百五十三）人品なる紳士の称。（百五十四）人品なる紳士の称。（百五十五）人品なる紳士の称。（百五十六）人品なる紳士の称。（百五十七）人品なる紳士の称。（百五十八）人品なる紳士の称。（百五十九）人品なる紳士の称。（百六十）人品なる紳士の称。（百六十一）人品なる紳士の称。（百六十二）人品なる紳士の称。（百六十三）人品なる紳士の称。（百六十四）人品なる紳士の称。（百六十五）人品なる紳士の称。（百六十六）人品なる紳士の称。（百六十七）人品なる紳士の称。（百六十八）人品なる紳士の称。（百六十九）人品なる紳士の称。（百七十）人品なる紳士の称。（百七十一）人品なる紳士の称。（百七十二）人品なる紳士の称。（百七十三）人品なる紳士の称。（百七十四）人品なる紳士の称。（百七十五）人品なる紳士の称。（百七十六）人品なる紳士の称。（百七十七）人品なる紳士の称。（百七十八）人品なる紳士の称。（百七十九）人品なる紳士の称。（百八十）人品なる紳士の称。（百八十一）人品なる紳士の称。（百八十二）人品なる紳士の称。（百八十三）人品なる紳士の称。（百八十四）人品なる紳士の称。（百八十五）人品なる紳士の称。（百八十六）人品なる紳士の称。（百八十七）人品なる紳士の称。（百八十八）人品なる紳士の称。（百八十九）人品なる紳士の称。（百九十）人品なる紳士の称。（百九十一）人品なる紳士の称。（百九十二）人品なる紳士の称。（百九十三）人品なる紳士の称。（百九十四）人品なる紳士の称。（百九十五）人品なる紳士の称。（百九十六）人品なる紳士の称。（百九十七）人品なる紳士の称。（百九十八）人品なる紳士の称。（百九十九）人品なる紳士の称。（二百）人品なる紳士の称。（二百一）人品なる紳士の称。（二百二）人品なる紳士の称。（二百三）人品なる紳士の称。（二百四）人品なる紳士の称。（二百五）人品なる紳士の称。（二百六）人品なる紳士の称。（二百七）人品なる紳士の称。（二百八）人品なる紳士の称。（二百九）人品なる紳士の称。（二百十）人品なる紳士の称。（二百十一）人品なる紳士の称。（二百十二）人品なる紳士の称。（二百十三）人品なる紳士の称。（二百十四）人品なる紳士の称。（二百十五）人品なる紳士の称。（二百十六）人品なる紳士の称。（二百十七）人品なる紳士の称。（二百十八）人品なる紳士の称。（二百十九）人品なる紳士の称。（二百二十）人品なる紳士の称。（二百二十一）人品なる紳士の称。（二百二十二）人品なる紳士の称。（二百二十三）人品なる紳士の称。（二百二十四）人品なる紳士の称。（二百二十五）人品なる紳士の称。（二百二十六）人品なる紳士の称。（二百二十七）人品なる紳士の称。（二百二十八）人品なる紳士の称。（二百二十九）人品なる紳士の称。（二百三十）人品なる紳士の称。（二百三十一）人品なる紳士の称。（二百三十二）人品なる紳士の称。（二百三十三）人品なる紳士の称。（二百三十四）人品なる紳士の称。（二百三十五）人品なる紳士の称。（二百三十六）人品なる紳士の称。（二百三十七）人品なる紳士の称。（二百三十八）人品なる紳士の称。（二百三十九）人品なる紳士の称。（二百四十）人品なる紳士の称。（二百四十一）人品なる紳士の称。（二百四十二）人品なる紳士の称。（二百四十三）人品なる紳士の称。（二百四十四）人品なる紳士の称。（二百四十五）人品なる紳士の称。（二百四十六）人品なる紳士の称。（二百四十七）人品なる紳士の称。（二百四十八）人品なる紳士の称。（二百四十九）人品なる紳士の称。（二百五十）人品なる紳士の称。（二百五十一）人品なる紳士の称。（二百五十二）人品なる紳士の称。（二百五十三）人品なる紳士の称。（二百五十四）人品なる紳士の称。（二百五十五）人品なる紳士の称。（二百五十六）人品なる紳士の称。（二百五十七）人品なる紳士の称。（二百五十八）人品なる紳士の称。（二百五十九）人品なる紳士の称。（二百六十）人品なる紳士の称。（二百六十一）人品なる紳士の称。（二百六十二）人品なる紳士の称。（二百六十三）人品なる紳士の称。（二百六十四）人品なる紳士の称。（二百六十五）人品なる紳士の称。（二百六十六）人品なる紳士の称。（二百六十七）人品なる紳士の称。（二百六十八）人品なる紳士の称。（二百六十九）人品なる紳士の称。（二百七十）人品なる紳士の称。（二百七十一）人品なる紳士の称。（二百七十二）人品なる紳士の称。（二百七十三）人品なる紳士の称。（二百七十四）人品なる紳士の称。（二百七十五）人品なる紳士の称。（二百七十六）人品なる紳士の称。（二百七十七）人品なる紳士の称。（二百七十八）人品なる紳士の称。（二百七十九）人品なる紳士の称。（二百八十）人品なる紳士の称。（二百八十一）人品なる紳士の称。（二百八十二）人品なる紳士の称。（二百八十三）人品なる紳士の称。（二百八十四）人品なる紳士の称。（二百八十五）人品なる紳士の称。（二百八十六）人品なる紳士の称。（二百八十七）人品なる紳士の称。（二百八十八）人品なる紳士の称。（二百八十九）人品なる紳士の称。（二百九十）人品なる紳士の称。（二百九十一）人品なる紳士の称。（二百九十二）人品なる紳士の称。（二百九十三）人品なる紳士の称。（二百九十四）人品なる紳士の称。（二百九十五）人品なる紳士の称。（二百九十六）人品なる紳士の称。（二百九十七）人品なる紳士の称。（二百九十八）人品なる紳士の称。（二百九十九）人品なる紳士の称。（三百）人品なる紳士の称。（三百一）人品なる紳士の称。（三百二）人品なる紳士の称。（三百三）人品なる紳士の称。（三百四）人品なる紳士の称。（三百五）人品なる紳士の称。（三百六）人品なる紳士の称。（三百七）人品なる紳士の称。（三百八）人品なる紳士の称。（三百九）人品なる紳士の称。（三百十）人品なる紳士の称。（三百十一）人品なる紳士の称。（三百十二）人品なる紳士の称。（三百十三）人品なる紳士の称。（三百十四）人品なる紳士の称。（三百十五）人品なる紳士の称。（三百十六）人品なる紳士の称。（三百十七）人品なる紳士の称。（三百十八）人品なる紳士の称。（三百十九）人品なる紳士の称。（三百二十）人品なる紳士の称。（三百二十一）人品なる紳士の称。（三百二十二）人品なる紳士の称。（三百二十三）人品なる紳士の称。（三百二十四）人品なる紳士の称。（三百二十五）人品なる紳士の称。（三百二十六）人品なる紳士の称。（三百二十七）人品なる紳士の称。（三百二十八）人品なる紳士の称。（三百二十九）人品なる紳士の称。（三百三十）人品なる紳士の称。（三百三十一）人品なる紳士の称。（三百三十二）人品なる紳士の称。（三百三十三）人品なる紳士の称。（三百三十四）人品なる紳士の称。（三百三十五）人品なる紳士の称。（三百三十六）人品なる紳士の称。（三百三十七）人品なる紳士の称。（三百三十八）人品なる紳士の称。（三百三十九）人品なる紳士の称。（三百四十）人品なる紳士の称。（三百四十一）人品なる紳士の称。（三百四十二）人品なる紳士の称。（三百四十三）人品なる紳士の称。（三百四十四）人品なる紳士の称。（三百四十五）人品なる紳士の称。（三百四十六）人品なる紳士の称。（三百四十七）人品なる紳士の称。（三百四十八）人品なる紳士の称。（三百四十九）人品なる紳士の称。（三百五十）人品なる紳士の称。（三百五十一）人品なる紳士の称。（三百五十二）人品なる紳士の称。（三百五十三）人品なる紳士の称。（三百五十四）人品なる紳士の称。（三百五十五）人品なる紳士の称。（三百五十六）人品なる紳士の称。（三百五十七）人品なる紳士の称。（三百五十八）人品なる紳士の称。（三百五十九）人品なる紳士の称。（三百六十）人品なる紳士の称。（三百六十一）人品なる紳士の称。（三百六十二）人品なる紳士の称。（三百六十三）人品なる紳士の称。（三百六十四）人品なる紳士の称。（三百六十五）人品なる紳士の称。（三百六十六）人品なる紳士の称。（三百六十七）人品なる紳士の称。（三百六十八）人品なる紳士の称。（三百六十九）人品なる紳士の称。（三百七十）人品なる紳士の称。（三百七十一）人品なる紳士の称。（三百七十二）人品なる紳士の称。（三百七十三）人品なる紳士の称。（三百七十四）人品なる紳士の称。（三百七十五）人品なる紳士の称。（三百七十六）人品なる紳士の称。（三百七十七）人品なる紳士の称。（三百七十八）人品なる紳士の称。（三百七十九）人品なる紳士の称。（三百八十）人品なる紳士の称。（三百八十一）人品なる紳士の称。（三百八十二）人品なる紳士の称。（三百八十三）人品なる紳士の称。（三百八十四）人品なる紳士の称。（三百八十五）人品なる紳士の称。（三百八十六）人品なる紳士の称。（三百八十七）人品なる紳士の称。（三百八十八）人品なる紳士の称。（三百八十九）人品なる紳士の称。（三百九十）人品なる紳士の称。（三百九十一）人品なる紳士の称。（三百九十二）人品なる紳士の称。（三百九十三）人品なる紳士の称。（三百九十四）人品なる紳士の称。（三百九十五）人品なる紳士の称。（三百九十六）人品なる紳士の称。（三百九十七）人品なる紳士の称。（三百九十八）人品なる紳士の称。（三百九十九）人品なる紳士の称。（四百）人品なる紳士の称。（四百一）人品なる紳士の称。（四百二）人品なる紳士の称。（四百三）人品なる紳士の称。（四百四）人品なる紳士の称。（四百五）人品なる紳士の称。（四百六）人品なる紳士の称。（四百七）人品なる紳士の称。（四百八）人品なる紳士の称。（四百九）人品なる紳士の称。（四百十）人品なる紳士の称。（四百十一）人品なる紳士の称。（四百十二）人品なる紳士の称。（四百十三）人品なる紳士の称。（四百十四）人品なる紳士の称。（四百十五）人品なる紳士の称。（四百十六）人品なる紳士の称。（四百十七）人品なる紳士の称。（四百十八）人品なる紳士の称。（四百十九）人品なる紳士の称。（四百二十）人品なる紳士の称。（四百二十一）人品なる紳士の称。（四百二十二）人品なる紳士の称。（四百二十三）人品なる紳士の称。（四百二十四）人品なる紳士の称。（四百二十五）人品なる紳士の称。（四百二十六）人品なる紳士の称。（四百二十七）人品なる紳士の称。（四百二十八）人品なる紳士の称。（四百二十九）人品なる紳士の称。（四百三十）人品なる紳士の称。（四百三十一）人品なる紳士の称。（四百三十二）人品なる紳士の称。（四百三十三）人品なる紳士の称。（四百三十四）人品なる紳士の称。（四百三十五）人品なる紳士の称。（四百三十六）人品なる紳士の称。（四百三十七）人品なる紳士の称。（四百三十八）人品なる紳士の称。（四百三十九）人品なる紳士の称。（四百四十）人品なる紳士の称。（四百四十一）人品なる紳士の称。（四百四十二）人品なる紳士の称。（四百四十三）人品なる紳士の称。（四百四十四）人品なる紳士の称。（四百四十五）人品なる紳士の称。（四百四十六）人品なる紳士の称。（四百四十七）人品なる紳士の称。（四百四十八）人品なる紳士の称。（四百四十九）人品なる紳士の称。（四百五十）人品なる紳士の称。（四百五十一）人品なる紳士の称。（四百五十二）人品なる紳士の称。（四百五十三）人品なる紳士の称。（四百五十四）人品なる紳士の称。（四百五十五）人品なる紳士の称。（四百五十六）人品なる紳士の称。（四百五十七）人品なる紳士の称。（四百五十八）人品なる紳士の称。（四百五十九）人品なる紳士の称。（四百六十）人品なる紳士の称。（四百六十一）人品なる紳士の称。（四百六十二）人品なる紳士の称。（四百六十三）人品なる紳士の称。（四百六十四）人品なる紳士の称。（四百六十五）人品なる紳士の称。（四百六十六）人品なる紳士の称。（四百六十七）人品なる紳士の称。（四百六十八）人品なる紳士の称。（四百六十九）人品なる紳士の称。（四百七十）人品なる紳士の称。（四百七十一）人品なる紳士の称。（四百七十二）人品なる紳士の称。（四百七十三）人品なる紳士の称。（四百七十四）人品なる紳士の称。（四百七十五）人品なる紳士の称。（四百七十六）人品なる紳士の称。（四百七十七）人品なる紳士の称。（四百七十八）人品なる紳士の称。（四百七十九）人品なる紳士の称。（四百八十）人品なる紳士の称。（四百八十一）人品なる紳士の称。（四百八十二）人品なる紳士の称。（四百八十三）人品なる紳士の称。（四百八十四）人品なる紳士の称。（四百八十五）人品なる紳士の称。（四百八十六）人品なる紳士の称。（四百八十七）人品なる紳士の称。（四百八十八）人品なる紳士の称。（四百八十九）人品なる紳士の称。（四百九十）人品なる紳士の称。（四百九十一）人品なる紳士の称。（四百九十二）人品なる紳士の称。（四百九十三）人品なる紳士の称。（四百九十四）人品なる紳士の称。（四百九十五）人品なる紳士の称。（四百九十六）人品なる紳士の称。（四百九十七）人品なる紳士の称。（四百九十八）人品なる紳士の称。（四百九十九）人品なる紳士の称。（五百）人品なる紳士の称。（五百一）人品なる紳士の称。（五百二）人品なる紳士の称。（五百三）人品なる紳士の称。（五百四）人品なる紳士の称。（五百五）人品なる紳士の称。（五百六）人品なる紳士の称。（五百七）人品なる紳士の称。（五百八）人品なる紳士の称。（五百九）人品なる紳士の称。（五百十）人品なる紳士の称。（五百十一）人品なる紳士の称。（五百十二）人品なる紳士の称。（五百十三）人品なる紳士の称。（五百十四）人品なる紳士の称。（五百十五）人品なる紳士の称。（五百十六）人品なる紳士の称。（五百十七）人品なる紳士の称。（五百十八）人品なる紳士の称。（五百十九）人品なる紳士の称。（五百二十）人品なる紳士の称。（五百二十一）人品なる紳士の称。（五百二十二）人品なる紳士の称。（五百二十三）人品なる紳士の称。（五百二十四）人品なる紳士の称。（五百二十五）人品なる紳士の称。（五百二十六）人品なる紳士の称。（五百二十七）人品なる紳士の称。（五百二十八）人品なる紳士の称。（五百二十九）人品なる紳士の称。（五百三十）人品なる紳士の称。（五百三十一）人品なる紳士の称。（五百三十二）人品なる紳士の称。（五百三十三）人品なる紳士の称。（五百三十四）人品なる紳士の称。（五百三十五）人品なる紳士の称。（五百三十六）人品なる紳士の称。（五百三十七）人品なる紳士の称。（五百三十八）人品なる紳士の称。（五百三十九）人品なる紳士の称。（五百四十）人品なる紳士の称。（五百四十一）人品なる紳士の称。（五百四十二）人品なる紳士の称。（五百四十三）人品なる紳士の称。（五百四十四）人品なる紳士の称。（五百四十五）人品なる紳士の称。（五百四十六）人品なる紳士の称。（五百四十七）人品なる紳士の称。（五百四十八）人品なる紳士の称。（五百四十九）人品なる紳士の称。（五百五十）人品なる紳士の称。（五百五十一）人品なる紳士の称。（五百五十二）人品なる紳士の称。（五百五十三）人品なる紳士の称。（五百五十四）人品なる紳士の称。（五百五十五）人品なる紳士の称。（五百五十六）人品なる紳士の称。（五百五十七）人品なる紳士の称。（五百五十八）人品なる紳士の称。（五百五十九）人品なる紳士の称。（五百六十）人品なる紳士の称。（五百六十一）人品なる紳士の称。（五百六十二）人品なる紳士の称。（五百六十三）人品なる紳士の称。（五百六十四）人品なる紳士の称。（五百六十五）人品なる紳士の称。（五百六十六）人品なる紳士の称。（五百六十七）人品なる紳士の称。（五百六十八）人品なる紳士の称。（五百六十九）人品なる紳士の称。（五百七十）人品なる紳士の称。（五百七十一）人品なる紳士の称。（五百七十二）人品なる紳士の称。（五百七十三）人品なる紳士の称。（五百七十四）人品なる紳士の称。（五百七十五）人品なる紳士の称。（五百七十六）人品なる紳士の称。（五百七十七）人品なる紳士の称。（五百七十八）人品なる紳士の称。（五百七十九）人品なる紳士の称。（五百八十）人品なる紳士の称。（五百八十一）人品なる紳士の称。（五百八十二）人品なる紳士の称。（五百八十三）人品なる紳士の称。（五百八十四）人品なる紳士の称。（五百八十五）人品なる紳士の称。（五百八十六）人品なる紳士の称。（五百八十七）人品なる紳士の称。（五百八十八）人品なる紳士の称。（五百八十九）人品なる紳士の称。（五百九十）人品なる紳士の称。（五百九十一）人品なる紳士の称。（五百九十二）人品なる紳士の称。（五百九十三）人品なる紳士の称。（五百九十四）人品なる紳士の称。（五百九十五）人品なる紳士の称。（五百九十六）人品なる紳士の称。（五百九十七）人品なる紳士の称。（五百九十八）人品なる紳士の称。（五百九十九）人品なる紳士の称。（六百）人品なる紳士の称。（六百一）人品なる紳士の称。（六百二）人品なる紳士の称。（六百三）人品なる紳士の称。（六百四）人品なる紳士の称。（六百五）人品なる紳士の称。（六百六）人品なる紳士の称。（六百七）人品なる紳士の称。（六百八）人品なる紳士の称。（六百九）人品なる紳士の称。（六百十）人品なる紳士の称。（六百十一）人品なる紳士の称。（六百十二）人品なる紳士の称。（六百十三）人品なる紳士の称。（六百十四）人品なる紳士の称。（六百十五）人品なる紳士の称。（六百十六）人品なる紳士の称。（六百十七）人品なる紳士の称。（六百十八）人品なる紳士の称。（六百十九）人品なる紳士の称。（六百二十）人品なる紳士の称。（六百二十一）人品なる紳士の称。（六百二十二）人品なる紳士の称。（六百二十三）人品なる紳士の称。（六百二十四）人品なる紳士の称。（六百二十五）人品なる紳士の称。（六百二十六）人品なる紳士の称。（六百二十七）人品なる紳士の称。（六百二十八）人品なる紳士の称。（六百二十九）人品なる紳士の称。（六百三十）人品なる紳士の称。（六百三十一）人品なる紳士の称。（六百三十二）人品なる紳士の称。（六百三十三）人品なる紳士の称。（六百三十四）人品なる紳士の称。（六百三十五）人品なる紳士の称。（六百三十六）人品なる紳士の称。（六百三十七）人品なる紳士の称。（六百三十八）人品なる紳士の称。（六百三十九）人品なる紳士の称。（六百四十）人品なる紳士の称。（六百四十一）人品なる紳士の称。（六百四十二）人品なる紳士の称。（六百四十三）人品なる紳士の称。（六百四十四）人品なる紳士の称。（六百四十五）人品なる紳士の称。（六百四十六）人品なる紳士の称。（六百四十七）人品なる紳士の称。（六百四十八）人品なる紳士の称。（六百四十九）人品なる紳士の称。（六百五十）人品なる紳士の称。（六百五十一）人品なる紳士の称。（六百五十二）人品なる紳士の称。（六百五十三）人品なる紳士の称。（六百五十四）人品なる紳士の称。（六百五十五）人品なる紳士の称。（六百五十六）人品なる紳士の称。（六百五十七）人品なる紳士の称。（六百五十八）人品なる紳士の称。（六百五十九）人品なる紳士の称。（六百六十）人品なる紳士の称。（六百六十一）人品なる紳士の称。（六百六十二）人品なる紳士の称。（六百六十三）人品なる紳士の称。（六百六十四）人品なる紳士の称。（六百六十五）人品なる紳士の称。（六百六十六）人品なる紳士の称。（六百六十七）人品なる紳士の称。（六百六十八）人品なる紳士の称。（六百六十九）人品なる紳士の称。（六百七十）人品なる紳士の称。（六百七十一）人品なる紳士の称。（六百七十二）人品なる紳士の称。（六百七十三）人品なる紳士の称。（六百七十四）人品なる紳士の称。（六百七十五）人品なる紳士の称。（六百七十六）人品なる紳士の称。（六百七十七）人品なる紳士の称。（六百七十八）人品なる紳士の称。（六百七十九）人品なる紳士の称。（六百八十）人品なる紳士の称。（六百八十一）人品なる紳士の称。（六百八十二）人品なる紳士の称。（六百八十三）人品なる紳士の称。（六百八十四）人品なる紳士の称。（六百八十五）人品なる紳士の称。（六百八十六）人品なる紳士の称。（六百八十七）人品なる紳士の称。（六百八十八）人品なる紳士の称。（六百八十九）人品なる紳士の称。（六百九十）人品なる紳士の称。（六百九十一）人品なる紳士の称。（六百九十二）人品なる紳士の称。（六百九十三）人品なる紳士の称。（六百九十四）人品なる紳士の称。（六百九十五）人品なる紳士の称。（六百九十六）人品なる紳士の称。（六百九十七）人品なる紳士の称。（六百九十八）人品なる紳士の称。（六百九十九）人品なる紳士の称。（七百）人品なる紳士の称。（七百一）人品なる紳士の称。（七百二）人品なる紳士の称。（七百三）人品なる紳士の称。（七百四）人品なる紳士の称。（七百五）人品なる紳士の称。（七百六）人品なる紳士の称。（七百七）人品なる紳士の称。（七百八）人品なる紳士の称。（七百九）人品なる紳士の称。（七百十）人品なる紳士の称。（七百十一）人品なる紳士の称。（七百十二）人品なる紳士の称。（七百十三）人品なる紳士の称。（七百十四）人品なる紳士の称。（七百十五）人品なる紳士の称。（七百十六）人品なる紳士の称。（七百十七）人品なる紳士の称。（七百十八）人品なる紳士の称。（七百十九）人品なる紳士の称。（七百二十）人品なる紳士の称。（七百二十一）人品なる紳士の称。（七百二十二）人品なる紳士の称。（七百二十三）人品なる紳士の称。（七百二十四）人品なる紳士の称。（七百二十五）人品なる紳士の称。（七百二十六）人品なる紳士の称。（七百二十七）人品なる紳士の称。（七百二十八）人品なる紳士の称。（七百二十九）人品なる紳士の称。（七百三十）人品なる紳士の称。（七百三十一）人品なる紳士の称。（七百三十二）人品なる紳士の称。（七百三十三）人品なる紳士の称。（七百三十四）人品なる紳士の称。（七百三十五）人品なる紳士の称。（七百三十六）人品なる紳士の称。（七百三十七）人品なる紳士の称。（七百三十八）人品なる紳士の称。（七百三十九）人品なる紳士の称。（七百四十）人品なる紳士の称。（七百四十一）人品なる紳士の称。（七百四十二）人品なる紳士の称。（七百四十三）人品なる紳士の称。（七百四十四）人品なる紳士の称。（七百四十五）人品なる紳士の称。（七百四十六）人品なる紳士の称。（七百四十七）人品なる紳士の称。（七百四十八）人品なる紳士の称。（七百四十九）人品なる紳士の称。（七百五十）人品なる紳士の称。（七百五十一）人品なる紳士の称。（七百五十二）人品なる紳士の称。（七百五十三）人品なる紳士の称。（七百五十四）人品なる紳士の称。（七百五十五）人品なる紳士の称。（七百五十六）人品なる紳士の称。（七百五十七）人品なる紳士の称。（七百五十八）人品なる紳士の称。（七百五十九）人品なる紳士の称。（七百六十）人品なる紳士の称。（七百六十一）人品なる紳士の称。（七百六十二）人品なる紳士の称。（七百六十三）人品なる紳士の称。（七百六十四）人品なる紳士の称。（七百六十五）人品なる紳士の称。（七百六十六）人品なる紳士の称。（七百六十七）人品なる紳士の称。（七百六十八）人品なる紳士の称。（七百六十九）人品なる紳士の称。（七百七十）人品なる紳士の称。（七百七十一）人品なる紳士の称。（七百七十二）人品なる紳士の称。（七百七十三）人品なる紳士の称。（七百七十四）人品なる紳士の称。（七百七十五）人品なる紳士の称。（七百七十六）人品なる紳士の称。（七百七十七）人品なる紳士の称。（七百七十八）人品なる紳士の称。（七百七十九）人品なる紳士の称。（七百八十）人品なる紳士の称。（七百八十一）人品なる紳士の称。（七百八十二）人品なる紳士の称。（七百八十三）人品なる紳士の称。（七百八十四）人品なる紳士の称。（七百八十五）人品なる紳士の称。（七百八十六）人品なる紳士の称。（七百八十七）人品なる紳士の称。（七百八十八）人品なる紳士の称。（七百八十九）人品なる紳士の称。（七百九十）人品なる紳士の称。（七百九十一）人品なる紳士の称。（七百九十二）人品なる紳士の称。（七百九十三）人品なる紳士の称。（七百九十四）人品なる紳士の称。（七百九十五）人品なる紳士の称。（七百九十六）人品なる紳士の称。（七百九十七）人品なる紳士の称。（七百九十八）人品なる紳士の称。（七百九十九）人品なる紳士の称。（八百）人品なる紳士の称。（八百一）人品なる紳士の称。（八百二）人品なる紳士の称。（八百三）人品なる紳士の称。（八百四）人品なる紳士の称。（八百五）人品なる紳士の称。（八百六）人品なる紳士の称。（八百七）人品なる紳士の称。（八百八）人品なる紳士の称。（八百九）人品なる紳士の称。（八百十）人品なる紳士の称。（八百十一）人品なる紳士の称。（八百十二）人品なる紳士の称。（八百十三）人品なる紳士の称。（八百十四）人品なる紳士の称。（八百十五）人品なる紳士の称。（八百十六）人品なる紳士の称。（八百十七）人品なる紳士の称。（八百十八）人品なる紳士の称。（八百十九）人品なる紳士の称。（八百二十）人品なる紳士の称。（八百二十一）人品なる紳士の称。（八百二十二）人品なる紳士の称。（八百二十三）人品なる紳士の称。（八百二十四）人品なる紳士の称。（八百二十五）人品なる紳士の称。（八百二十六）人品なる紳士の称。（八百二十七）人品なる紳士の称。（八百二十八）人品なる紳士の称。（八百二十九）人品なる紳士の称。（八百三十）人品なる紳士の称。（八百三十一）人品なる紳士の称。（八百三十二）人品なる紳士の称。（八百三十三）人品なる紳士の称。（八百三十四）人品なる紳士の称。（八百三十五）人品なる紳士の称。（八百三十六）人品なる紳士の称。（八百三十七）人品なる紳士の称。（八百三十八）人品なる紳士の称。（八百三十九）人品なる紳士の称。（八百四十）人品なる紳士の称。（八百四十一）人品なる紳士の称。（八百四十二）人品なる紳士の称。（八百四十三）人品なる紳士の称。（八百四十四）人品なる紳士の称。（八百四十五）人品なる紳士の称。（八百四十六）人品なる紳士の称。（八百四十七）人品なる紳士の称。（八百四十八）人品なる紳士の称。（八百四十九）人品なる紳士の称。（八百五十）人品なる紳士の称。（八百五十一）人品なる紳士の称。（八百五十二）人品なる紳士の称。（八百五十三）人品なる紳士の称。（八百五十四）人品なる紳士の称。（八百五十五）人品なる紳士の称。（八百五十六）人品なる紳士の称。（八百五十七）人品なる紳士の称。（八百五十八）人品なる紳士の称。（八百五十九）人品なる紳士の称。（八百六十）人品なる紳士の称。（八百六十一）人品なる紳士の称。（八百六十二）人品なる紳士の称。（八百六十三）人品なる紳士の称。（八百六十四）人品なる紳士の称。（八百六十五）人品なる紳士の称。（八百六十六）人品なる紳士の称。（八百六十七）人品なる紳士の称。（八百六十八）人品なる紳士の称。（八百六十九）人品なる紳士の称。（八百七十）人品なる紳士の称。（八百七十一）人品なる紳士の称。（八百七十二）人品なる紳士の称。（八百七十三）人品なる紳士の称。（八百七十四）人品なる紳士の称。（八百七十五）人品なる紳士の称。（八百七十六）人品なる紳士の称。（八百七十七）人品なる紳士の称。（八百七十八）人品なる紳士の称。（八百七十九）人品なる紳士の称。（八百八十）人品なる紳士の称。（八百八十一）人品なる紳士の称。（八百八十二）人品なる紳士の称。（八百八十三）人品なる紳士の称。（八百八十四）人品なる紳士の称。（八百八十五）人品なる紳士の称。（八百八十六）人品なる紳士の称。（八百八十七）人品なる紳士の称。（八百八十八）人品なる紳士の称。（八百八十九）人品なる紳士の称。（八百九十）人品なる紳士の称。（八百九十一）人品なる紳士の称。（八百九十二）人品なる紳士の称。（八百九十三）人品なる紳士の称。（八百九十四）人品なる紳士の称。（八百九十五）人品なる紳士の称。（八百九十六）人品なる紳士の称。（八百九十七）人品なる紳士の称。（八百九十八）人品なる紳士の称。（八百九十九）人品なる紳士の称。（九百）人品なる紳士の称。（九百一）人品なる紳士の称。（九百二）人品なる紳士の称。（九百三）人品なる紳士の称。（九百四）人品なる紳士の称。（九百五）人品なる紳士の称。（九百六）人品なる紳士の称。（九百七）人品なる紳士の称。（九百八）人品なる紳士の称。（九百九）人品なる紳士の称。（九百十）人品なる紳士の称。（九百十一）人品なる紳士の称。（九百十二）人品なる紳士の称。（九百十三）人品なる紳士の称。（九百十四）人品なる紳士の称。（九百十五）人品なる紳士の称。（九百十六）人品なる紳士の称。（九百十七）人品なる紳士の称。（九百十八）人品なる紳士の称。（九百十九）人品なる紳士の称。（九百二十）人品なる紳士の称。（九百二十一）人品なる紳士の称。（九百二十二）人品なる紳士の称。（九百二十三）人品なる紳士の称。（九百二十四）人品なる紳士の称。（九百二十五）人品なる紳士の称。（九百二十六）人品なる紳士の称。（九百二十七）人品なる紳士の称。（九百二十八）人品なる紳士の称。（九百二十九）人品なる紳士の称。（九百三十）人品なる紳士の称。（九百三十一）人品なる紳士の称。（九百三十二）人品なる紳士の称。（九百三十三）人品なる紳士の称。（九百三十四）人品なる紳士の称。（九百三十五）人品なる紳士の称。（九百三十六）人品なる紳士の称。（九百三十七）人品なる紳士の称。（九百三十八）人品なる紳士の称。（九百三十九）人品なる紳士の称。（九百四十）人品なる紳士の称。（九百四十一）人品なる紳士の称。（九百四十二）人品なる紳士の称。（九百四十三）人品なる紳士の称。（九百四十四）人品なる紳士の称。（九百四十五）人品なる紳士の称。（九百四十六）人品なる紳士の称。（九百四十七）人品なる紳士の称。（九百四十八）人品なる紳士の称。（九百四十九）人品なる紳士の称。（九百五十）人品なる紳士の称。（九百五十一）人品なる紳士の称。（九百五十二）人品なる紳士の称。（九百五十三）人品なる紳士の称。（九百五十四）人品なる紳士の称。（九百五十五）人品なる紳士の称。（九百五十六）人品なる紳士の称。（九百五十七）人品なる紳士の称。（九百五十八）人品なる紳士の称。（九百五十九）人品なる紳士の称。（九百六十）人品なる紳士の称。（九

定助於大助郷と云ひて中山道日光道中等之内には定助郷と云ふ村無く其海道之内にも定助郷と無き郷村も有之たる由」

ちゃうせい 一町政 (名) 町の自治行政。

ちゃうせい 一町制 (名) 町の編成組織及び施行等に関する制度。

ちゃうせき 一長星 (名) はほうきぼし。【有長星出見于東方】

ちゃうせき 一長生 (名) 長く寿命を保つこと。長寿。「朝聞道夕可死矣」

ちゃうせき 一長石 (名) 図形にて一定の法あり打ち方の石。定まりの石。「碁盤の目の如く」

ちゃうせき 一定席 (名) 一定まりた席。よせ。

ちゃうせき 一定盛 (名) 明治年七月太政官布告第七十四號。現在地の外、木綿相定度量

ちゃうせき 一長席 (名) 一人よせ。

ちゃうせき 一長石 (名) 【建築】柱石。正位石の頂に作りたる石。

ちゃうせき 一頂生 (名) 【建築物構上の用語】棟木の頂に生ずるもの。

ちゃうせき 一町石 (名) 地方税の一。【町村費の町長に賦課するもの】

ちゃうせき 一醸成 (名) 酒などをかもしつくること。醸造。

ちゃうせき 一長米 (名) 【米穀】長粒の米。

ちゃうせきせん 一長生銭 (名) しだいに長く流通する銭。

ちゃうせきせん 一町生地 (名) 【町村制】町村及び町の区域。

ちゃうせきせん 一長生銭 (名) 【貨幣】長生の銭。

ちゃうせきばう (名) ちやうさいばうの訛り。

ちゃうせきばう 一長嘯 (名) 長くうそぶくこと。

ちゃうせき 一長席 (名) 【建築】長尺の畳。

ちゃうせき 一定席 (名) 【建築】長尺の畳。

ちゃうせき 一長石 (名) 【地質】正長石の別名。

ちゃうせき 一長石 (名) 【鉱物】長石。

ちゃうせき 一長石 (名) 【鉱物】長石。

ちゃうせき 一長石 (名) 【鉱物】長石

は容赦なく、其の後全身倦怠・食慾缺乏・頭痛・不眠等の症例なく、又此れ等の症例なく、敗血の原因を除去せば、病勢逆らば身體衰弱、精神錯亂となり、時勢遷流を經ずるに至る。

ちゃうえき（長役）同じ **ちゃうやく**（長役）

ちゃうおう（長王）同じ **ちゃうわう**（長王）

ちゃうおん（長音）同じ **ちゃうおん**（長音）

ちゃうか（長歌）（名）和歌の一種。五七調の句を長く續けて詠むもの。

ちゃうかい（長回）（名）（演劇）一場面が長く續くこと。

ちゃうかく（長角）（名）（動）

ちゃうがく（長岳）（名）（地）

ちゃうがく（長額）（名）（動）

ちゃうがく（長顎）（名）（動）

ちゃうがく（長鰐）（名）（動）

ちゃうかん（長官）（名）官公署又は其の部局の事務の總理者。（官）官制總督府地方官の一。臺灣總督の指揮を受け其の管轄區域内に於て臺灣總督の職務を分掌し、且つ法律・命令を執行し、臺灣總督の指揮を受けて其の行政事務を管理する職任官。交通總督府庶務地方官制

ちゃうかん（長閑）（名）（形動）物靜かなこと。のどかなこと。

ちゃうかん（長閑）（名）（形動）物靜かなこと。のどかなこと。

ちゃうき（長期）（名）長い期間。

ちゃうき（長期）（名）長い期間。

ちゃうき（長期）（名）長い期間

やうにん町人ニ同じ。

ちゃうねん　定直段　(名)　ていかた(定価)に同じ。

ちゃうねん　一長年　(副)　ながき年月。永年。ながねん。長生。長寿。長命。長齢。菅子「夢ト現トノ境ニ求ル事ハ、玉篇以通宝契玄感所長年否神仙ニ(ヨ)ル歟の年。太平記「我れ少年の昔は尊を学んで、長年の今朝は老ひ年に逢へり」同ちょうねんなり。

ちゃうねんたいはう　一長年大賓　(名)　ちゃうねんの大賓。

ちゃうねんたいはうせん　一長年大賓銭　(名)　元明天皇の発鋳元年九月より文徳天皇の天安二年までに鋳造した銅銭。一面に長年大賓の文字あり。径二分強重量五分強と径三分弱重量四分と径七分弱重量九分五厘の二種あり。一般に前者を小平銭、後者を大平銭と称す。

ちゃうのうくわい　一町農会　(名)　町の農業に関し、町の区域により其の区域内において耕地改良又は原野を所有する開墾地及び公共団体を除く)及び農業を営む者を以て組織するもの。農会法第三条市町村農会。

ちゃうのこと　仗議　(名)　陣の儀の評定。

ちゃうのこばら　廳御坊　(名)　京都御室の内門跡に付属する寺。伊勢国橋本道並宮真坂等に出張所あり。

ちゃうのざ　仗座　(名)　ぢんのざ(陣座)に同じ。

ちゃうのしごと　(名)　ぢんのざ(陣座)に同じ。

ちゃうのつげぐち　長字鍵　(名)　教所の名。つげぐちを参照。

ちゃうのや　廳屋　(名)　神社にて神官の執事を職し、又、事務を執る所。主家又貴人又武勲貴族下大臣例「都」外宮子良館舎紀「人来案内と申し候ハ、御宿ニ御着有候」後花院宸記「是此事務を取り執る所、山槐記「是此事務を取り執る所(無殊且廳納也)」同「今日廳屋(施入因幡守)」

ちゃうのをだ　町尾　(名)　姓の一種。

ちゃうばつ　又一杖罰　(名)　罰として鞭打つこと。笞刑。

ちゃうばつ　一定法　(名)　定まりたるのり。きまりたるかた。雅武天目抽「定法の如く、御前に参り」

ちゃうばつ　一丁半　(名)　二の数と三の数と。偶数と奇数と。半丁。

ちゃうはん　一丁半　(名)　二の数と三の数と。偶数と奇数と。半丁。

ちゃうばん　一町番　(名)　町内の番人。

ちゃうばんしょ　町場　(名)　町内の番人の詰所。

ちゃうばんしょ　町場　(名)　町内の番人の詰所。

ちゃうばんしょ　帳場　(名)　商店・工場などにて、帳簿又は勘定などをするために特に設けた所。会計場。

ちゃうばんしょ　帳場　(名)　商店・工場などにて、帳簿又は勘定などをするために特に設けた所。会計場。

ちゃうばんしょ　停廠　(名)　やむること。行はれざること。ていしょ。平家「加賀の國に庄氏の領場の間其の数を知らず。有徳院殿御実紀「勘定奉行の内より大番を勤らひ勘定の職掌を打ち分け、御帳場を停廃し、代官支配の制を確定し」

ちゃうばつ　一杖罰　(名)　かなしげに泣むること。かなしげに見やること。助休「(閑吟集)忍ぶ子連れ風俄雪花降る籬哉　附「(慶安御触書)三月盛、紫蘇花落る籬哉　附

ちゃうばつ　一杖罰　(名)　(ちゃうばつ)に同じ。

ちゃうばつけい　一長方形　(名)　【数】

ちゃうばんしょ　帳場　(名)　帳場に同じ。

ちゃうばんしょがかり　帳場係　(名)　帳場に詰めて帳簿の記入を担当する役。又其の人

ちゃうあみ　店売　定見世　(名)　一定の場所で小売りをする店。→見世売り

ちゃうえき　定役　(名)　一定した見取米賃銭などへ。地方要集録定めて、右之分ニ開入り候ハば作毛ひたち可申候ニ付、御代官或ハ地頭立相願ひ、定見取ニ仕候ハば、後年上納申す事ニ候ハば、勘所取り立て申し候ニ付、御免之節、場所吟味いたし、物入之程を考へ、見取米定むる事也。

ちゃうおん　定恩　(名)　仏語。前世の因縁によりて定められたる名数。人間の寿命は定まりあり、たとへ百歳と雖も、此の域は五十六歳なり」御文章「夫れ人間の運命をかんがふれば、その時の定命は五十六歳なり」

ちゃうおんろん　定恩論　(名)　(哲)　しりつぶんしゃう意恋の修論に同じ。

ちゃうかん　町民　(名)　町の住民。

ちゃうかん　町勘　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定規　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定期　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定紀　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定木　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定基　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定喜　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定貴　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定義　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定儀　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定機　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定器　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定輝　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定騎　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定鬼　(名)　(史)　江戸幕府の職名。勘定奉行の支配に属し、町奉行所の諸事を監督した役人。

ちゃうき　定亀

ちゃうれい 一代藝（名）あさざの枝。
杜仲茸、枕簟復盗盗、兎価公倘買（漢）

ちゃうれん 一定蓮（名）じゃうれん（定蓮）に同じ。

ちゃうろう 長老（名）ちゃうらう（長老）の誤り。

ちゃうろく 一丈六（名）一丈六尺。
ちゃうろくのほとけ 丈六佛 一丈六尺の佛像。高さあくらの坐像に作る。飲明紀「光月百廣盛丈六佛像銀銅各四軀、繍像観世音菩薩各丈六像幷造大小観音菩薩各丈六像」

ちゃうろくのほとけ 丈六佛 丈六の佛の如くあがめる意。
親比部尼願居（崩居・丈六佛）

ちゃうろくのみや 丈六宮（名）丈六の佛の如くあがめる意。
親比部尼願居（崩居・丈六佛）

ちゃうわん （名）白き陶器の碗となるべき粘土。
大和物語「茶をうつみてつくりたるものといふ物にして、ちゃわんに成りて」

ちゃうん 腸胃（名）腸と胃。
はらわたとふくろ。史記「腸胃断絶」

ちゃえん 茶園（名）茶の木を植ゑた畑。
貞永式条「諸国茶園、栽培之輩、五代史「茶園之利」

ちゃおけ 茶桶（名）茶を入れる桶。

ちゃおち 茶落（名）茶の葉の落ちたもの。

ちゃおとし 茶落（名）ちゃがら（茶殻）に同じ。

ちゃおり 茶掛（名）茶席に掛くる書画幅。多くは禅僧に形小なり。

ちゃおろし 茶籃（名）茶器を入るる籃。

ちゃかす 茶滓（名）ちゃがら（茶殻）に同じ。

ちゃがかり 茶代（名）ちゃだい（茶代）に同じ。

ちゃがき 茶柿（名）茶色の柿。

ちゃがく 茶学（名）茶の湯の技術。
茶道。能阿弥相伝の茶技法を室町家中興より始まり、「書院茶の頃となりては、いよいよ流行なりてゆき」

ちゃがし 茶菓子（名）茶の湯に用ふる菓子。

ちゃがま 茶釜（名）茶の湯の用具。
ちゃがまのつけどころ 茶釜の置きどころ。
ちゃがまをかける 茶釜を炉に掛ける。

ちゃがゆ 茶粥（名）茶の湯の一つ。
茶の湯の作法の一つ。

ちゃがら 茶殻（名）茶を煮出した後の葉。

ちゃがらとぢ 茶殻綴（名）船の破損箇所に茶殻を詰めて綴ぢ合せること。

ちゃがらのこ 茶殻の粉（名）茶殻を粉にしたもの。

ちゃがわら 茶瓦（名）茶の湯の用具。

ちゃかん 茶巾（名）茶の湯に茶碗を拭ふ布。
ちゃかんにかける 茶巾に掛ける。

ちゃき 茶器（名）茶の湯の用具。
ちゃきのつけどころ 茶器の置きどころ。

ちゃきり 茶切（名）茶の湯の作法の一つ。
「仁清が茶つぼのきりかた」

ちゃく 茶具（名）茶器。茶道具。
北山抄「供御薬幷茶具」

ちゃく 着（名）ちゃくし（着衣）の略。
ちゃくがえ 着換（名）衣服を着換ふること。
ちゃくがん 着眼（名）眼をつくること。
ちゃくし 着衣（名）衣服を着用すること。
ちゃくしゅ 着手（名）事に取掛ること。
ちゃくしょ 着所（名）着衣の仕方。
ちゃくしょく 着色（名）色をつくること。
ちゃくしん 着心（名）心をとどめること。
ちゃくしんぶかい 着心深い（形）心をとどめること深し。
ちゃくせき 着席（名）席につくこと。
ちゃくそう 着想（名）考へをつくること。
ちゃくそく 着足（名）足を踏みつくること。
ちゃくだい 着帯（名）帯を締めること。
ちゃくちゃく 着々（副）順序よく事の運ぶさま。
ちゃくてん 着点（名）目的地に着くこと。
ちゃくとう 着到（名）到着。
ちゃくにん 着任（名）任地に着くこと。
ちゃくばらい 着払（名）荷物の運賃を受取人に払はせること。
ちゃくふく 着服（名）衣服を着ること。
ちゃくもく 着目（名）目をつけること。
ちゃくよう 着用（名）衣服を着ること。
ちゃくりく 着陸（名）陸地に着くこと。

ちゃくい 茶椀（名）茶碗。
ちゃくいのいけばな 茶椀の生花（名）茶碗に花を挿すこと。

ちゃくいろ 茶色（名）茶の如き色。
ちゃくいろがかる 茶色がかる（自動）茶の如き色となる。

ちゃくえのころ 茶絵の頃（名）【茶】きんえのころ（茶絵の頃）に同じ。

ちゃくけ 茶家（名）ちゃうけ（茶道）の誤り。

ちゃくけ 茶気（名）茶の湯の風味。

ちゃくこ 茶巾（名）ちゃきん（茶巾）に同じ。

ちゃくこ 茶庫（名）茶の湯の用具を入るる庫。

ちゃくさい 茶菜（名）茶の湯の料理。
ちゃくさいせき 茶菜席（名）茶の湯の料理を出す席。

ちゃくし 茶匙（名）茶の湯の用具。

ちゃくしゅ 茶酒（名）茶の湯の酒。

ちゃくしゅ 着手（名）事に取掛ること。
ちゃくしゅきん 着手金（名）事に取掛る時に支払ふ金。

ちゃくしゅつ 着出（名）衣服の出生。【茶】茶の湯の出生。
ちゃくしゅつし 着出子（名）【茶】茶の湯の出生の家に出生するもの。民法「着出子若しくは其の子又は其の直系卑属が家督相続の開始前に死亡し又は相続人の廃除に因りて相続権を失ひたるときは其の着出子の子又は其の直系卑属之に代りて相続人となる」
ちゃくしゅつし 着出子（名）【着出子若しくは其の子又は其の直系卑属が家督相続の開始前に死亡し又は相続人の廃除に因りて相続権を失ひたるときは其の着出子の子又は其の直系卑属の推定家督相続人となること。

ちゃくしゅみすてのはん 着手未遂犯（名）【法】未遂犯の一。犯罪の実行に着手したれども未だ其の実行を終はらざるもの。

ちゃくしゅ 着所（名）着衣の仕方。

ちゃくしょく 着色（名）色をつくること。
ちゃくしょくりょう 着色料（名）色をつくる料。

ちゃくしん 着心（名）心をとどめること。
ちゃくしんぶかい 着心深い（形）心をとどめること深し。

ちゃくせき 着席（名）席につくこと。

ちゃくそう 着想（名）考へをつくること。

ちゃくそく 着足（名）足を踏みつくること。

ちゃくだい 着帯（名）帯を締めること。

ちゃくちゃく 着々（副）順序よく事の運ぶさま。

ちゃくてん 着点（名）目的地に着くこと。

ちゃくとう 着到（名）到着。

ちゃくにん 着任（名）任地に着くこと。

ちゃくばらい 着払（名）荷物の運賃を受取人に払はせること。

ちゃくふく 着服（名）衣服を着ること。

ちゃくもく 着目（名）目をつけること。

ちゃくよう 着用（名）衣服を着ること。

ちゃくりく 着陸（名）陸地に着くこと。

ちゃくりゅう 着流（名）羽織袴を着ずに着物のみを着ること。

ちゃくれき 着暦（名）着衣の年数。

ちゃくわん 着眼（名）ちゃくがん（着眼）に同じ。

ちゃくわん 着岸（名）船が岸に着くこと。
太平記「記一艘船着岸」

ちゃくわん 着眼（名）眼をつくること。
ちゃくわんてん 着眼点（名）着眼の箇所。

ちゃくわんてん 着眼点（名）ちゃくがんてん（着眼点）に同じ。

ちゃくわんのいし 着眼の医師（名）【法】ちゃくがんのいし（着眼の医師）に同じ。

ちゃくわんのいし 着眼の医師（名）【法】死体検案書作成の為に死体を検査する医師。

ちゃくわんのいし 着眼の医師（名）【法】ちゃくがんのいし（着眼の医師）に同じ

其の旨を稟聞に届け出ることを。又、其の届書。著給申告。

ちゃくせん‐しんごくしょ　著船申告　(名)　著船申告(ちゃくせんしんこくしょ)に同じ。

ちゃくせん‐しんこく　著船申告　(名)　著船(ちゃくせん)の際、船舶の名称・船長の姓名・積荷の種類・数量・出港地などを税関に届け出ること。また、その届書。

ちゃくそう　著装　(名)　(古)　着物を着ること。また、その着物。

ちゃくそく　著足　(名)　(古)　(「ちゃくそく」とも)　足袋。

ちゃくだい　著帯　(名)　(古)　(「ちゃくたい」とも)　妊娠五か月目の戌の日に、岩田帯を締めること。また、その帯。

ちゃくだい‐しきさん　著帯式　(名)　著帯(ちゃくたい)の儀式。

ちゃくだい‐の‐まつりごと　著叙政　古代、陰暦五月と十月に行われた公事。四人に選ばれた者を親房行と呼ばれ、四人に選ばれた者を親房行と呼ばれ、四人に選ばれた者を親房行と呼ばれ、

ちゃしじ　茶人（名）㊀茶道を好む人。茶道に明かるい人。癖州唐志（ママ）「―の妻（物数寄を能く解し風流に心を用ゐる婦人）」㊁転じて、物数寄を能く解し風流に心を用ゐる婦人。「―好みの人」㊂ものずき。酔斎。

ちゃすりばち　茶擂鉢（名）唐焼茶臼の一種。茶を挽き粉末にするに用ゐる擂り鉢。

ちゃせっちゅう　茶懐籠（名）茶室を暖く保するに用ふる浅く大なる瀬戸。

ちゃせき　茶席（名）ちゃざしき茶座敷に同じ。

ちゃせせり　茶筅掛（名）ちゃがけ茶筅掛に同じ。

ちゃせん　茶筅（名）茶筌とも書く。茶を点てる時に用ふる竹製の泡を立つるに用ふる茶筅。三寸許りの竹筒の分上より細くさいて穂に作り其の末端を少しく内に向けたるもの。底端往来「茶筌茶巾」の項参照。

ちゃせんかけ　茶筅掛（名）茶筅の穂先を保護する為に用ふる筒形の袋。

ちゃせんがみ　茶筅髪（名）男の髪の結ひ方。髪の元を茶筅の如く小さく束ねて頭の上に立てる髪形。

ちゃせんぐさ　茶筅草（名）「帖ばかみの異名。

ちゃせんし　茶筅師（名）茶筅を作る業とする人。五人女「高山の茶筅師」

ちゃせんしんじゅ　茶仙真珠（名）【植】本種茶花の変種。多年生草本。根茎は細くして地面を這ひ、之より葉を出だす。葉は毛茸多く、柔軟な感じで先端まで鋸歯あり。葉身は長楕円形又は倒卵状楕円形で、長さ約一寸、幅約半寸。葉柄又は殆ど無し。花は淡紫色で、葉腋に生ず。我が国の山野岩石の間に自生す。

ちゃせんそでがき　茶筅袖垣（名）袖垣の一種。竹を筅竪形に組んで、其の上を竪に編んだもの。

ちゃせんだて　茶筅立（名）茶道の点前の一種。四角な茶碗を打ち込める板に、千家流茶筅を立て、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、百一、百二、百三、百四、百五、百六、百七、百八、百九、百十、百十一、百十二、百十三、百十四、百十五、百十六、百十七、百十八、百十九、百二十、百二十一、百二十二、百二十三、百二十四、百二十五、百二十六、百二十七、百二十八、百二十九、百三十、百三十一、百三十二、百三十三、百三十四、百三十五、百三十六、百三十七、百三十八、百三十九、百四十、百四十一、百四十二、百四十三、百四十四、百四十五、百四十六、百四十七、百四十八、百四十九、百五十、百五十一、百五十二、百五十三、百五十四、百五十五、百五十六、百五十七、百五十八、百五十九、百六十、百六十一、百六十二、百六十三、百六十四、百六十五、百六十六、百六十七、百六十八、百六十九、百七十、百七十一、百七十二、百七十三、百七十四、百七十五、百七十六、百七十七、百七十八、百七十九、百八十、百八十一、百八十二、百八十三、百八十四、百八十五、百八十六、百八十七、百八十八、百八十九、百九十、百九十一、百九十二、百九十三、百九十四、百九十五、百九十六、百九十七、百九十八、百九十九、二百、二百一、二百二、二百三、二百四、二百五、二百六、二百七、二百八、二百九、二百十、二百十一、二百十二、二百十三、二百十四、二百十五、二百十六、二百十七、二百十八、二百十九、二百二十、二百二十一、二百二十二、二百二十三、二百二十四、二百二十五、二百二十六、二百二十七、二百二十八、二百二十九、二百三十、二百三十一、二百三十二、二百三十三、二百三十四、二百三十五、二百三十六、二百三十七、二百三十八、二百三十九、二百四十、二百四十一、二百四十二、二百四十三、二百四十四、二百四十五、二百四十六、二百四十七、二百四十八、二百四十九、二百五十、二百五十一、二百五十二、二百五十三、二百五十四、二百五十五、二百五十六、二百五十七、二百五十八、二百五十九、二百六十、二百六十一、二百六十二、二百六十三、二百六十四、二百六十五、二百六十六、二百六十七、二百六十八、二百六十九、二百七十、二百七十一、二百七十二、二百七十三、二百七十四、二百七十五、二百七十六、二百七十七、二百七十八、二百七十九、二百八十、二百八十一、二百八十二、二百八十三、二百八十四、二百八十五、二百八十六、二百八十七、二百八十八、二百八十九、二百九十、二百九十一、二百九十二、二百九十三、二百九十四、二百九十五、二百九十六、二百九十七、二百九十八、二百九十九、三百、三百一、三百二、三百三、三百四、三百五、三百六、三百七、三百八、三百九、三百十、三百十一、三百十二、三百十三、三百十四、三百十五、三百十六、三百十七、三百十八、三百十九、三百二十、三百二十一、三百二十二、三百二十三、三百二十四、三百二十五、三百二十六、三百二十七、三百二十八、三百二十九、三百三十、三百三十一、三百三十二、三百三十三、三百三十四、三百三十五、三百三十六、三百三十七、三百三十八、三百三十九、三百四十、三百四十一、三百四十二、三百四十三、三百四十四、三百四十五、三百四十六、三百四十七、三百四十八、三百四十九、三百五十、三百五十一、三百五十二、三百五十三、三百五十四、三百五十五、三百五十六、三百五十七、三百五十八、三百五十九、三百六十、三百六十一、三百六十二、三百六十三、三百六十四、三百六十五、三百六十六、三百六十七、三百六十八、三百六十九、三百七十、三百七十一、三百七十二、三百七十三、三百七十四、三百七十五、三百七十六、三百七十七、三百七十八、三百七十九、三百八十、三百八十一、三百八十二、三百八十三、三百八十四、三百八十五、三百八十六、三百八十七、三百八十八、三百八十九、三百九十、三百九十一、三百九十二、三百九十三、三百九十四、三百九十五、三百九十六、三百九十七、三百九十八、三百九十九、四百、四百一、四百二、四百三、四百四、四百五、四百六、四百七、四百八、四百九、四百十、四百十一、四百十二、四百十三、四百十四、四百十五、四百十六、四百十七、四百十八、四百十九、四百二十、四百二十一、四百二十二、四百二十三、四百二十四、四百二十五、四百二十六、四百二十七、四百二十八、四百二十九、四百三十、四百三十一、四百三十二、四百三十三、四百三十四、四百三十五、四百三十六、四百三十七、四百三十八、四百三十九、四百四十、四百四十一、四百四十二、四百四十三、四百四十四、四百四十五、四百四十六、四百四十七、四百四十八、四百四十九、四百五十、四百五十一、四百五十二、四百五十三、四百五十四、四百五十五、四百五十六、四百五十七、四百五十八、四百五十九、四百六十、四百六十一、四百六十二、四百六十三、四百六十四、四百六十五、四百六十六、四百六十七、四百六十八、四百六十九、四百七十、四百七十一、四百七十二、四百七十三、四百七十四、四百七十五、四百七十六、四百七十七、四百七十八、四百七十九、四百八十、四百八十一、四百八十二、四百八十三、四百八十四、四百八十五、四百八十六、四百八十七、四百八十八、四百八十九、四百九十、四百九十一、四百九十二、四百九十三、四百九十四、四百九十五、四百九十六、四百九十七、四百九十八、四百九十九、五百、五百一、五百二、五百三、五百四、五百五、五百六、五百七、五百八、五百九、五百十、五百十一、五百十二、五百十三、五百十四、五百十五、五百十六、五百十七、五百十八、五百十九、五百二十、五百二十一、五百二十二、五百二十三、五百二十四、五百二十五、五百二十六、五百二十七、五百二十八、五百二十九、五百三十、五百三十一、五百三十二、五百三十三、五百三十四、五百三十五、五百三十六、五百三十七、五百三十八、五百三十九、五百四十、五百四十一、五百四十二、五百四十三、五百四十四、五百四十五、五百四十六、五百四十七、五百四十八、五百四十九、五百五十、五百五十一、五百五十二、五百五十三、五百五十四、五百五十五、五百五十六、五百五十七、五百五十八、五百五十九、五百六十、五百六十一、五百六十二、五百六十三、五百六十四、五百六十五、五百六十六、五百六十七、五百六十八、五百六十九、五百七十、五百七十一、五百七十二、五百七十三、五百七十四、五百七十五、五百七十六、五百七十七、五百七十八、五百七十九、五百八十、五百八十一、五百八十二、五百八十三、五百八十四、五百八十五、五百八十六、五百八十七、五百八十八、五百八十九、五百九十、五百九十一、五百九十二、五百九十三、五百九十四、五百九十五、五百九十六、五百九十七、五百九十八、五百九十九、六百、六百一、六百二、六百三、六百四、六百五、六百六、六百七、六百八、六百九、六百十、六百十一、六百十二、六百十三、六百十四、六百十五、六百十六、六百十七、六百十八、六百十九、六百二十、六百二十一、六百二十二、六百二十三、六百二十四、六百二十五、六百二十六、六百二十七、六百二十八、六百二十九、六百三十、六百三十一、六百三十二、六百三十三、六百三十四、六百三十五、六百三十六、六百三十七、六百三十八、六百三十九、六百四十、六百四十一、六百四十二、六百四十三、六百四十四、六百四十五、六百四十六、六百四十七、六百四十八、六百四十九、六百五十、六百五十一、六百五十二、六百五十三、六百五十四、六百五十五、六百五十六、六百五十七、六百五十八、六百五十九、六百六十、六百六十一、六百六十二、六百六十三、六百六十四、六百六十五、六百六十六、六百六十七、六百六十八、六百六十九、六百七十、六百七十一、六百七十二、六百七十三、六百七十四、六百七十五、六百七十六、六百七十七、六百七十八、六百七十九、六百八十、六百八十一、六百八十二、六百八十三、六百八十四、六百八十五、六百八十六、六百八十七、六百八十八、六百八十九、六百九十、六百九十一、六百九十二、六百九十三、六百九十四、六百九十五、六百九十六、六百九十七、六百九十八、六百九十九、七百、七百一、七百二、七百三、七百四、七百五、七百六、七百七、七百八、七百九、七百十、七百十一、七百十二、七百十三、七百十四、七百十五、七百十六、七百十七、七百十八、七百十九、七百二十、七百二十一、七百二十二、七百二十三、七百二十四、七百二十五、七百二十六、七百二十七、七百二十八、七百二十九、七百三十、七百三十一、七百三十二、七百三十三、七百三十四、七百三十五、七百三十六、七百三十七、七百三十八、七百三十九、七百四十、七百四十一、七百四十二、七百四十三、七百四十四、七百四十五、七百四十六、七百四十七、七百四十八、七百四十九、七百五十、七百五十一、七百五十二、七百五十三、七百五十四、七百五十五、七百五十六、七百五十七、七百五十八、七百五十九、七百六十、七百六十一、七百六十二、七百六十三、七百六十四、七百六十五、七百六十六、七百六十七、七百六十八、七百六十九、七百七十、七百七十一、七百七十二、七百七十三、七百七十四、七百七十五、七百七十六、七百七十七、七百七十八、七百七十九、七百八十、七百八十一、七百八十二、七百八十三、七百八十四、七百八十五、七百八十六、七百八十七、七百八十八、七百八十九、七百九十、七百九十一、七百九十二、七百九十三、七百九十四、七百九十五、七百九十六、七百九十七、七百九十八、七百九十九、八百、八百一、八百二、八百三、八百四、八百五、八百六、八百七、八百八、八百九、八百十、八百十一、八百十二、八百十三、八百十四、八百十五、八百十六、八百十七、八百十八、八百十九、八百二十、八百二十一、八百二十二、八百二十三、八百二十四、八百二十五、八百二十六、八百二十七、八百二十八、八百二十九、八百三十、八百三十一、八百三十二、八百三十三、八百三十四、八百三十五、八百三十六、八百三十七、八百三十八、八百三十九、八百四十、八百四十一、八百四十二、八百四十三、八百四十四、八百四十五、八百四十六、八百四十七、八百四十八、八百四十九、八百五十、八百五十一、八百五十二、八百五十三、八百五十四、八百五十五、八百五十六、八百五十七、八百五十八、八百五十九、八百六十、八百六十一、八百六十二、八百六十三、八百六十四、八百六十五、八百六十六、八百六十七、八百六十八、八百六十九、八百七十、八百七十一、八百七十二、八百七十三、八百七十四、八百七十五、八百七十六、八百七十七、八百七十八、八百七十九、八百八十、八百八十一、八百八十二、八百八十三、八百八十四、八百八十五、八百八十六、八百八十七、八百八十八、八百八十九、八百九十、八百九十一、八百九十二、八百九十三、八百九十四、八百九十五、八百九十六、八百九十七、八百九十八、八百九十九、九百、九百一、九百二、九百三、九百四、九百五、九百六、九百七、九百八、九百九、九百十、九百十一、九百十二、九百十三、九百十四、九百十五、九百十六、九百十七、九百十八、九百十九、九百二十、九百二十一、九百二十二、九百二十三、九百二十四、九百二十五、九百二十六、九百二十七、九百二十八、九百二十九、九百三十、九百三十一、九百三十二、九百三十三、九百三十四、九百三十五、九百三十六、九百三十七、九百三十八、九百三十九、九百四十、九百四十一、九百四十二、九百四十三、九百四十四、九百四十五、九百四十六、九百四十七、九百四十八、九百四十九、九百五十、九百五十一、九百五十二、九百五十三、九百五十四、九百五十五、九百五十六、九百五十七、九百五十八、九百五十九、九百六十、九百六十一、九百六十二、九百六十三、九百六十四、九百六十五、九百六十六、九百六十七、九百六十八、九百六十九、九百七十、九百七十一、九百七十二、九百七十三、九百七十四、九百七十五、九百七十六、九百七十七、九百七十八、九百七十九、九百八十、九百八十一、九百八十二、九百八十三、九百八十四、九百八十五、九百八十六、九百八十七、九百八十八、九百八十九、九百九十、九百九十一、九百九十二、九百九十三、九百九十四、九百九十五、九百九十六、九百九十七、九百九十八、九百九十九、千、千一、千二、千三、千四、千五、千六、千七、千八、千九、千十、千十一、千十二、千十三、千十四、千十五、千十六、千十七、千十八、千十九、千二十、千二十一、千二十二、千二十三、千二十四、千二十五、千二十六、千二十七、千二十八、千二十九、千三十、千三十一、千三十二、千三十三、千三十四、千三十五、千三十六、千三十七、千三十八、千三十九、千四十、千四十一、千四十二、千四十三、千四十四、千四十五、千四十六、千四十七、千四十八、千四十九、千五十、千五十一、千五十二、千五十三、千五十四、千五十五、千五十六、千五十七、千五十八、千五十九、千六十、千六十一、千六十二、千六十三、千六十四、千六十五、千六十六、千六十七、千六十八、千六十九、千七十、千七十一、千七十二、千七十三、千七十四、千七十五、千七十六、千七十七、千七十八、千七十九、千八十、千八十一、千八十二、千八十三、千八十四、千八十五、千八十六、千八十七、千八十八、千八十九、千九十、千九十一、千九十二、千九十三、千九十四、千九十五、千九十六、千九十七、千九十八、千九十九、二千、二千一、二千二、二千三、二千四、二千五、二千六、二千七、二千八、二千九、三千、三千一、三千二、三千三、三千四、三千五、三千六、三千七、三千八、三千九、四千、四千一、四千二、四千三、四千四、四千五、四千六、四千七、四千八、四千九、五千、五千一、五千二、五千三、五千四、五千五、五千六、五千七、五千八、五千九、六千、六千一、六千二、六千三、六千四、六千五、六千六、六千七、六千八、六千九、七千、七千一、七千二、七千三、七千四、七千五、七千六、七千七、七千八、七千九、八千、八千一、八千二、八千三、八千四、八千五、八千六、八千七、八千八、八千九、九千、九千一、九千二、九千三、九千四、九千五、九千六、九千七、九千八、九千九、一万、一万一、一万二、一万三、一万四、一万五、一万六、一万七、一万八、一万九、二万、二万一、二万二、二万三、二万四、二万五、二万六、二万七、二万八、二万九、三万、三万一、三万二、三万三、三万四、三万五、三万六、三万七、三万八、三万九、四万、四万一、四万二、四万三、四万四、四万五、四万六、四万七、四万八、四万九、五万、五万一、五万二、五万三、五万四、五万五、五万六、五万七、五万八、五万九、六万、六万一、六万二、六万三、六万四、六万五、六万六、六万七、六万八、六万九、七万、七万一、七万二、七万三、七万四、七万五、七万六、七万七、七万八、七万九、八万、八万一、八万二、八万三、八万四、八万五、八万六、八万七、八万八、八万九、九万、九万一、九万二、九万三、九万四、九万五、九万六、九万七、九万八、九万九、十万、十万一、十万二、十万三、十万四、十万五、十万六、十万七、十万八、十万九、二十万、二十万一、二十万二、二十万三、二十万四、二十万五、二十万六、二十万七、二十万八、二十万九、三十万、三十万一、三十万二、三十万三、三十万四、三十万五、三十万六、三十万七、三十万八、三十万九、四十万、四十万一、四十万二、四十万三、四十万四、四十万五、四十万六、四十万七、四十万八、四十万九、五十万、五十万一、五十万二、五十万三、五十万四、五十万五、五十万六、五十万七、五十万八、五十万九、六十万、六十万一、六十万二、六十万三、六十万四、六十万五、六十万六、六十万七、六十万八、六十万九、七十万、七十万一、七十万二、七十万三、七十万四、七十万五、七十万六、七十万七、七十万八、七十万九、八十万、八十万一、八十万二、八十万三、八十万四、八十万五、八十万六、八十万七、八十万八、八十万九、九十万、九十万一、九十万二、九十万三、九十万四、九十万五、九十万六、九十万七、九十万八、九十万九、百万、百万一、百万二、百万三、百万四、百万五、百万六、百万七、百万八、百万九、二百万、二百万一、二百万二、二百万三、二百万四、二百万五、二百万六、二百万七、二百万八、二百万九、三百万、三百万一、三百万二、三百万三、三百万四、三百万五、三百万六、三百万七、三百万八、三百万九、四百万、四百万一、四百万二、四百万三、四百万四、四百万五、四百万六、四百万七、四百万八、四百万九、五百万、五百万一、五百万二、五百万三、五百万四、五百万五、五百万六、五百万七、五百万八、五百万九、六百万、六百万一、六百万二、六百万三、六百万四、六百万五、六百万六、六百万七、六百万八、六百万九、七百万、七百万一、七百万二、七百万三、七百万四、七百万五、七百万六、七百万七、七百万八、七百万九、八百万、八百万一、八百万二、八百万三、八百万四、八百万五、八百万六、八百万七、八百万八、八百万九、九百万、九百万一、九百万二、九百万三、九百万四、九百万五、九百万六、九百万七、九百万八、九百万九、千万、千万一、千万二、千万三、千万四、千万五、千万六、千万七、千万八、千万九、二千万、二千万一、二千万二、二千万三、二千万四、二千万五、二千万六、二千万七、二千万八、二千万九、三千万、三千万一、三千万二、三千万三、三千万四、三千万五、三千万六、三千万七、三千万八、三千万九、四千万、四千万一、四千万二、四千万三、四千万四、四千万五、四千万六、四千万七、四千万八、四千万九、五千万、五千万一、五千万二、五千万三、五千万四、五千万五、五千万六、五千万七、五千万八、五千万九、六千万、六千万一、六千万二、六千万三、六千万四、六千万五、六千万六、六千万七、六千万八、六千万九、七千万、七千万一、七千万二、七千万三、七千万四、七千万五、七千万六、七千万七、七千万八、七千万九、八千万、八千万一、八千万二、八千万三、八千万四、八千万五、八千万六、八千万七、八千万八、八千万九、九千万、九千万一、九千万二、九千万三、九千万四、九千万五、九千万六、九千万七、九千万八、九千万九、一億、一億一、一億二、一億三、一億四、一億五、一億六、一億七、一億八、一億九、二億、二億一、二億二、二億三、二億四、二億五、二億六、二億七、二億八、二億九、三億、三億一、三億二、三億三、三億四、三億五、三億六、三億七、三億八、三億九、四億、四億一、四億二、四億三、四億四、四億五、四億六、四億七、四億八、四億九、五億、五億一、五億二、五億三、五億四、五億五、五億六、五億七、五億八、五億九、六億、六億一、六億二、六億三、六億四、六億五、六億七、六億八、六億九、七億、七億一、七億二、七億三、七億四、七億五、七億六、七億七、七億八、七億九、八億、八億一、八億二、八億三、八億四、八億五、八億六、八億七、八億八、八億九、九億、九億一、九億二、九億三、九億四、九億五、九億六、九億七、九億八、九億九、十億、十億一、十億二、十億三、十億四、十億五、十億六、十億七、十億八、十億九、二十億、二十億一、二十億二、二十億三、二十億四、二十億五、二十億六、二十億七、二十億八、二十億九、三十億、三十億一、三十億二、三十億三、三十億四、三十億五、三十億六、三十億七、三十億八、三十億九、四十億、四十億一、四十億二、四十億三、四十億四、四十億五、四十億六、四十億七、四十億八、四十億九、五十億、五十億一、五十億二、五十億三、五十億四、五十億五、五十億六、五十億七、五十億八、五十億九、六十億、六十億一、六十億二、六十億三、六十億四、六十億五、六十億六、六十億七、六十億八、六十億九、七十億、七十億一、七十億二、七十億三、七十億四、七十億五、七十億六、七十億七、七十億八、七十億九、八十億、八十億一、八十億二、八十億三、八十億四、八十億五、八十億六、八十億七、八十億八、八十億九、九十億、九十億一、九十億二、九十億三、九十億四、九十億五、九十億六、九十億七、九十億八、九十億九、百億、百億一、百億二、百億三、百億四、百億五、百億六、百億七、百億八、百億九、二百億、二百億一、二百億二、二百億三、二百億四、二百億五、二百億六、二百億七、二百億八、二百億九、三百億、三百億一、三百億二、三百億三、三百億四、三百億五、三百億六、三百億七、三百億八、三百億九、四百億、四百億一、四百億二、四百億三、四百億四、四百億五、四百億六、四百億七、四百億八、四百億九、五百億、五百億一、五百億二、五百億三、五百億四、五百億五、五百億六、五百億七、五百億八、五百億九、六百億、六百億一、六百億二、六百億三、六百億四、六百億五、六百億六、六百億七、六百億八、六百億九、七百億、七百億一、七百億二、七百億三、七百億四、七百億五、七百億六、七百億七、七百億八、七百億九、八百億、八百億一、八百億二、八百億三、八百億四、八百億五、八百億六、八百億七、八百億八、八百億九、九百億、九百億一、九百億二、九百億三、九百億四、九百億五、九百億六、九百億七、九百億八、九百億九、千億、千億一、千億二、千億三、千億四、千億五、千億六、千億七、千億八、千億九、二千億、二千億一、二千億二、二千億三、二千億四、二千億五、二千億六、二千億七、二千億八、二千億九、三千億、三千億一、三千億二、三千億三、三千億四、三千億五、三千億六、三千億七、三千億八、三千億九、四千億、四千億一、四千億二、四千億三、四千億四、四千億五、四千億六、四千億七、四千億八、四千億九、五千億、五千億一、五千億二、五千億三、五千億四、五千億五、五千億六、五千億七、五千億八、五千億九、六千億、六千億一、六千億二、六千億三、六千億四、六千億五、六千億六、六千億七、六千億八、六千億九、七千億、七千億一、七千億二、七千億三、七千億四、七千億五、七千億六、七千億七、七千億八、七千億九、八千億、八千億一、八千億二、八千億三、八千億四、八千億五、八千億六、八千億七、八千億八、八千億九、九千億、九千億一、九千億二、九千億三、九千億四、九千億五、九千億六、九千億七、九千億八、九千億九、一兆、一兆一、一兆二、一兆三、一兆四、一兆五、一兆六、一兆七、一兆八、一兆九、二兆、二兆一、二兆二、二兆三、二兆四、二兆五、二兆六、二兆七、二兆八、二兆九、三兆、三兆一、三兆二、三兆三、三兆四、三兆五、三兆六、三兆七、三兆八、三兆九、四兆、四兆一、四兆二、四兆三、四兆四、四兆五、四兆六、四兆七、四兆八、四兆九、五兆、五兆一、五兆二、五兆三、五兆四、五兆五、五兆六、五兆七、五兆八、五兆九、六兆、六兆一、六兆二、六兆三、六兆四、六兆五、六兆六、六兆七、六兆八、六兆九、七兆、七兆一、七兆二、七兆三、七兆四、七兆五、七兆六、七兆七、七兆八、七兆九、八兆、八兆一、八兆二、八兆三、八兆四、八兆五、八兆六、八兆七、八兆八、八兆九、九兆、九兆一、九兆二、九兆三、九兆四、九兆五、九兆六、九兆七、九兆八、九兆九、十兆、十兆一、十兆二、十兆三、十兆四、十兆五、十兆六、十兆七、十兆八、十兆九、二十兆、二十兆一、二十兆二、二十兆三、二十兆四、二十兆五、二十兆六、二十兆七、二十兆八、二十兆九、三十兆、三十兆一、三十兆二、三十兆三、三十兆四、三十兆五、三十兆六、三十兆七、三十兆八、三十兆九、四十兆、四十兆一、四十兆二、四十兆三、四十兆四、四十兆五、四十兆六、四十兆七、四十兆八、四十兆九、五十兆、五十兆一、五十兆二、五十兆三、五十兆四、五十兆五、五十兆六、五十兆七、五十兆八、五十兆九、六十兆、六十兆一、六十兆二、六十兆三、六十兆四、六十兆五、六十兆六、六十兆七、六十兆八、六十兆九、七十兆、七十兆一、七十兆二、七十兆三、七十兆四、七十兆五、七十兆六、七十兆七、七十兆八、七十兆九、八十兆、八十兆一、八十兆二、八十兆三、八十兆四、八十兆五、八十兆六、八十兆七、八十兆八、八十兆九、九十兆、九十兆一、九十兆二、九十兆三、九十兆四、九十兆五、九十兆六、九十兆七、九十兆八、九十兆九、百兆、百兆一、百兆二、百兆三、百兆四、百兆五、百兆六、百兆七、百兆八、百兆九、二百兆、二百兆一、二百兆二、二百兆三、二百兆四、二百兆五、二百兆六、二百兆七、二百兆八、二百兆九、三百兆、三百兆一、三百兆二、三百兆三、三百兆四、三百兆五、三百兆六、三百兆七、三百兆八、三百兆九、四百兆、四百兆一、四百兆二、四百兆三、四百兆四、四百兆五、四百兆六、四百兆七、四百兆八、四百兆九、五百兆、五百兆一、五百兆二、五百兆三、五百兆四、五百兆五、五百兆六、五百兆七、五百兆八、五百兆九、六百兆、六百兆一、六百兆二、六百兆三、六百兆四、六百兆五、六百兆六、六百兆七、六百兆八、六百兆九、七百兆、七百兆一、七百兆二、七百兆三、七百兆四、七百兆五、七百兆六、七百兆七、七百兆八、七百兆九、八百兆、八百兆一、八百兆二、八百兆三、八百兆四、八百兆五、八百兆六、八百兆七、八百兆八、八百兆九、九百兆、九百兆一、九百兆二、九百兆三、九百兆四、九百兆五、九百兆六、九百兆七、九百兆八、九百兆九、千兆、千兆一、千兆二、千兆三、千兆四、千兆五、千兆六、千兆七、千兆八、千兆九、二千兆、二千兆一、二千兆二、二千兆三、二千兆四、二千兆五、二千兆六、二千兆七、二千兆八、二千兆九、三千兆、三千兆一、三千兆二、三千兆三、三千兆四、三千兆五、三千兆六、三千兆七、三千兆八、三千兆九、四千兆、四千兆一、四千兆二、四千兆三、四千兆四、四千兆五、四千兆六、四千兆七、四千兆八、四千兆九、五千兆、五千兆一、五千兆二、五千兆三、五千兆四、五千兆五、五千兆六、五千兆七、五千兆八、五千兆九、六千兆、六千兆一、六千兆二、六千兆三、六千兆四、六千兆五、六千兆六、六千兆七、六千兆八、六千兆九、七千兆、七千兆一、七千兆二、七千兆三、七千兆四、七千兆五、七千兆六、七千兆七、七千兆八、七千兆九、八千兆、八千兆一、八千兆二、八千兆三、八千兆四、八千兆五、八千兆六、八千兆七、八千兆八、八千兆九、九千兆、九千兆一、九千兆二、九千兆三、九千兆四、九千兆五、九千兆六、九千兆七、九千兆八、九千兆九、一京、一京一、一京二、一京三、一京四、一京五、一京六、一京七、一京八、一京九、二京、二京一、二京二、二京三、二京四、二京五、二京六、二京七、二京八、二京九、三京、三京一、三京二、三京三、三京四、三京五、三京六、三京七、三京八、三京九、四京、四京一、四京二、四京三、四京四、四京五、四京六、四京七、四京八、四京九、五京、五京一、五京二、五京三、五京四、五京五、五京六、五京七、五京八、五京九、六京、六京一、六京二、六京三、六京四、六京五、六京六、六京七、六京八、六京九、七京、七京一、七京二、七京三、七京四、七京五、七京六、七京七、七京八、七京九、八京、八京一、八京二、八京三、八京四、八京五、八京六、八京七、八京八、八京九、九京、九京一、九京二、九京三、九京四、九京五、九京六、九京七、九京八、九京九、十京、十京一、十京二、十京三、十京四、十京五、十京六、十京七、十京八、十京九、二十京、二十京一、二十京二、二十京三、二十京四、二十京五、二十京六、二十京七、二十京八、二十京九、三十京、三十京一、三十京二、三十京三、三十京四、三十京五、三十京六、三十京七、三十京八、三十京九、四十京、四十京一、四十京二、四十京三、四十京四、四十京五、四十京六、四十京七、四十京八、四十京九、五十京、五十京一、五十京二、五十京三、五十京四、五十京五、五十京六、五十京七、五十京八、五十京九、六十京、六十京一、六十京二、六十京三、六十京四、六十京五、六十京六、六十京七、六十京八、六十京九、七十京、七十京一、七十京二、七十京三、七十京四、七十京五、七十京六、七十京七、七十京八、七十京九、八十京、八十京一、八十京二、八十京三、八十京四、八十京五、八十京六、八十京七、八十京八、八十京九、九十京、九十京一、九十京二、九十京三、九十京四、九十京五、九十京六、九十京七、九十京八、九十京九、百京、百京一、百京二、百京三、百京四、百京五、百京六、百京七、百京八、百京九、二百京、二百京一、二百京二、二百京三、二百京四、二百京五、二百京六、二百京七、二百京八、二百京九、三百京、三百京一、三百京二、三百京三、三百京四、三百京五、三百京六、三百京七、三百京八、三百京九、四百京、四百京一、四百京二、四百京三、四百京四、四百京五、四百京六、四百京七、四百京八、四百京九、五百京、五百京一、五百京二、五百京三、五百京四、五百京五、五百京六、五百京七、五百京八、五百京九、六百京、六百京一、六百京二、六百京三、六百京四、六百京五、六百京六、六百京七、六百京八、六百京九、七百京、七百京一、七百京二、七百京三、七百京四、七百京五、七百京六、七百京七、七百京八、七百京九、八百京、八百京一、八百京二、八百京三、八百京四、八百京五、八百京六、八百京七、八百京八、八百京九、九百京、九百京一、九百京二、九百京三、九百京四、九百京五、九百京六、九百京七、九百京八、九百京九、千京、千京一、千京二、千京三、千京四、千京五、千京六、千京七、千京八、千京九、二千京、二千京一、二千京二、二千京三、二千京四、二千京五、二千京六、二千京七、二千京八、二千京九、三千京、三千京一、三千京二、三千京三、三千京四、三千京五、三千京六、三千京七、三千京八、三千京九、四千京、四千京一、四千京二、四千京三、四千京四、四千京五、四千京六、四千京七、四千京八、四千京九、五千京、五千京一、五千京二、五千京三、五千京四、五千京五、五千京六、五千京七、五千京八、五千京九、六千京、六千京一、六千京二、六千京三、六千京四、六千京五、六千京六、六千京七、六千京八、六千京九、七千京、七千京一、七千京二、七千京三、七千京四、七千京五、七千京六、七千京七、七千京八、七千京九、八千京、八千京一、八千京二、八千京三、八千京四、八千京五、八千京六、八千京七、八千京八、八千京九、九千京、九千京一、九千京二、九千京三、九千京四、九千京五、九千京六、九千京七、九千京八、九千京九、一垓、一垓一、一垓二、一垓三、一垓四、一垓五、一垓六、一垓七、一垓八、一垓九、二垓、二垓一、二垓二、二垓三、二垓四、二垓五、二垓六、二垓七、二垓八、二垓九、三垓、三垓一、三垓二、三垓三、三垓四、三垓五、三垓六、三垓七、三垓八、三垓九、四垓、四垓一、四垓二、四垓三、四垓四、四垓五、四垓六、四垓七、四垓八、四垓九、五垓、五垓一、五垓二、五垓三、五垓四、五垓五、五垓六、五垓七、五垓八、五垓九、六垓、六垓一、六垓二、六垓三、六垓四、六垓五、六垓六、六垓七、六垓八、六垓九、七垓、七垓一、七垓二、七垓三、七垓四、七垓五、七垓六、七垓七、七垓八、七垓九、八垓、八垓一、八垓二、八垓三、八垓四、八垓五、八垓六、八垓七、八垓八、八垓九、九垓、九垓一、九垓二、九垓三、九垓四、九垓五、九垓六、九垓七、九垓八、九垓九、十垓、十垓一、十垓二、十垓三、十垓四、十垓五、十垓六、十垓七、十垓八、十垓九、二十垓、二十垓一、二十垓二、二十垓三、二十垓四、二十垓五、二十垓六、二十垓七、二十垓八、二十垓九、三十垓、三十垓一、三十垓二、三十垓三、三十垓四、三十垓五、三十垓六、三十垓七、三十垓八、三十垓九、四十垓、四十垓一、四十垓二、四十垓三、四十垓四、四十垓五、四十垓六、四十垓七、四十垓八、四十垓九、五十垓、五十垓一、五十垓二、五十垓三、五十垓四、五十垓五、五十垓六、五十垓七、五十垓八、五十垓九、六十垓、六十垓一、六十垓二、六十垓三、六十垓四、六十垓五、六十垓六、六十垓七、六十垓八、六十垓九、七十垓、七十垓一、七十垓二、七十垓三、七十垓四、七十垓五、七十垓六、七十垓七、七十垓八、七十垓九、八十垓、八十垓一、八十垓二、八十垓三、八十垓四、八十垓五、八十垓六、八十垓七、八十垓八、八十垓九、九十垓、九十垓一、九十垓二、九十垓三、九十垓四、九十垓五、九十垓六、九十垓七、九十垓八、九十垓九、百垓、百垓一、百垓二、百垓三、百垓四、百垓五、百垓六、百垓七、百垓八、百垓九、二百垓、二百垓一、二百垓二、二百垓三、二百垓四、二百垓五、二百垓六、二百垓七、二百垓八、二百垓九、三百垓、三百垓一、三百垓二、三百垓三、三百垓四、三百垓五、三百垓六、三百垓七、三百垓八、三百垓九、四百垓、四百垓一、四百垓二、四百垓三、四百垓四、四百垓五、四百垓六、四百垓七、四百垓八、四百垓九、五百垓、五百垓一、五百垓二、五百垓三、五百垓四、五百垓五、五百垓六、五百垓七、五百垓八、五百垓九、六百垓、六百垓一、六百垓二、六百垓三、六百垓四、六百垓五、六百垓六、六百垓七、六百垓八、六百垓九、七百垓、七百垓一、七百垓二、七百垓三、七百垓四、七百垓五、七百垓六、七百垓七、七百垓八、七百垓九、八百垓、八百垓一、八百垓二、八百垓三、八百垓四、八百垓五、八百垓六、八百垓七、八百垓八、八百垓九、九百垓、九百垓一、九百垓二、九百垓三、九百垓四、九百垓五、九百垓六、九百垓七、九百垓八、九百垓九、千垓、千垓一、千垓二、千垓三、千垓四、千垓五、千垓六、千垓七、千垓八、千垓九、二千垓、二千垓一、二千垓二、二千垓三、二千垓四、二千垓五、二千垓六、二千垓七、二千垓八、二千垓九、三千垓、三千垓一、三千垓二、三千垓三、三千垓四、三千垓五、三千垓六、三千垓七、三千垓八、三千垓九、四千垓、四千垓一、四千垓二、四千垓三、四千垓四、四千垓五、四千垓六、四千垓七、四千垓八、四千垓九、五千垓、五千垓一、五千垓二、五千垓三、五千垓四、五千垓五、五千垓六、五千垓七、五千垓八、五千垓九、六千垓、六千垓一、六千垓二、六千垓三、六千垓四、六千垓五、六千垓六、六千垓七、六千垓八、六千垓九、七千垓、七千垓一、七千垓二、七千垓三、七千垓四、七千垓五、七千垓六、七千垓七、七千垓八、七千垓九、八千垓、八千垓一、八千垓二、八千垓三、八千垓四、八千垓五、八千垓六、八千垓七、八千垓八、八千垓九、九千垓、九千垓一、九千垓二、九千垓三、九千垓四、九千垓五、九千垓六、九千垓七、九千垓八、九千垓九、一京垓、一京垓一、一京垓二、一京垓三、一京垓四、一京垓五、一京垓六、一京垓七、一京垓八、一京垓九

ちゃのみ-ぎり　茶貰桐　(名)　紋所の名。

ちゃのみ-ざっそ　茶飲草　茶飲種　(名)　茶飲話の題目。ひと寸、今は昔のやのみばなし。

ちゃのみ-ぢゃわん　茶飲茶碗　(名)　茶を飲むに用ふる茶碗。茶の湯。

ちゃのみ-ともだち　茶飲友達　(名)　■茶に寄り合つて茶飲話などをする親しい友。いつも心安く仕来りある友達。茶飲仲間。■老年の後のつれあひ。蜀山人飲茶を飲むに用ふる茶碗を「高砂や」の謡の茶飲友達に

ちゃのみ-ともばち　茶貰巴　(名)　紋所の名。

ちゃのみ-なかま　茶飲仲間　(名)　ちゃのみともだち(茶飲友達)に同じ。

ちゃのみ-のまる　茶貰丸　(名)　紋所の名。

ちゃのゆ　茶湯　(名)　茶の湯。

ちゃのみのむし　茶貰蟲　(名)　【動】　ちゃのみのむし(茶貰蟲)に同じ。

ちゃのみ-ばなし　茶飲話　(名)　茶を飲みながらする世間話。ちゃばなし。ちゃわ。

ちゃのみ-はなまる　茶貰花丸　(名)　ちゃのみのみたまる(茶貰枝丸)に同じ。

ちゃのみ-びし　茶貰菱　(名)　紋所の名。ちゃのみ(茶貰)を見よ。

ちゃのみ-みつどもえ　茶貰三巴　(名)　紋所の名。

ちゃのみ-やわらかい　茶貰輪違　(名)　紋所の名。

ちゃのゆ　茶湯　(名)　■茶を煮て茶碗に注ぎ入れて飲む飲料。■茶の湯の事。狂言「■茶の湯」の略。■すはさまざまの事のあるものかなと言ふこと。(茶せん)に同じ。■義足記述「大阪茶湯女子」。

ちゃのゆ　茶湯者　(名)　ちゃのゆ(茶湯)をする人。茶の湯の事に熟達した人。茶の湯者。茶人。茶道。

ちゃのゆ-だんご　茶湯団子　(名)　茶湯道具。風爐釜茶壺。柄杓の類。■狂言「茶の湯」の道具。風爐釜茶壺。茶入。茶筅。柄杓。何ぞ求めよ。

ちゃのゆ-ばなし　茶湯話　(名)　茶の湯の事に関する話。

ちゃのゆ-ぶね　茶湯船　(名)　茶の湯に用ふる水を入れる桶。

ちゃのゆ-ぼんさい　茶湯盆栽　(名)　茶の湯に用ふる盆栽。

ちゃのゆ-まえ　茶湯前　(名)　茶の湯の作法。

ちゃのゆ-まど　茶湯窓　(名)　茶の湯に用ふる窓。

ちゃのゆ-もの　茶湯者　(名)　ちゃのゆしゃ(茶湯者)に同じ。

ちゃのゆ-ゆ　茶湯湯　(名)　■茶湯(■)に同じ。■茶を呑む湯。

ちゃのゆ-ようじ　茶湯楊枝　(名)　茶湯茶筅にて供すること。後食前歯の垢の除去を普通とす。是利休宗慶等の頃に創始せられ起こる。ちゃのゆ。太平記「■鳥茶の香の酒宴に若干の貴賤を入れ

ちゃのゆ-ようじ　茶湯楊枝　(名)　【植】さざんくわ(茶梅)に同じ。

ちゃはぎ　茶梅　(名)　【植】さざんくわ(茶梅)に同じ。

ちゃはぎ　茶筅　(名)　茶の湯にて、茶を点ずるに用ふる竹製の小具。竹筅。

ちゃはこ　茶箱　(名)　■茶を点てるに用ふる諸道具を入れる箱。■茶の湯の事。

ちゃはこ-ぐるま　茶箱車　(名)　■茶箱を載せる車。■茶箱を載せた車。

ちゃはこ-ずし　茶箱鮨　(名)　■茶箱に入れた鮨。■茶箱の形をした鮨。

ちゃはこ-やど　茶箱宿　(名)　■茶箱を載せた車を引く人夫の宿。■茶箱を載せた車を引く人夫。

ちゃはこ-やろう　茶箱野郎　(名)　茶箱宿(■)に同じ。

ちゃはし　茶橋　(名)　茶の湯の茶筅。

ちゃはしら　茶柱　(名)　■茶の湯の釜の下に立てる柱。■茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしら-だち　茶柱立　(名)　■茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。■茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木を立てること。

ちゃはしり　茶走　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-ぐるま　茶走車　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-ぐるまもん　茶走車紋　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-もん　茶走紋　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-もんしょう　茶走紋章　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-もんどころ　茶走紋所　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-もんよう　茶走紋様　(名)　茶の湯の釜の下に立てる柱の形をした木。

ちゃはしり-もんようじ　茶走楊枝

引手茶屋・音羽の滝・浮世風呂・茶屋小屋の茶屋女中業にはなし・商人客の御機嫌がり・茶屋小屋に通ひて酒色の遊興に耽けること・茶屋遊

ちゃやこやとおよび 茶屋小屋通（名）茶屋小屋に行くこと・酒色の遊興をなすこと・茶屋遊

ちゃやこやはいり 茶屋小屋遊入（名）茶屋小屋に同じ

ちゃやざけ 茶屋酒（名）茶屋小屋で売る腐敗せる悪い身で又しては頑痴の間への酒のこと・枯茶屋酒が過ぎるから

ちゃやむすめ 茶屋娘（名）茶屋風の装束にて客に応接する婦女・茶屋女・茶屋小屋・茶屋酒の売子・茶屋の帳子

ちゃやもの 茶屋者（名）茶屋遊興の客を迎ふる客筋の人・一代女「旬ものがらを茶山しにゆく夫婦づれ」

ちゃやもの 茶屋者（名）飲食遊興等

慈くすこと。臣民たる本分を全うすること。忠義。縦絶ち忠事者其「臣子之板盾無」（顕宗即位前紀）

ちゅうあい　忠愛（名）忠誠と仁愛。

ちゅうあつ　中圧（名）中位の圧力。

ちゅうあつ　注意（名）心を注ぐこと。気をくばること。心配すること。警戒すること。

ちゅうい　中位（名）中くらいの位。

ちゅうい　中衣（名）ちゅうげえ中着。

ちゅうい　中尉（名）陸軍武官の階級の一。大尉の下、少尉の上。

ちゅうい　中意（名）心にかなうこと。気に入ること。

ちゅうい　中医（名）漢方医。

ちゅうい　中位（名）中くらいの位。

ちゅうい　中胃（名）上腸の中間にある胃。

ちゅうい　中衛（名）陸軍で、本営の警備を掌る部隊。

ちゅうい　中慰（名）中くらいの慰め

ちゅうか（中夏）㊀夏のなかば。仲夏。

ちゅうかい（中介）㊀仲介。

ちゅうかい（中戒）㊀中間の警戒。

ちゅうかい（中階）㊀中二階。

ちゅうかい（中海）㊀内海。湾。

ちゅうかい（仲介）㊀仲介。

ちゅうかい（注解）㊀注釈。

ちゅうがい（中外）㊀国内と国外。

ちゅうがい（中害）㊀害。

ちゅうがい（中街）㊀街。

ちゅうがい（中涯）㊀中途。

ちゅうがえ（中替）㊀為替。

ちゅうかく（中核）㊀中心。

ちゅうがく（中学）㊀中学校。

ちゅうがく（中学区）㊀中学校の区域。

ちゅうがくきょういく（中学教育）㊀中学校の教育。

ちゅうがくきょうゆ（中学教諭）㊀中学校の教諭。

ちゅうがくきょうゆしょく（中学教諭職）㊀中学校の教諭。

ちゅうがくきょうゆしょくせいど（中学教諭職制度）㊀中学校の教諭に関する制度。

ちゅうがくせい（中学生）㊀中学校の生徒。

ちゅうがくせいと（中学生徒）㊀中学生。

ちゅうがくていど（中学程度）㊀中学校の教育程度。

ちゅうがくりん（中学林）㊀中学校。

ちゅうかじょう（中華街）㊀中華料理店などが集まっている一区画。

ちゅうかそば（中華蕎麦）㊀中華料理の麺類。

ちゅうかつ（中活）㊀中央活版製造所。

ちゅうかつ（中渇）㊀中途で渇すること。

ちゅうかつ（中喝）㊀中途で喝すること。

ちゅうかつ（中滑）㊀中途で滑ること。

ちゅうかつ（中轄）㊀中央の管轄。

ちゅうかつ（中闊）㊀中途で闊すること。

ちゅうかつ（中豁）㊀中途で豁す

機、文字是也爾」

ちゅうきやみ 中気病 (名) ㊀中気

㊁文字是也爾」

ちゅうきょ 中気病 (名) ㊀中風患者。

㊁身體自由ならざる人。中風患者。

ちゅうきょ 中虚 (名) 心の活気なきこと。

既に精神衰弱症となりて、心に我執なきこと。

ちゅうきょ 中居 (名) 中流の家に住居すること。

又、その住居。

ちゅうきょ 中挙 (名) 中等の官職に任ずること。

ちゅうきょ 中虚 (名) 心に我執なきこと。

自神経衰弱症の一。又、文学上の術語。

ちゅうきょ 中興 (名) 一度衰へたるものが、再び盛になること

に屈せられる数数の一。大数枚の下、少数枚の上なるもの。大事は剛任、中小事は柔任の上なるもの。大事は剛任、中小事は柔任の上なるもの。大事は剛任、中小事は柔任の上なるもの。

ちゅうかいせい 中数正（名）明治三十二年制定した官吏の奏薦の無視。中奏。奏薦者奏薦した官吏の奏薦の無視。中奏。奏薦者奏薦した官吏の奏薦の無視。中奏。奏薦者奏薦

外交官領事官】

ちゅうさい　重罪　(名)　㊀おももつの意。㊁科。重科。重き処罰をうける罪。

ちゅうさいいん　仲裁人　(名)　【法】仲裁をして仲裁判断をなすべき人。仲裁判断を下すべき人。

ちゅうさいかいやく　仲裁契約　(名)　【法】(Schiedsvertrag 独)　仲裁判断をなすべきことを約する契約。仲裁判断を下すべきことを約する契約。

ちゅうさいかん　駐在官　(名)　㊀外国に駐在する官吏。㊁陸軍武官の別名。

ちゅうさいさいばんしょ　仲裁裁判所　(名)　【法】(Arbitration Gericht 独)　仲裁裁判を遂行して国際紛争を解決する裁判所。

ちゅうさいさいばんしょくいん　仲裁裁判所職員　(名)　【法】仲裁裁判所の会計事務を処理するために常置される職員。仲裁裁判所の書記官長・書記官・通訳官・事務官・雇員・傭人等。

ちゅうさいさいばんしょのしょざい　仲裁裁判所の所在地　(名)　仲裁裁判所を置くべき地。

ちゅうさいさいばんしょのしょざいち　仲裁裁判所の所在地　(名)　仲裁裁判所の事務局の置かれる地。

ちゅうさいさいばんせんてい　仲裁裁判官選定　(名)　仲裁裁判をなすに当たり、仲裁裁判官を選定すること。

ちゅうさいさいばんにんめいてい　仲裁裁判任命定　(名)　仲裁裁判官の任命を定めること。

ちゅうさいさいばんのしょざい　仲裁裁判の所在　(名)　仲裁裁判をなすに当たり、仲裁裁判官の任命を定めること。

**ちゅうさいさいばんのしょざいをさだめること　仲裁裁判の所在を定めること

十二歳より十五歳までの男女の死すること。わかごに中夭。経記「曲礼」「不殤十二年十五歳中殤」

ちゅうじゃく　中将（名）　㊀上官近衛府の次官。正・権あり。養老令「職員令」「左右近衛府、各大将一人、掌統領将士、翊衛天皇。大将闕者、中将一人、従四位下、少将一人、従四位上」

ちゅうじゃく　中将棋（名）　㊀中古行われた将棋の一種。駒数二十二個で、駒の数九十二枚あり、駒は取り持ちにて、小将棋の如く取り駒が打つことを得る。また、香落ちの場合は、香落ちの駒の数の上に、すこしを駒の足なみ駒れて「中将棋」と称する。

ちゅうじゃくし　中将棋（名）　㊀中将棋の駒。

**ちゅうじゃくしゃ

「解字」詩經雅頌篇名。忠心從忠。人首從信。
ちゅうしん 中人 (名) ①仲介者。なかだち。②中等の人物。普通の人。凡人。③(名)(動)なかまになる。
「中人以下、可以語上也」論語雍也篇
ちゅうしん 中臣 (名) 中流の生活の人。
石之宋、中人弗勝」孟子滕文公篇
ちゅうしん 中心 (名) ①中央。②中流の生活の人。
家之所、中人弗勝」孟子滕文公篇
ちゅうしん 中心 (名) ①中央。②中流の生活の人。
「中人以下、可以語上也」論語雍也篇
ちゅうしん 中心 (名) ①中央。②中流の生活の人。

ちゅうし 中旨 …趣旨。
ちゅうしょ 住所 …住居する家。
ちゅうたく 住宅 (名) 住居する家。
ちゅうたくし 住宅地 (名) 住宅を建てるための土地。
ちゅうたくしきち 住宅敷地 (名) 住宅を建てるための土地。
ちゅうたくしゃ 住宅舎 (名) 住宅に使う建物。
ちゅうたくだい 住宅代 (名) 住宅を建てるための費用。
ちゅうたくりょう 住宅料 (名) 住宅に使う費用。
ちゅうたくれい 住宅料 (名) 前金。住宅料。
ちゅうたち 中断 (名) 途中で止めること。中途で止めること。
ちゅうだん 中段 (名) 中ほどの段。
ちゅうだんのかまえ 中段の構え (名) 剣道で、刀を中段に構えること。
ちゅうちょ 躊躇 (名) ためらうこと。
ちゅうちょう 中腸 (名) 腸の中間の部分。
ちゅうちょう 中庸 (名) 中庸の徳。
ちゅうちょうのとく 中庸の徳 (名) 中庸の徳。
ちゅうつう 中通 (名) 中ほどを通ること。
ちゅうてい 中庭 (名) 家の中にある庭。
ちゅうてん 中天 (名) 空の中ほど。
ちゅうと 中途 (名) 途中。
ちゅうとう 中等 (名) 中ほどの等級。
ちゅうとう 中等 (名) 中ほどの等級。
ちゅうとう 中等 (名) 中ほどの等級

顕役者の大夫、下級の役の上に位するもの。多くは立役を指す。

ちゅうどん　一駐屯　軍隊が其の最も一所に駐屯する事。明治三十九年陸軍省令第十六号を以て定む。

ちゅうとんぐん　一駐屯軍（名）其の地に駐屯せる軍。

ちゅうとんへい　一駐屯兵（名）其の地に駐屯せる兵。

ちゅうなごん　一中納言（名）古官。中務省の長官にて大内記の次に位し、勅命の伝宣、中務省の記録の事を司りまた奏上の事を掌る。

ちゅうなり　一中脳（名）【醫】頭蓋の一部。腦の基底にあり下垂体の球を連絡す。

ちゅうなん　一中納言（名）将軍天皇の朝に設けられ、庶中に侍して政務の機密を助け将たる官。文武天皇の時置く。令制一人、従三位相当官。大納言の次、中務卿の上に位し、職掌大納言に同じ、正一位を加えたものもあり。

ちゅうなんしょうなごん　一中納言少将（名）【官】大納言の次、中務卿の上に位し、職掌大納言に同じ、正一位を加えたものもあり。

ちゅうなんしょうなごんもっちゃく　一中納言少将物着（名）【官】中納言少将の装束。

ちゅうなんしょうなごんもっちゃくちょう　一中納言少将物着帳（名）【官】中納言少将物着を記入する帳簿。

ちゅうなんもっちゃく　一中納言物着（名）【官】中納言の装束。

ちゅうなんもっちゃくちょう　一中納言物着帳（名）【官】中納言物着を記入する帳簿。

ちゅうにち　一中日（名）【佛】法華経の中日。

ちゅうにちぶつ　一注入仏（名）【佛】仏教用語の一。仏の教えを人に注ぎ入れること。

ちゅうにちぶつのえ　一注入仏の会（名）【佛】仏教用語の一。仏の教えを人に注ぎ入れる法会。

ちゅうにちぶつのしゅう　一注入仏の衆（名）【佛】仏教用語の一。仏の教えを人に注ぎ入れる僧侶。

ちゅうにちぶつのほう　一注入仏の法（名）【佛】仏教用語の一。仏の教えを人に注ぎ入れる教育法。

ちゅうにん　一仲人（名）【古】なかだち。なかうど。

ちゅうにん　一仲人（名）【古】仲裁人。

ちゅうにん　一住人（名）其の地に住む人。

ちゅうにん　一重任（名）【古】重ねての任期。

ちゅうにんぐち　一仲人口（名）【古】なかだちの言葉。

ちゅうねん　一中年（名）年齢の中間の年頃。三十歳の頃。

ちゅうねん　一中熱（名）【古】熱病の一。

ちゅうねんしゃ　一中年者（名）【古】中年の人。

ちゅうねんもの　一中年者（名）【古】中年の人。

ちゅうのいえ　一中屋（名）【古】中流の家。

ちゅうのいち　一中市（名）【古】中流の市。

ちゅうのいん　一中院（名）【古】中流の院。

ちゅうのおとど　一中大臣（名）【古】中流の大臣。

ちゅうのおとな　一中大人（名）【古】中流の大人。

ちゅうのおとなし　一中大人し（名）【古】中流の大人し。

ちゅうのおとなしい　一中大人しい（名）【古】中流の大人しい。

ちゅうのおとなしさ　一中大人しさ（名）【古】中流の大人しさ。

ちゅうのおとなしやか　一中大人しやか（名）【古】中流の大人しやか。

ちゅうのおとなしやかさ　一中大人しやかさ（名）【古】中流の大人しやかさ。

ちゅうのおとなしやかに　一中大人しやかに（副）【古】中流の大人しやかに。

ちゅうのおとなしやかなり　一中大人しやかなり（形動）【古】中流の大人しやかなり。

ちゅうのおとなしやかなる　一中大人しやかなる（連体）【古】中流の大人しやかなる。

ちゅうのおとなしやかなれ　一中大人しやかなれ（形動）【古】中流の大人しやかなれ

とむる工匠。膳氏後、蔡大神宗廟神殿数百人）。

ちゅうひし【中秘史】（名）ひとし秘史。天平九年八月大蔵省治部省の中秘史。

ちゅうふ【中父】（名）仲父（名）父の弟。

ちゅうふ【仲父】（名）父の弟。和名に父之弟曰仲父。

ちゅうふ【中夫】（名）（「ちゅうぶ」とも）中男と成人男との中間の男子。

ちゅうふ【中婦】（名）（「ちゅうぶ」とも）中男と成人女との中間の女子。

ちゅうぶ【中風】（名）中気。

ちゅうぶ【中府】（名）肺経の穴の名。

ちゅうぶ【中脯】（名）中等の品格。

ちゅうぶ【中部】（名）律令制で、畿内を東西南北に分けた東部・西部・南部・北部の総称。

ちゅうぶ【中部官】（名）中部の官人。

ちゅうぶ【中部官曹】（名）中部官曹事類（延喜式巻名）

ちゅうぶ【中部官曹事類】（名）延喜式巻名。

ちゅうぶ【中部都督】（名）（「ちゅうぶとくとく」とも）中部都督府の長官。

ちゅうぶ【中部都督府】（名）中部都督府。

ちゅうぶ【中風】（名）（「ちゅうふう」とも）脳出血・脳梗塞などの脳血管障害。

ちゅうぶ【中府人】（名）醫戒（令制の官名）

ちゅうぶ【中風】（名）ちゅうふうの事に同じ。

ちゅうぶ【中夫】（名）（「ちゅうふ」とも）中男と成人男との中間の男子。

ちゅうぶ【中婦】（名）（「ちゅうふ」とも）中男と成人女との中間の女子。

ちゅうぶ【中風】（名）中気。

ちゅうぶ【中府】（名）肺経の穴の名。

ちゅうぶ【中部】（名）律令制で、畿内を東西南北に分けた東部・西部・南部・北部の総称。

ちゅうぶ【中部官】（名）中部官曹事類（延喜式巻名）

文者は勝負人に対し相応の期限を定めて其現証の整理を請求することを得」

ちゅうもんじゃり 注文状 (名) 矢張ちゅうもんじょうに同じ。

ちゅうもんしょ 注文書 (名) あつらえの条件をしるした書面。注文状とも書きこれを発送する慣習。明治四年八月布告第百六十五条商法会議所設例(明治一四)「注文書」

ちゅうもんぶかい 注文慎 (名) まちがひて注文しないこと。

ちゅうもんちょう 注文帳 (名) 注文先の氏名住所品目数量等年月日引受たる注文を記載する帳簿。

ちゅうもんとり 注文取 (名) 諸所を廻りあつらえ又その物を注文を受けて取引すること。又その人。

ちゅうもんながれ 注文流 (名) 注文したるのみにて其の品を引き取らず、又受けたる物品又は代金を払わざる事。

ちゅうもんひかえちょう 注文控帳 (名) ちゅうもんちょうに同じ。

ちゅうもんひん 注文品 (名) 矢張ちゅうもんぶつに同じ。

ちゅうもんぶつ 注文物 (名) 注文を受けたる物品又は代金。

ちゅうや 昼夜 (名) よるとひる。昼中。夜中。「書経(周)無逸「惟暨厥正厥中夜以荒」

ちゅうや 昼夜 (名) 昼中と夜中。

ちゅうや 中野 (名) のなか。はらなか。島根県(明治九)「原水之辺或、雑之中野」史記(前漢)司馬遷「使天下之民折服衰絰、為子婿於中野」

ちゅうやく 一人前 (名) 一人分の役。又その人。

ちゅうやく 一人扶持 (名) 一人分の扶持。

ちゅうやく 一人役 (名) 一人分の役。又その人。

ちゅうやく 一年切 (名) 一年を限りとすること。

ちゅうやく 一年季 (名) 一年を限りとすること。

ちゅうやく 一年限 (名) 一年を限りとすること。

ちゅうやく 一年分 (名) 一年間の分。

ちゅうやく 一番組 (名) 一組二十三人又は二十二人の分。

ちゅうやく 一番手 (名) 一番組の人。

ちゅうやく 一番役 (名) 一番組の人。

ちゅうやく 一分限 (名) 一分間の限。百七十度より二百七十度迄の間に掛出す部分。石灰及びふたれ等を其の成分とす。(化)

ちゅうやく 一面油 (名) 一面に二十度より二百七十度迄の間に掛出す部分。石灰及びふたれ等を其の成分とす。(化)

ちゅうやく 一重厄 (名) 重ね厄年。

ちゅうやく 一重役 (名) 一会社の取締役。又その人。

ちゅうやく 一重役会議 (名) 重役が其の職務を処理する為に開く会議。

ちゅうやくくみあい 一重役組合 (名) 同じ。

ちゅうやくくみあいかいぎ 一重役組合会議 (名) 重役が其の職務を処理する為に開く会議。

ちゅうやくしょう 一重役証 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくしょうしょ 一重役証書 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくぜい 一重役税 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくそうかい 一重役総会 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくたち 一重役達 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくにん 一重役人 (名) 重役たることを証する書面。明治二年七月十三日太政官布告第六百十一号「会社弁」

ちゅうやくのしょ 一重役の署

軟末梢日指表山脈形群落社稷但改
（清汉）
ちゅうおん　中腐（名）律詩の八句の中なる第五句と第六句との併称。
ちゅうかん　中間（名）天子の御葉を駐むる輪と、行幸先に御座を設くること。
ちゅうきょ　中路（名）㊀みちのなか。㊁和歌、和歌四種の一。
ちゅうきょう　中京（名）㊀平城京の中央の区域。㊁京都の異名。
ちゅうきょく　中曲（名）㊀雅楽の中間の一曲。㊁能楽の中間の一曲。
ちゅうきょく　中局（名）㊀碁の中間の勝負。㊁碁の中間の一局。
ちゅうきょく　中極（名）㊀人の体性の中正にして温和なること。㊁優婆塞宝基之末、優婆塞宝基之中、優婆塞宝基之初二門、及び中和大地殿高殿物言葉二種ほどあるをかりることを作用せしめて、其れ物に特有な反撥を互ひに消殺せしめて、変化無窮なる変化物等に幾を作用して其の調和を得る場合をもいふ。変化無窮を調和して中和すれば、食変化無窮を調和して中和すれば、食変化無窮を調和して中和すれば、食

者の不在もしくは不出頭による時に於いて、裁判所が行う審理。原則として、被告人の出頭を要件とする。

ちょうえき【懲役】（名）［法］自由刑の一種。監獄に拘置して、定役に服させる刑罰。無期懲役と有期懲役とがある。無期懲役は終身、有期懲役は一月以上十五年以下とする。有期法については之を加重減軽する時は二十年以下とする。加重減軽とは分かち、重懲役は九年以上、十年以下、軽懲役は六年以上、八年以下とし、共に内地の監獄署に入れ定役に服せしめる。刑法第十五条により、無期懲役又は有期懲役に処せられた者には、無期懲役は無期及び有期とし、有期懲役は長期及び短期を言い渡す。懲役は、無期懲役に処せられた者を除き、すべて受刑者に対し、一定の作業を課する。懲役に処せられた者を拘束する間、監獄署に留置する。

ちょうえきしゅうしん【懲役終身】（名）［法］懲役刑の一種。懲役に処せられた者を終身監獄に拘置し、定役に服させる刑罰。

ちょうえきしょぶん【懲役処分】（名）［法］懲役刑に処せられた囚人を監獄に拘置し、定役に服させる処分。

ちょうえきせいど【懲役制度】（名）［法］懲役囚を監獄に拘置し、定役に服させる制度。懲役囚の処遇方法、懲役囚の分類、懲役囚の作業、懲役囚の賞与金、懲役囚の教誨、懲役囚の衛生、懲役囚の保護、懲役囚の釈放等に関する制度。

ちょうえきにん【懲役人】（名）［法］懲役に処せられた囚人。監獄法第四条。

ちょうえきば【懲役場】（名）［法］旧監獄則時代に於ける監獄署の称。

ちょうえきひ【懲役囚】（名）［法］懲役に処せられた囚人。

ちょうえきひごう【懲役囚号】（名）［法］懲役囚の区別のために附与する番号。

ちょうえきひしゅつじょ【懲役囚出所】（名）［法］懲役囚が刑期満了又は仮釈放により監獄から出ること。

ちょうえきひしゅっしょ【懲役囚出所】（名）［法］懲役囚が刑期満了又は仮釈放により監獄から出ること。

ちょうえきひしゅっしょてつづき【懲役囚出所手続】（名）［法］懲役囚が刑期満了又は仮釈放により監獄から出る場合に行う手続。

ちょうえきひしょぐう【懲役囚処遇】（名）［法］懲役囚を監獄に拘置し、定役に服させる場合の処遇。

ちょうえきひしょぐうほう【懲役囚処遇法】（名）［法］懲役囚を監獄に拘置し、定役に服させる場合の処遇方法。

ちょうえきひしょぐうほうそく【懲役囚処遇法則】（名）［法］懲役囚を監獄に拘置し、定役に服させる場合の処遇法則。

ちょうえきひしょぐうほうそくしゅうしんほう【懲役囚処遇法則修正法】（名）［法］明治十四年十二月布告第八十一號懲役囚処遇法則修正法。

ちょうえきひしょぐうほうそくしゅうしんほうしこう【懲役囚処遇法則修正法施行】（名）［法］明治十四年十二月布告第八十一號懲役囚処遇法則修正法施行。

ちょうえきひしょぐうほうそくしゅうしんほうしこうじょうれい【懲役囚処遇法則修正法施行条例】（名）［法］明治十四年十二月布告第八十一號懲役囚処遇法則修正法施行条例。

ちょうえきひしょぐうほうそくしゅうしんほうしこうじょうれいかいせい【懲役囚処遇法則修正法施行条例改正】（名）［法］明治十四年十二月布告第八十一號懲役囚処遇法則修正法施行条例改正。

ちょうえきひしょぐうほうそくしゅうしんほうしこうじょうれいかいせいほうりつ【懲役囚処遇法則修正法施行条例改正法律】（名）［法］明治十四年十二月布告第八十一號懲役囚処遇法則修正法施行条例改正法律

ちょう―ちょう　ちょう　ちょう　

理候兵官官制第拾四條第拾五條第拾六條第拾七條第拾八條第拾九條第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第四十六條第四十七條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條第六十條第六十一條第六十二條第六十三條第六十四條第六十五條第六十六條第六十七條第六十八條第六十九條第七十條第七十一條第七十二條第七十三條第七十四條第七十五條第七十六條第七十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十四條第八十五條第八十六條第八十七條第八十八條第八十九條第九十條第九十一條第九十二條第九十三條第九十四條第九十五條第九十六條第九十七條第九十八條第九十九條第百條第百一條第百二條第百三條第百四條第百五條第百六條第百七條第百八條第百九條第百十條第百十一條第百十二條第百十三條第百十四條第百十五條第百十六條第百十七條第百十八條第百十九條第百二十條第百二十一條第百二十二條第百二十三條第百二十四條第百二十五條第百二十六條第百二十七條第百二十八條第百二十九條第百三十條第百三十一條第百三十二條第百三十三條第百三十四條第百三十五條第百三十六條第百三十七條第百三十八條第百三十九條第百四十條第百四十一條第百四十二條第百四十三條第百四十四條第百四十五條第百四十六條第百四十七條第百四十八條第百四十九條第百五十條第百五十一條第百五十二條第百五十三條第百五十四條第百五十五條第百五十六條第百五十七條第百五十八條第百五十九條第百六十條第百六十一條第百六十二條第百六十三條第百六十四條第百六十五條第百六十六條第百六十七條第百六十八條第百六十九條第百七十條第百七十一條第百七十二條第百七十三條第百七十四條第百七十五條第百七十六條第百七十七條第百七十八條第百七十九條第百八十條第百八十一條第百八十二條第百八十三條第百八十四條第百八十五條第百八十六條第百八十七條第百八十八條第百八十九條第百九十條第百九十一條第百九十二條第百九十三條第百九十四條第百九十五條第百九十六條第百九十七條第百九十八條第百九十九條第二百條第二百一條第二百二條第二百三條第二百四條第二百五條第二百六條第二百七條第二百八條第二百九條第二百十條第二百十一條第二百十二條第二百十三條第二百十四條第二百十五條第二百十六條第二百十七條第二百十八條第二百十九條第二百二十條第二百二十一條第二百二十二條第二百二十三條第二百二十四條第二百二十五條第二百二十六條第二百二十七條第二百二十八條第二百二十九條第二百三十條第二百三十一條第二百三十二條第二百三十三條第二百三十四條第二百三十五條第二百三十六條第二百三十七條第二百三十八條第二百三十九條第二百四十條第二百四十一條第二百四十二條第二百四十三條第二百四十四條第二百四十五條第二百四十六條第二百四十七條第二百四十八條第二百四十九條第二百五十條第二百五十一條第二百五十二條第二百五十三條第二百五十四條第二百五十五條第二百五十六條第二百五十七條第二百五十八條第二百五十九條第二百六十條第二百六十一條第二百六十二條第二百六十三條第二百六十四條第二百六十五條第二百六十六條第二百六十七條第二百六十八條第二百六十九條第二百七十條第二百七十一條第二百七十二條第二百七十三條第二百七十四條第二百七十五條第二百七十六條第二百七十七條第二百七十八條第二百七十九條第二百八十條第二百八十一條第二百八十二條第二百八十三條第二百八十四條第二百八十五條第二百八十六條第二百八十七條第二百八十八條第二百八十九條第二百九十條第二百九十一條第二百九十二條第二百九十三條第二百九十四條第二百九十五條第二百九十六條第二百九十七條第二百九十八條第二百九十九條第三百條第三百一條第三百二條第三百三條第三百四條第三百五條第三百六條第三百七條第三百八條第三百九條第三百十條第三百十一條第三百十二條第三百十三條第三百十四條第三百十五條第三百十六條第三百十七條第三百十八條第三百十九條第三百二十條第三百二十一條第三百二十二條第三百二十三條第三百二十四條第三百二十五條第三百二十六條第三百二十七條第三百二十八條第三百二十九條第三百三十條第三百三十一條第三百三十二條第三百三十三條第三百三十四條第三百三十五條第三百三十六條第三百三十七條第三百三十八條第三百三十九條第三百四十條第三百四十一條第三百四十二條第三百四十三條第三百四十四條第三百四十五條第三百四十六條第三百四十七條第三百四十八條第三百四十九條第三百五十條第三百五十一條第三百五十二條第三百五十三條第三百五十四條第三百五十五條第三百五十六條第三百五十七條第三百五十八條第三百五十九條第三百六十條第三百六十一條第三百六十二條第三百六十三條第三百六十四條第三百六十五條第三百六十六條第三百六十七條第三百六十八條第三百六十九條第三百七十條第三百七十一條第三百七十二條第三百七十三條第三百七十四條第三百七十五條第三百七十六條第三百七十七條第三百七十八條第三百七十九條第三百八十條第三百八十一條第三百八十二條第三百八十三條第三百八十四條第三百八十五條第三百八十六條第三百八十七條第三百八十八條第三百八十九條第三百九十條第三百九十一條第三百九十二條第三百九十三條第三百九十四條第三百九十五條第三百九十六條第三百九十七條第三百九十八條第三百九十九條第四百條第四百一條第四百二條第四百三條第四百四條第四百五條第四百六條第四百七條第四百八條第四百九條第四百十條第四百十一條第四百十二條第四百十三條第四百十四條第四百十五條第四百十六條第四百十七條第四百十八條第四百十九條第四百二十條第四百二十一條第四百二十二條第四百二十三條第四百二十四條第四百二十五條第四百二十六條第四百二十七條第四百二十八條第四百二十九條第四百三十條第四百三十一條第四百三十二條第四百三十三條第四百三十四條第四百三十五條第四百三十六條第四百三十七條第四百三十八條第四百三十九條第四百四十條第四百四十一條第四百四十二條第四百四十三條第四百四十四條第四百四十五條第四百四十六條第四百四十七條第四百四十八條第四百四十九條第四百五十條第四百五十一條第四百五十二條第四百五十三條第四百五十四條第四百五十五條第四百五十六條第四百五十七條第四百五十八條第四百五十九條第四百六十條第四百六十一條第四百六十二條第四百六十三條第四百六十四條第四百六十五條第四百六十六條第四百六十七條第四百六十八條第四百六十九條第四百七十條第四百七十一條第四百七十二條第四百七十三條第四百七十四條第四百七十五條第四百七十六條第四百七十七條第四百七十八條第四百七十九條第四百八十條第四百八十一條第四百八十二條第四百八十三條第四百八十四條第四百八十五條第四百八十六條第四百八十七條第四百八十八條第四百八十九條第四百九十條第四百九十一條第四百九十二條第四百九十三條第四百九十四條第四百九十五條第四百九十六條第四百九十七條第四百九十八條第四百九十九條第五百條第五百一條第五百二條第五百三條第五百四條第五百五條第五百六條第五百七條第五百八條第五百九條第五百十條第五百十一條第五百十二條第五百十三條第五百十四條第五百十五條第五百十六條第五百十七條第五百十八條第五百十九條第五百二十條第五百二十一條第五百二十二條第五百二十三條第五百二十四條第五百二十五條第五百二十六條第五百二十七條第五百二十八條第五百二十九條第五百三十條第五百三十一條第五百三十二條第五百三十三條第五百三十四條第五百三十五條第五百三十六條第五百三十七條第五百三十八條第五百三十九條第五百四十條第五百四十一條第五百四十二條第五百四十三條第五百四十四條第五百四十五條第五百四十六條第五百四十七條第五百四十八條第五百四十九條第五百五十條第五百五十一條第五百五十二條第五百五十三條第五百五十四條第五百五十五條第五百五十六條第五百五十七條第五百五十八條第五百五十九條第五百六十條第五百六十一條第五百六十二條第五百六十三條第五百六十四條第五百六十五條第五百六十六條第五百六十七條第五百六十八條第五百六十九條第五百七十條第五百七十一條第五百七十二條第五百七十三條第五百七十四條第五百七十五條第五百七十六條第五百七十七條第五百七十八條第五百七十九條第五百八十條第五百八十一條第五百八十二條第五百八十三條第五百八十四條第五百八十五條第五百八十六條第五百八十七條第五百八十八條第五百八十九條第五百九十條第五百九十一條第五百九十二條第五百九十三條第五百九十四條第五百九十五條第五百九十六條第五百九十七條第五百九十八條第五百九十九條第六百條第六百一條第六百二條第六百三條第六百四條第六百五條第六百六條第六百七條第六百八條第六百九條第六百十條第六百十一條第六百十二條第六百十三條第六百十四條第六百十五條第六百十六條第六百十七條第六百十八條第六百十九條第六百二十條第六百二十一條第六百二十二條第六百二十三條第六百二十四條第六百二十五條第六百二十六條第六百二十七條第六百二十八條第六百二十九條第六百三十條第六百三十一條第六百三十二條第六百三十三條第六百三十四條第六百三十五條第六百三十六條第六百三十七條第六百三十八條第六百三十九條第六百四十條第六百四十一條第六百四十二條第六百四十三條第六百四十四條第六百四十五條第六百四十六條第六百四十七條第六百四十八條第六百四十九條第六百五十條第六百五十一條第六百五十二條第六百五十三條第六百五十四條第六百五十五條第六百五十六條第六百五十七條第六百五十八條第六百五十九條第六百六十條第六百六十一條第六百六十二條第六百六十三條第六百六十四條第六百六十五條第六百六十六條第六百六十七條第六百六十八條第六百六十九條第六百七十條第六百七十一條第六百七十二條第六百七十三條第六百七十四條第六百七十五條第六百七十六條第六百七十七條第六百七十八條第六百七十九條第六百八十條第六百八十一條第六百八十二條第六百八十三條第六百八十四條第六百八十五條第六百八十六條第六百八十七條第六百八十八條第六百八十九條第六百九十條第六百九十一條第六百九十二條第六百九十三條第六百九十四條第六百九十五條第六百九十六條第六百九十七條第六百九十八條第六百九十九條第七百條第七百一條第七百二條第七百三條第七百四條第七百五條第七百六條第七百七條第七百八條第七百九條第七百十條第七百十一條第七百十二條第七百十三條第七百十四條第七百十五條第七百十六條第七百十七條第七百十八條第七百十九條第七百二十條第七百二十一條第七百二十二條第七百二十三條第七百二十四條第七百二十五條第七百二十六條第七百二十七條第七百二十八條第七百二十九條第七百三十條第七百三十一條第七百三十二條第七百三十三條第七百三十四條第七百三十五條第七百三十六條第七百三十七條第七百三十八條第七百三十九條第七百四十條第七百四十一條第七百四十二條第七百四十三條第七百四十四條第七百四十五條第七百四十六條第七百四十七條第七百四十八條第七百四十九條第七百五十條第七百五十一條第七百五十二條第七百五十三條第七百五十四條第七百五十五條第七百五十六條第七百五十七條第七百五十八條第七百五十九條第七百六十條第七百六十一條第七百六十二條第七百六十三條第七百六十四條第七百六十五條第七百六十六條第七百六十七條第七百六十八條第七百六十九條第七百七十條第七百七十一條第七百七十二條第七百七十三條第七百七十四條第七百七十五條第七百七十六條第七百七十七條第七百七十八條第七百七十九條第七百八十條第七百八十一條第七百八十二條第七百八十三條第七百八十四條第七百八十五條第七百八十六條第七百八十七條第七百八十八條第七百八十九條第七百九十條第七百九十一條第七百九十二條第七百九十三條第七百九十四條第七百九十五條第七百九十六條第七百九十七條第七百九十八條第七百九十九條第八百條第八百一條第八百二條第八百三條第八百四條第八百五條第八百六條第八百七條第八百八條第八百九條第八百十條第八百十一條第八百十二條第八百十三條第八百十四條第八百十五條第八百十六條第八百十七條第八百十八條第八百十九條第八百二十條第八百二十一條第八百二十二條第八百二十三條第八百二十四條第八百二十五條第八百二十六條第八百二十七條第八百二十八條第八百二十九條第八百三十條第八百三十一條第八百三十二條第八百三十三條第八百三十四條第八百三十五條第八百三十六條第八百三十七條第八百三十八條第八百三十九條第八百四十條第八百四十一條第八百四十二條第八百四十三條第八百四十四條第八百四十五條第八百四十六條第八百四十七條第八百四十八條第八百四十九條第八百五十條第八百五十一條第八百五十二條第八百五十三條第八百五十四條第八百五十五條第八百五十六條第八百五十七條第八百五十八條第八百五十九條第八百六十條第八百六十一條第八百六十二條第八百六十三條第八百六十四條第八百六十五條第八百六十六條第八百六十七條第八百六十八條第八百六十九條第八百七十條第八百七十一條第八百七十二條第八百七十三條第八百七十四條第八百七十五條第八百七十六條第八百七十七條第八百七十八條第八百七十九條第八百八十條第八百八十一條第八百八十二條第八百八十三條第八百八十四條第八百八十五條第八百八十六條第八百八十七條第八百八十八條第八百八十九條第八百九十條第八百九十一條第八百九十二條第八百九十三條第八百九十四條第八百九十五條第八百九十六條第八百九十七條第八百九十八條第八百九十九條第九百條第九百一條第九百二條第九百三條第九百四條第九百五條第九百六條第九百七條第九百八條第九百九條第九百十條第九百十一條第九百十二條第九百十三條第九百十四條第九百十五條第九百十六條第九百十七條第九百十八條第九百十九條第九百二十條第九百二十一條第九百二十二條第九百二十三條第九百二十四條第九百二十五條第九百二十六條第九百二十七條第九百二十八條第九百二十九條第九百三十條第九百三十一條第九百三十二條第九百三十三條第九百三十四條第九百三十五條第九百三十六條第九百三十七條第九百三十八條第九百三十九條第九百四十條第九百四十一條第九百四十二條第九百四十三條第九百四十四條第九百四十五條第九百四十六條第九百四十七條第九百四十八條第九百四十九條第九百五十條第九百五十一條第九百五十二條第九百五十三條第九百五十四條第九百五十五條第九百五十六條第九百五十七條第九百五十八條第九百五十九條第九百六十條第九百六十一條第九百六十二條第九百六十三條第九百六十四條第九百六十五條第九百六十六條第九百六十七條第九百六十八條第九百六十九條第九百七十條第九百七十一條第九百七十二條第九百七十三條第九百七十四條第九百七十五條第九百七十六條第九百七十七條第九百七十八條第九百七十九條第九百八十條第九百八十一條第九百八十二條第九百八十三條第九百八十四條第九百八十五條第九百八十六條第九百八十七條第九百八十八條第九百八十九條第九百九十條第九百九十一條第九百九十二條第九百九十三條第九百九十四條第九百九十五條第九百九十六條第九百九十七條第九百九十八條第九百九十九條第千條第千一條第千二條第千三條第千四條第千五條第千六條第千七條第千八條第千九條第千十條第千十一條第千十二條第千十三條第千十四條第千十五條第千十六條第千十七條第千十八條第千十九條第千二十條第千二十一條第千二十二條第千二十三條第千二十四條第千二十五條第千二十六條第千二十七條第千二十八條第千二十九條第千三十條第千三十一條第千三十二條第千三十三條第千三十四條第千三十五條第千三十六條第千三十七條第千三十八條第千三十九條第千四十條第千四十一條第千四十二條第千四十三條第千四十四條第千四十五條第千四十六條第千四十七條第千四十八條第千四十九條第千五十條第千五十一條第千五十二條第千五十三條第千五十四條第千五十五條第千五十六條第千五十七條第千五十八條第千五十九條第千六十條第千六十一條第千六十二條第千六十三條第千六十四條第千六十五條第千六十六條第千六十七條第千六十八條第千六十九條第千七十條第千七十一條第千七十二條第千七十三條第千七十四條第千七十五條第千七十六條第千七十七條第千七十八條第千七十九條第千八十條第千八十一條第千八十二條第千八十三條第千八十四條第千八十五條第千八十六條第千八十七條第千八十八條第千八十九條第千九十條第千九十一條第千九十二條第千九十三條第千九十四條第千九十五條第千九十六條第千九十七條第千九十八條第千九十九條第二千條第二千一條第二千二條第二千三條第二千四條第二千五條第二千六條第二千七條第二千八條第二千九條第二千十條第二千十一條第二千十二條第二千十三條第二千十四條第二千十五條第二千十六條第二千十七條第二千十八條第二千十九條第二千二十條第二千二十一條第二千二十二條第二千二十三條第二千二十四條第二千二十五條第二千二十六條第二千二十七條第二千二十八條第二千二十九條第二千三十條第二千三十一條第二千三十二條第二千三十三條第二千三十四條第二千三十五條第二千三十六條第二千三十七條第二千三十八條第二千三十九條第二千四十條第二千四十一條第二千四十二條第二千四十三條第二千四十四條第二千四十五條第二千四十六條第二千四十七條第二千四十八條第二千四十九條第二千五十條第二千五十一條第二千五十二條第二千五十三條第二千五十四條第二千五十五條第二千五十六條第二千五十七條第二千五十八條第二千五十九條第二千六十條第二千六十一條第二千六十二條第二千六十三條第二千六十四條第二千六十五條第二千六十六條第二千六十七條第二千六十八條第二千六十九條第二千七十條第二千七十一條第二千七十二條第二千七十三條第二千七十四條第二千七十五條第二千七十六條第二千七十七條第二千七十八條第二千七十九條第二千八十條第二千八十一條第二千八十二條第二千八十三條第二千八十四條第二千八十五條第二千八十六條第二千八十七條第二千八十八條第二千八十九條第二千九十條第二千九十一條第二千九十二條第二千九十三條第二千九十四條第二千九十五條第二千九十六條第二千九十七條第二千九十八條第二千九十九條第三千條第三千一條第三千二條第三千三條第三千四條第三千五條第三千六條第三千七條第三千八條第三千九條第三千十條第三千十一條第三千十二條第三千十三條第三千十四條第三千十五條第三千十六條第三千十七條第三千十八條第三千十九條第三千二十條第三千二十一條第三千二十二條第三千二十三條第三千二十四條第三千二十五條第三千二十六條第三千二十七條第三千二十八條第三千二十九條第三千三十條第三千三十一條第三千三十二條第三千三十三條第三千三十四條第三千三十五條第三千三十六條第三千三十七條第三千三十八條第三千三十九條第三千四十條第三千四十一條第三千四十二條第三千四十三條第三千四十四條第三千四十五條第三千四十六條第三千四十七條第三千四十八條第三千四十九條第三千五十條第三千五十一條第三千五十二條第三千五十三條第三千五十四條第三千五十五條第三千五十六條第三千五十七條第三千五十八條第三千五十九條第三千六十條第三千六十一條第三千六十二條第三千六十三條第三千六十四條第三千六十五條第三千六十六條第三千六十七條第三千六十八條第三千六十九條第三千七十條第三千七十一條第三千七十二條第三千七十三條第三千七十四條第三千七十五條第三千七十六條第三千七十七條第三千七十八條第三千七十九條第三千八十條第三千八十一條第三千八十二條第三千八十三條第三千八十四條第三千八十五條第三千八十六條第三千八十七條第三千八十八條第三千八十九條第三千九十條第三千九十一條第三千九十二條第三千九十三條第三千九十四條第三千九十五條第三千九十六條第三千九十七條第三千九十八條第三千九十九條第四千條第四千一條第四千二條第四千三條第四千四條第四千五條第四千六條第四千七條第四千八條第四千九條第四千十條第四千十一條第四千十二條第四千十三條第四千十四條第四千十五條第四千十六條第四千十七條第四千十八條第四千十九條第四千二十條第四千二十一條第四千二十二條第四千二十三條第四千二十四條第四千二十五條第四千二十六條第四千二十七條第四千二十八條第四千二十九條第四千三十條第四千三十一條第四千三十二條第四千三十三條第四千三十四條第四千三十五條第四千三十六條第四千三十七條第四千三十八條第四千三十九條第四千四十條第四千四十一條第四千四十二條第四千四十三條第四千四十四條第四千四十五條第四千四十六條第四千四十七條第四千四十八條第四千四十九條第四千五十條第四千五十一條第四千五十二條第四千五十三條第四千五十四條第四千五十五條第四千五十六條第四千五十七條第四千五十八條第四千五十九條第四千六十條第四千六十一條第四千六十二條第四千六十三條第四千六十四條第四千六十五條第四千六十六條第四千六十七條第四千六十八條第四千六十九條第四千七十條第四千七十一條第四千七十二條第四千七十三條第四千七十四條第四千七十五條第四千七十六條第四千七十七條第四千七十八條第四千七十九條第四千八十條第四千八十一條第四千八十二條第四千八十三條第四千八十四條第四千八十五條第四千八十六條第四千八十七條第四千八十八條第四千八十九條第四千九十條第四千九十一條第四千九十二條第四千九十三條第四千九十四條第四千九十五條第四千九十六條第四千九十七條第四千九十八條第四千九十九條第五千條第五千一條第五千二條第五千三條第五千四條第五千五條第五千六條第五千七條第五千八條第五千九條第五千十條第五千十一條第五千十二條第五千十三條第五千十四條第五千十五條第五千十六條第五千十七條第五千十八條第五千十九條第五千二十條第五千二十一條第五千二十二條第五千二十三條第五千二十四條第五千二十五條第五千二十六條第五千二十七條第五千二十八條第五千二十九條第五千三十條第五千三十一條第五千三十二條第五千三十三條第五千三十四條第五千三十五條第五千三十六條第五千三十七條第五千三十八條第五千三十九條第五千四十條第五千四十一條第五千四十二條第五千四十三條第五千四十四條第五千四十五條第五千四十六條第五千四十七條第五千四十八條第五千四十九條第五千五十條第五千五十一條第五千五十二條第五千五十三條第五千五十四條第五千五十五條第五千五十六條第五千五十七條第五千五十八條第五千五十九條第五千六十條第五千六十一條第五千六十二條第五千六十三條第五千六十四條第五千六十五條第五千六十六條第五千六十七條第五千六十八條第五千六十九條第五千七十條第五千七十一條第五千七十二條第五千七十三條第五千七十四條第五千七十五條第五千七十六條第五千七十七條第五千七十八條第五千七十九條第五千八十條第五千八十一條第五千八十二條第五千八十三條第五千八十四條第五千八十五條第五千八十六條第五千八十七條第五千八十八條第五千八十九條第五千九十條第五千九十一條第五千九十二條第五千九十三條第五千九十四條第五千九十五條第五千九十六條第五千九十七條第五千九十八條第五千九十九條第六千條第六千一條第六千二條第六千三條第六千四條第六千五條第六千六條第六千七條第六千八條第六千九條第六千十條第六千十一條第六千十二條第六千十三條第六千十四條第六千十五條第六千十六條第六千十七條第六千十八條第六千十九條第六千二十條第六千二十一條第六千二十二條第六千二十三條第六千二十四條第六千二十五條第六千二十六條第六千二十七條第六千二十八條第六千二十九條第六千三十條第六千三十一條第六千三十二條第六千三十三條第六千三十四條第六千三十五條第六千三十六條第六千三十七條第六千三十八條第六千三十九條第六千四十條第六千四十一條第六千四十二條第六千四十三條第六千四十四條第六千四十五條第六千四十六條第六千四十七條第六千四十八條第六千四十九條第六千五十條第六千五十一條第六千五十二條第六千五十三條第六千五十四條第六千五十五條第六千五十六條第六千五十七條第六千五十八條第六千五十九條第六千六十條第六千六十一條第六千六十二條第六千六十三條第六千六十四條第六千六十五條第六千六十六條第六千六十七條第六千六十八條第六千六十九條第六千七十條第六千七十一條第六千七十二條第六千七十三條第六千七十四條第六千七十五條第六千七十六條第六千七十七條第六千七十八條第六千七十九條第六千八十條第六千八十一條第六千八十二條第六千八十三條第六千八十四條第六千八十五條第六千八十六條第六千八十七條第六千八十八條第六千八十九條第六千九十條第六千九十一條第六千九十二條第六千九十三條第六千九十四條第六千九十五條第六千九十六條第六千九十七條第六千九十八條第六千九十九條第七千條第七千一條第七千二條第七千三條第七千四條第七千五條第七千六條第七千七條第七千八條第七千九條第七千十條第七千十一條第七千十二條第七千十三條第七千十四條第七千十五條第七千十六條第七千十七條第七千十八條第七千十九條第七千二十條第七千二十一條第七千二十二條第七千二十三條第七千二十四條第七千二十五條第七千二十六條第七千二十七條第七千二十八條第七千二十九條第七千三十條第七千三十一條第七千三十二條第七千三十三條第七千三十四條第七千三十五條第七千三十六條第七千三十七條第七千三十八條第七千三十九條第七千四十條第七千四十一條第七千四十二條第七千四十三條第七千四十四條第七千四十五條第七千四十六條第七千四十七條第七千四十八條第七千四十九條第七千五十條第七千五十一條第七千五十二條第七千五十三條第七千五十四條第七千五十五條第七千五十六條第七千五十七條第七千五十八條第七千五十九條第七千六十條第七千六十一條第七千六十二條第七千六十三條第七千六十四條第七千六十五條第七千六十六條第七千六十七條第七千六十八條第七千六十九條第七千七十條第七千七十一條第七千七十二條第七千七十三條第七千七十四條第七千七十五條第七千七十六條第七千七十七條第七千七十八條第七千七十九條第七千八十條第七千八十一條第七千八十二條第七千八十三條第七千八十四條第七千八十五條第七千八十六條第七千八十七條第七千八十八條第七千八十九條第七千九十條第七千九十一條第七千九十二條第七千九十三條第七千九十四條第七千九十五條第七千九十六條第七千九十七條第七千九十八條第七千九十九條第八千條第八千一條第八千二條第八千三條第八千四條第八千五條第八千六條第八千七條第八千八條第八千九條第八千十條第八千十一條第八千十二條第八千十三條第八千十四條第八千十五條第八千十六條第八千十七條第八千十八條第八千十九條第八千二十條第八千二十一條第八千二十二條第八千二十三條第八千二十四條第八千二十五條第八千二十六條第八千二十七條第八千二十八條第八千二十九條第八千三十條第八千三十一條第八千三十二條第八千三十三條第八千三十四條第八千三十五條第八千三十六條第八千三十七條第八千三十八條第八千三十九條第八千四十條第八千四十一條第八千四十二條第八千四十三條第八千四十四條第八千四十五條第八千四十六條第八千四十七條第八千四十八條第八千四十九條第八千五十條第八千五十一條第八千五十二條第八千五十三條第八千五十四條第八千五十五條第八千五十六條第八千五十七條第八千五十八條第八千五十九條第八千六十條第八千六十一條第八千六十二條第八千六十三條第八千六十四條第八千六十五條第八千六十六條第八千六十七條第八千六十八條第八千六十九條第八千七十條第八千七十一條第八千七十二條第八千七十三條第八千七十四條第八千七十五條第八千七十六條第八千七十七條第八千七十八條第八千七十九條第八千八十條第八千八十一條第八千八十二條第八千八十三條第八千八十四條第八千八十五條第八千八十六條第八千八十七條第八千八十八條第八千八十九條第八千九十條第八千九十一條第八千九十二條第八千九十三條第八千九十四條第八千九十五條第八千九十六條第八千九十七條第八千九十八條第八千九十九條第九千條第九千一條第九千二條第九千三條第九千四條第九千五條第九千六條第九千七條第九千八條第九千九條第九千十條第九千十一條第九千十二條第九千十三條第九千十四條第九千十五條第九千十六條第九千十七條第九千十八條第九千十九條第九千二十條第九千二十一條第九千二十二條第九千二十三條第九千二十四條第九千二十五條第九千二十六條第九千二十七條第九千二十八條第九千二十九條第九千三十條第九千三十一條第九千三十二條第九千三十三條第九千三十四條第九千三十五條第九千三十六條第九千三十七條第九千三十八條第九千三十九條第九千四十條第九千四十一條第九千四十二條第九千四十三條第九千四十四條第九千四十五條第九千四十六條第九千四十七條第九千四十八條第九千四十九條第九千五十條第九千五十一條第九千五十二條第九千五十三條第九千五十四條第九千五十五條第九千五十六條第九千五十七條第九千五十八條第九千五十九條第九千六十條第九千六十一條第九千六十二條第九千六十三條第九千六十四條第九千六十五條第九千六十六條第九千六十七條第九千六十八條第九千六十九條第九千七十條第九千七十一條第九千七十二條第九千七十三條第九千七十四條第九千七十五條第九千七十六條第九千七十七條第九千七十八條第九千七十九條第九千八十條第九千八十一條第九千八十二條第九千八十三條第九千八十四條第九千八十五條第九千八十六條第九千八十七條第九千八十八條第九千八十九條第九千九十條第九千九十一條第九千九十二條第九千九十三條第九千九十四條第九千九十五條第九千九十六條第九千九十七條第九千九十八條第九千九十九條第一萬條

ちょうへいしょ（名）［徴兵署］（名）聯隊區徴兵官及聯隊區副官ノ事務ヲ掌ル所。

ちょうへいしょうだい（名）［徴兵少尉］（名）聯隊區徴兵參事員ト聯隊區徴兵參事員トノ間ニ在リテ徴兵官ノ補助ヲ爲ス官。明治二十九年三月勅令第百十二號徴兵令施行細則第百十一條ニ依リ徴兵官及徴兵參事員ノ事務ヲ補助スル爲メ設ケラレタル官。

ちょうへいしょうわん（名）［徴兵少尉官］（名）徴兵事務ヲ取リ扱ヒ徴兵官ノ指揮ヲ受ケテ徴兵參事員ノ事務ヲ補助スル官。明治二十七年勅令第百十二號徴兵令施行細則第百十一條ニ依リ徴兵官ノ補助ヲ爲ス爲メ設ケラレタル官。

ちょうへいしょうわんじむかん（名）［徴兵少尉事務官］（名）明治二十七年勅令第百十二號徴兵令施行細則第百十一條ニ依リ徴兵官ノ補助ヲ爲ス爲メ設ケラレタル官。

ちょうへいしょうわんじむしょ（名）［徴兵少尉事務所］（名）徴兵少尉事務官ノ事務ヲ執ル所。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかい（名）［徴兵少尉事務所協會］（名）徴兵少尉事務所ノ事務ヲ研究シ其ノ改良ヲ圖ル爲メ組織セラレタル會。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそく（名）［徴兵少尉事務所協會規則］（名）徴兵少尉事務所協會ノ組織及ビ其ノ事務ヲ規定シタル規則。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょか（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可］（名）徴兵少尉事務所協會規則ヲ認可スルコト。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげん（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限］（名）徴兵少尉事務所協會規則ヲ認可スル權限。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにん（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可ノ權限ヲ委任スルコト。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれい（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可ノ權限委任ニ關スル勅令。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可ノ權限委任令第二條ノ事項。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいいちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第一號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第一號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいにごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第二號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第二號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいさんごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第三號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第三號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいよんごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第四號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第四號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいごごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第五號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第五號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいろくごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第六號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第六號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいしちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第七號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第七號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいはちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第八號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第八號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいきゅうごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第九號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第九號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅういちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十一號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十一號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうにごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十二號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十二號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうさんごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十三號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十三號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうよんごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十四號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十四號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうごごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十五號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十五號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうろくごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十六號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十六號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうしちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十七號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十七號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうはちごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十八號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十八號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいじゅうきゅうごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第十九號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第十九號。

ちょうへいしょうわんじむしょきょうかいきそくしょうにんきょかけんげんいにんれいだいにじょうだいにじゅうごう（名）［徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條第二十號］（名）徴兵少尉事務所協會規則認可權限委任令第二條ノ事項ノ第二十號。

**ちょうへいしょうわんじむしょきょ

用紙は郵便局にて交付するものとす。郵便貯金規則第十新に貯金の預入を為さんとする者は郵便局に於て交付する用紙に依り貯金預入申込書を調製し

ちょきゅうにんげんかぶ　貯金預入人原簿（名）郵便貯金の受入及び払戻に関し郵便貯金規則第三十一条の規定に依り郵便貯金取扱所に於て調製する帳簿。

ちょきんかわせちょきん　貯金通帳（名）郵便貯金の受入及び払戻に関し郵便貯金規則第三十一条の規定に依り郵便貯金取扱所に於て交付する帳簿。

ちょきんぐち　貯金口（名）一個の字の郵便貯金預入、払戻、譲渡、質入又は解約を為すべき一個の権利。

ちょきんこうざ　貯金口座（名）郵便貯金預入、払戻、譲渡、質入又は解約を為すべき一個の権利。

ちょきんしゃ　貯金者（名）貯金預入者の略称。

ちょきんしゃく　貯金借（名）貯金者が貯金を担保として金銭を借受くること。

ちょきんしゃくにんぶ　貯金借人簿（名）貯金借入に関する帳簿。

ちょきんしゃくりょう　貯金借料（名）貯金借入に対する利子。

ちょきんしゅ　貯金主（名）貯金者の略称。

ちょきんしょうしょ　貯金証書（名）貯金預入者に対する証書。

ちょきんしょうしょふきん　貯金証書附金（名）貯金証書に附随する金銭。

ちょきんしょうしょふきんがくめんぶ　貯金証書附金額面簿（名）貯金証書附金額を記載する為め貯金取扱所に備付くる帳簿。

**ちょきんしょうしょふきんぶ　貯金証書附金

也。令義寬容代也。以後、勅旨間田皆悉停止、令天下民食作ニ。

ちょくしきのつかさ　勅旨職（名）勅旨省の長官。職員令に「勅旨卿一人、掌ニ宣ニ勅旨ニ、兼ニ知ニ諸国貢ニ進御物ニ事ニ」

ちょくしさつ　勅旨荘（名）勅旨に由来する荘園。主殿寮式の勅集諸司勅旨田御料一ノ東

ちょくしせいしょう　勅旨省（名）天平宝字の頃に置き、延喜元年に廃せられた令外の官に属する勅旨を以て組織される。職掌の詳細は不明であるが、勅旨を伝達する機関であり、また悉皆の職員を以て、法花寺・鏡作坐天照御魂神社・飛鳥神社・大和神社・大神神社・石上神宮・大倭神社・広瀬神社・龍田神社・住吉神社・伊勢神宮・賀茂上下社・松尾社・平野社・稲荷社・春日社・大原野社・吉田社・梅宮社・丹生川上神社・貴布禰社・鞍馬寺・貴船社・大原社・日吉社・祇園社・北野社・大井神

ちょくせんけい　一直線形　(名)【数】多くの点が同じ平面の上にあるときに、それらの点によって描かれる形。

ちょくせんしゃ　一直線　(名)【幾何の基本概念】点が動いて軌跡を描くとき、その軌跡が最も短い場合の形。

ちょくせんしゃかしょうきょうかしゅう　一直線傾斜歌集　(名)　ちょくせんかしょうきょうかしゅう

ちょくせんかしょうきょうかしゅう　一直線傾斜歌集　(名)　斎藤茂吉の歌集。

ちょくせんてき　一直線的　(形動)　ちょくせんてきに

ちょくせんてきに　一直線的に　(副)　一直線のように。

ちょくせんめんけい　一直線平面図形　(名)【数】直線のみによって囲まれた平面の部分。

ちょくせんわかしゅう　一直線和歌集　(名)　ちょくせんかしょうきょうかしゅう

ちょくせんわかしゅう　一直線和歌集　(名)　斎藤茂吉の歌集。

ちょくそう　一直走　(名)　まっすぐに走ること。

ちょくそう　一直奏　(名)【音楽】楽譜に書かれた通りに演奏すること。

ちょくそく　一直速　(名)【物理】物体が一直線に進むときの速さ。

ちょくたい　一直帯　(名)【地質】地層が南北の走向をもつこと。

ちょくだい　一勅題　(名)　勅命によって和歌・俳句などの題を出すこと。また、その題。

ちょくだいし　一勅題詩　(名)　勅命によって作られた詩。

ちょくだいしゅう　一勅題集　(名)　勅命によって和歌・俳句などの題を出して作った歌集・句集。

ちょくだいしゅうか　一勅題和歌集　(名)　勅命によって和歌の題を出して作った和歌集。

ちょくだん　一直道　(名)　まっすぐな道路。ただちに。直路。北史・魏帝上「太行一面直通九州、里以接其地」

ちょくだん　一直断　(名)　ためらわずに思い切って決断すること。

ちょくだんしょこう　一直断処行　(名)　ためらわずに思い切って決断すること。

ちょくちょく　一直答　(名)　まっすぐに答えること。ただちに返答すること。

ちょくちょくたいしょう　一勅答対象　(名)　勅命によって作った和歌・俳句などの題を出して作った和歌集・句集。

ちょくちょくたいしょうし　一勅答対象詞　(名)　勅命によって作った和歌・俳句などの題を出して作った和歌集・句集。

ちょくちょくたいしょうしゅう　一勅答対象集　(名)　勅命によって作った和歌・俳句などの題を出して作った和歌集・句集。

ちょくちょくたいしょうしゅうか　一勅答対象和歌集　(名)　勅命によって作った和歌・俳句などの題を出して作った和歌集・句集。

ちょくちょくたいしょうしゅうかしゅう

ちょくめんすい 直面錐（名）〔数〕直角三角形の直角を挟む一辺を軸として一回転させてできる立錐。軸として底面と平行な直線を底面の一端とし、他の端の点を頂点とする錐面を描いて生ずる立体。軸となる線の長さを高さ、他の端の点を頂点と云ふ。

ちょくめんたい 直面体（名）〔数〕多面体の一種。各面が平面多角形で、各辺が二面角を挟んで二面ずつ相接する立体。

ちょくりゅう 直流（名）〔電〕電流の一種。電流の方向が一定不変のもの。

ちょくれつ 直列（名）〔電〕電池を接続する場合、一電池の陽極を次の電池の陰極に接続し、順次に接続すること。

ちょくれつけいにち 直列計日（名）〔法〕江戸時代、裁判の際、原告と被告とが各自の主張を証明するために提出する証拠書類の提出期限を定めるに当り、原告の提出すべき証拠書類の提出期限を定めるに当り、原告の提出すべき証拠書類の提出期限を定めるに当り、原告の提出すべき

めに掘りたる池。水を貯へて置く池。

ちょせい【貯精】（名）精液を貯へること。

ちょせい【貯蓄】（名）貯へ蓄ふること。

ちょせき【貯積】（名）貯へつむこと。

ちょせき【除夕】（名）ちょせき（除夜）に同じ。

ちょせき【貯蓄】（名）貯へ蓄ふること。

ちょせき【除夜】（名）大晦日の夜。

ちょせき【除斥】（名）排斥より其の名を除くこと。

ちょせき【除籍】（名）排斥より其の名を除くこと。

ちょせつ【除雪】（名）降雪の際、交通の妨害を除去すること。

ちょそ【貯訴】（名）訴訟を提起すること。

ちょそう【貯蔵】（名）貯へ蔵ふこと。

ちょそう【貯蔵庫】（名）貯へ蔵ふる倉庫。

ちょそう【貯蔵銀行】（名）銀行の一種。

ちょそう【貯蔵銀行】（名）銀行の一種。

ちょそう【貯蔵銀行】（名）銀行の一種

くちの一種。栄一房にてこれを振り強定の日出づれば鮨金(ぎん)の四倍を得るといふ。稚魚完熟、博識の一聞にあらざるべからず。

ちょよいい (名) 芝居の狂言に一齣又は一幕の場面の変動を暫き入れたること。傍作者の意作の歌舞伎狂言の一齣の動作が常場の文脈を書き入るるもの。ちょよいと云ふ。

ちょよいと (名) 芝居にちょよいを言ふこと。又、其の人。ちょよ。

ちょよく (名) 一楷書 (名) 紙と手かみ。

ちょよく (名) 一楷書 (名) 傍書。重複文有格調、以前の「傍二倍増」の文格盛(ぢょう)工反覆修飾の之に。

ちょよく (名) 一楷木 (名) 役に立たぬ木。無用なもの。無用の長物。

ちょよく (名) 一楷木故障 (名) 「楷木故障」無用の長物。不中規矩。

ちょよくしゃ (名) 一楷木者 (名) 「楷木者」無用の人。

ちょよくしょ (名) 一楷木所 (名) 「楷木所」無用の場所。

ちょよくしょし (名) 一楷木所長 (名) 明治十九年四月十六日の勅令第四十一号に依り、農商務省山林局の管轄の下に官林の調査、官林の経営を掌らしめる為め、明治十九年四月設置せられた官庁。官林の事を掌らしむ。

ちょよくしょちょう (名) 一楷木所長 (名) 「楷木所長」無用の長物。山林局長の官職。官林の事を掌る。

ちょよくしょちょうやっ (名) 一楷木所長屋 (名) 「楷木所長屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょ (名) 一楷木所長屋敷 (名) 「楷木所長屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷 (名) 「楷木所長屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしき (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷」無用の長物。山林局長の官舎。

ちょよくしょちょうやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっちょやしきやっ (名) 一楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋 (名) 「楷木所長屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋敷屋

ちょんぎる (他動詞) ちょっときる。手軽に切り捨てます。

ちょんぎり (名) 相手を欺くこと。

ちょんぎり (名・副) 芝居の打ち止しをふ。楽屋の通語。㊀幕を引て、物事の終りをいふ。楽屋の通語。

ちょんぼり (副) 少しばかり。ちょぼり。ちょんぴり。浮世風呂「火いれ申上ませうかいけてある形が」

ちょんぼり (名) 丁髷 (名) 男の結ふ小さきまげ。又、其のまげに結びたる人。

ちょんぼりあたま 丁髷頭 (名) ちょんぼりまげに結びたる頭。又、其の頭の人。

ちらし 地獄 (名) 地上に発する種々の災害。地上の苦痛。天変の対。

ちらし 地雷 (名) 地上の雷鳴。多く雷雨時に云ふ。

ちらし 地雷火 (名) 地下に敷設する爆薬の一。

ちらし 地形 (名) 地下に設けたる地形。

ちらし 血統 (名) 医方書の語。今の輸血に似たるか。

ちらし 地牢 (名) 地下に設けたる牢。ひやのちら。

ちらす (他動詞) ちらかるやうにする。ちらす。ちらし散る。著聞集「醍醐法師に追ひちらされて、かき共上京へ打ち入つて兵衛を取る山岡とぞ入れば」観世ちらかさんとて」

ちらかる 散 (自動詞) ちらばる。ちる。㊀権の花如久方にはいづくしかすがに此の世の山に常にはふりつつ」

ちらくら 散 (名・副) ちらちらと。同じ。

ちらこ 散 (名) ちらばること。又、其の物。㊀家の集議列に、各人一番づつ歌の題を取て出し、㊀ごとに隠して番のごとくもの。㊀ごとに隠して番のごとくもの。㊀ごとに隠して番のごとくもの。

子(ちりこ)天時不如地利地利不如人和」

ちりぢり(名)地盤より生ずる動物の生産。書経(しょきょう)「地利不如人和」

ちり一地理(名)一地面の物理。山川海陸の形勢。附土地の高低。水の流通。地味の肥瘠。植物の繁茂。人口の多少。生物の蕃息等の学問。

ちりあくた(名)塵芥(ごみ)。

ちりあくた塵芥(ごみ)。

ちりあくた塵芥(ごみ)。

ちりあくた

種。葉の縁で細小なるもの。吸地に産して、庭園に栽培するもの。

ちりめんじめ　縮緬地（名）縮緬の地質。薄地の絹織物の総称。

ちりめんじゃこ　縮緬雑魚（名）（植）縮緬の如き皺のある雑魚。

ちりめんざさ（名）（植）笹竹の一種。

ちりめんじゃこ　縮緬頭巾（名）縮緬で縫い合せた頭巾。

ちりめんづくし（名）縮緬で縫い合せた頭巾。

ちりめんな（名）（植）ちりめんかぶらの異名。

ちりめんひば（名）（植）ちりめんかぶらの異名。

ちりめんひろ（名）（植）ちりめんかぶらの異名。

ちりめんぼし　縮緬乾（名）いわしなどの腹を開いて乾したもの。

ちりめんぼし　縮緬乾（名）いわしなどの腹を開いて乾したもの。

ちりめんもみぢ（名）（植）楓樹の栽培品種。

ちりめんもん（名）縮緬の模様。

ちりめんやま（名）（植）楓樹の栽培品種。

ちりやま（名）塵山。塵芥の堆積した山。

ちりゆく　散行（自動）次第に衰える。

ちりゆく（自動）散失せて行く。

ちりょう（名）政治の方略。

ちりょう（名）（植）ちりめんかぶらの異名。

ちりょう（名）（植）ちりめんかぶらの異名。

ちりょう（名）（植）ちりめんかぶらの異名

り。四角あり。貴珍・宗珍・宗月・細呉・槇平たく六角あり。八角あり。十二角有り。六角あり。偏形有り。菊形あり。矢玉・刀鐔の形あり。数枚の間柔らかにあわせ、動く有り。数枚の間柔らかにあわせ、動く有り。数枚の間柔らかにあわせ、動く有り

ちんき 珍奇 めづらしく奇妙なること。又、其のもの。珍奇物。珍奇珍物。珍奇の事。珍奇珍事。珍奇の事。珍奇珍事。珍奇の事。珍奇珍事。

ちんき 珍貴 めづらしくたふときこと。つねにはえて貴重すべきこと。

ちんぎ 賃義 ［不当義語］賃金の不当なること。

ちんぎ 珍儀 めづらしき儀式。

ちんぎ 珍技 めづらしき技術。

ちんぎ 珍妓 めづらしき妓女。

ちんぎ 珍戯 めづらしき戯。

ちんぎ 珍稀 めづらしく稀なること。

ちんきゅう 沈久 ［名詞］久しく水中に沈めること。

ちんきゅう 沈灸 ［名詞］灸治の一種。

ちんきゅう 沈没 ［名詞］船舶が水中に沈むこと。

ちんきゅう 鎮救 ［名詞］鎮静救護の略。

ちんきゅう 賃給 ［名詞］賃金を給すること。

ちんきゅう 賃窮 ［名詞］賃金の窮乏すること。

ちんきゅう 賃求 ［名詞］賃金を求むること。

ちんきゅう 賃休 ［名詞］賃金を休むこと。

ちんきゅう 賃救 ［名詞］賃金を救ふこと

ちんしゃう　陣将（名）一陣の大将。一手の大将。部将。具足鎧直垂・烏帽子・大口袴・籠手・脛当・太刀・刀・弓矢・兵具・馬具・鞭・鐙・鞍・鞦・轡・手綱・腹帯・尻繋・障泥・鞍覆・厚総・面懸・鼻懸・口取縄・手綱・鞭・鐙・鞍・鞦・轡

ちんせん 一銭租　賃と租。地子。今義務なし。凡時銭は田一畝毎に銭三百文、官租銭は田一畝毎に銭三百文、官租銭は田一畝毎に銭三百文、官租銭は田一畝毎に銭三百文。

ちんそう 陳倉　(名)　地名。今の陝西省宝鶏県東

古昔、後[ママ]この蝦夷四方を北狄と称[ママ]して征討するために設置された軍隊の大将。鎮[ママ]守府将軍[ママ]

ちんじゅふしょうぐん【鎮守府将軍】(名)

ちんしょう【枕障】(名)

ちんじょう【枕上】(名)

ちんしょく【陳食】(名)

ちんすい【枕水】(名)

ちんせき【枕席】(名)

ちんぜん【陳善】(名)

ちんそう【沈滓】(名)

ちんぞう【沈澱物】(名)

ちんだいば【賃駄馬】(名)

ちんでんかぶつ【沈殿物】(名)

ちんでんぶつ【沈澱物】(名)

ちんとう【鎮痛】(名)

ちんとうざい【鎮痛剤】(名)

ちんとうし【鎮東将軍】(名)

ちんとうしょうぐん【鎮東将軍】(名)

ちんにゅう【闖入】(名)

ちんにん【陳任】(名)

ちんねつ【沈熱】(名)

ちんねつざい【鎮熱剤】(名)

ちんのう【鎮農】(名)

ちんば【跛】(名)

ちんばい【陳売】(名)

ちんばい【賃売】(名)

ちんばい【陳梅】(名)

ちんばい【陳買】(名)

ちんばつ【陳閥】(名)

ちんぱつ【陳髪】(名)

ちんぱつ【珍髪】(名)

ちんぱん【陳板】(名)

ちんぴ【陳皮】(名)

ちんぴ【陳肥】(名)

ちんぴ【陳腓】(名)

ちんぴ【陳否】(名)

ちんぴ【陳痺】(名)

ちんぴ【陳否】(名)

ちんぴ【陳腓

陳列したる場所。陳列場。

ちんれつだな 陳列棚（名）顧客の購買に供せんため商品を陳列する棚。

ちんれつじょう 陳列場（名）物品を陳列したる場所。ちんれつば。

ちんれつば 陳列場（名）前條に同じ。

ちんれつひん 陳列品（名）陳列してある物品。

ちんれつしつ 陳列室（英 show-room）（名）商品を陳列して顧客の觀覽に供ふるため、商店の前面などに設くる前子窓。

ちんわきざし 陣脇差（名）陣中にて用ふるわきざし。末期記「刺長柄鎗父子並甲冑肩まで御馬を出だされ御陣わきざしも下だされける」

ちんわた 賃綿（名）賃錢をとりて綿をくること。「留守ひとりの役に手なれぬ賃綿をくらし妹はわけもなき所へ來公に出だし」

ちんあさい 一鎭雜帛（名）宮門の扉又は簾、几丁などの吹きあふる押へにする物。源氏玉津挌「佩雜帛と、几丁などの吹きあぐるをとどむる物」薩戒記「夜風被動佩雜帛」

ちんあん 「鎭庵」しづめまもること。「佩護太平記「人心を鎭庵し」三種の神器を擁護し、萬乘の聖主を保護し給ふ」

ちんあん 「塵穢」（名）塵芥にけがるること。ちりにまみれること。「淺深秘訣「最初鎭護國家最後鎭塵穢」

ちんお 「塵汚」塵埃にけがること。消息往來「塵汚と溢ぎ月代を改め」

ちんをく 賃屋（名）かしや。かしいへ。借家。